

機關雜誌

水沫

日本水上競技月刊

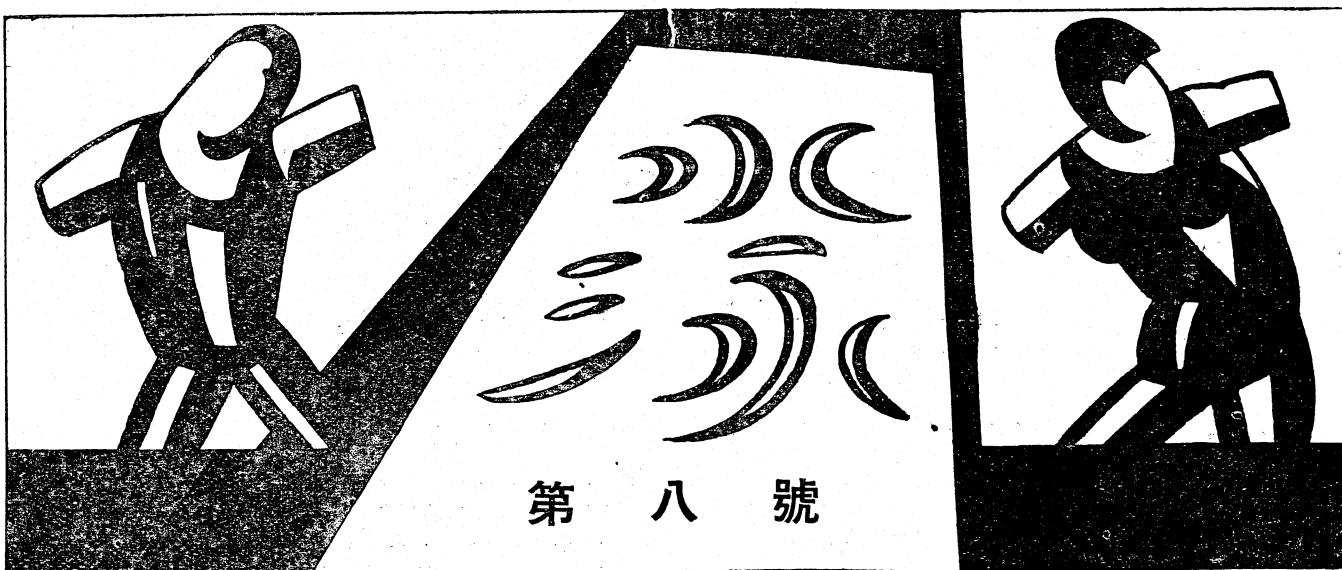
九

日米大會優勝號

1931

NO.8

十月一日發行

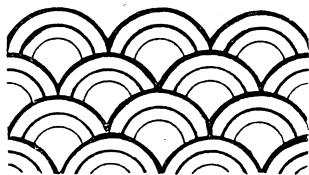


日本水上競技聯盟機關雜誌

目 次

日米對抗水上競技大會	記 錄 員	(3)
日米對抗水上競技會計報告	會 計 係	(17)
感 想	藤 田 明	(18)
日米戰を顧みて	高 石 勝 男	(19)
日米大會の感想	大 田 正 隆	(21)
日本チーム合宿練習日誌	松 澤 一 鶴	(22)
日米對抗競技座談會	記 者	(24)
フラシユ・ボム	安 部 輝 太 郎	(29)
日米豫選會	記 錄 員	(34)
海外情報一束		(38)
泳ぎの國ハワイを訪ねて	白 山 源 三 郎	(44)
日本水上競技聯盟會報		(46)
米國選手の滯在日程表		(46)
編輯後記		(48)

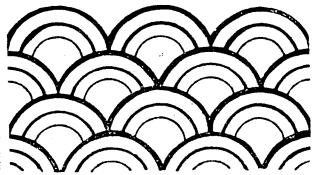
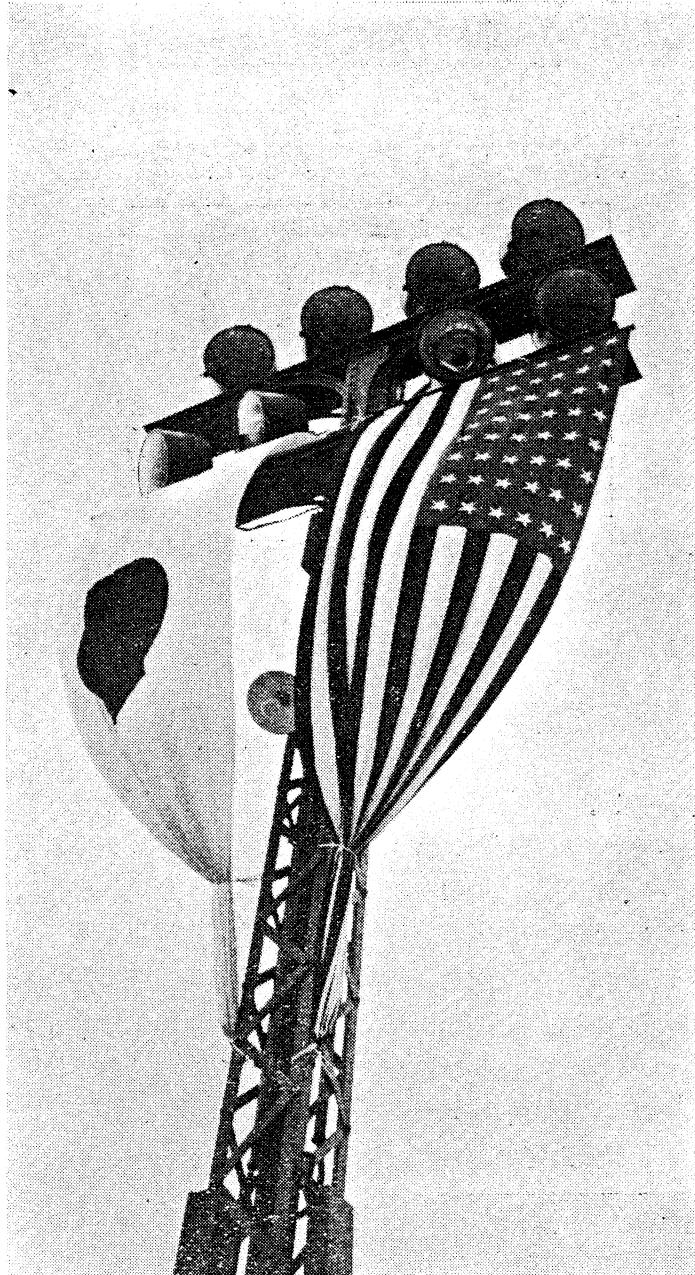
寫 真 日米對抗水上競技大會畫報



日本水上競技聯盟

水泳

機關雜誌



昭和六年

第八號

十月一日

日米對抗水上競技大會は、それ自身世界の二大水泳王國の対抗と云ふ意味で興味あるばかりでなく、更に明年ロス・アンゼルスに於て開かれ

る第十回國際オリンピック大會の前哨戦として全世界の視聽を集めたものであつた。

明治神宮水泳場完成記念

日米對抗水上競技大會

昭和六年八月

記錄員編輯

日本選手は豫想以上の健闘よくこの大敵を征服し得た。たとへ米國選手が新進揃ひであり、將又遠征の不利があるとしても我日本水泳界のた

めには幸先よき一試練であつたと云はなければならぬ。

第一日

日本 13 点 米国 8 点

プールには清水がたゞへられ、白いコース・ロープが鮮かに各レーンを割してゐる。よく晴れた空には、南々東の微風は次第に南風に變り、時々油を流した様なプールの水面に漣を立てて。午後六時頃高石主將を始め日本選手がウォーミング・アップを始める。それと前後して女子選手の顔が見える。一万三千人を收容するスタンドは除々に埋れて行く。午後六時半には東京市統計局から發した

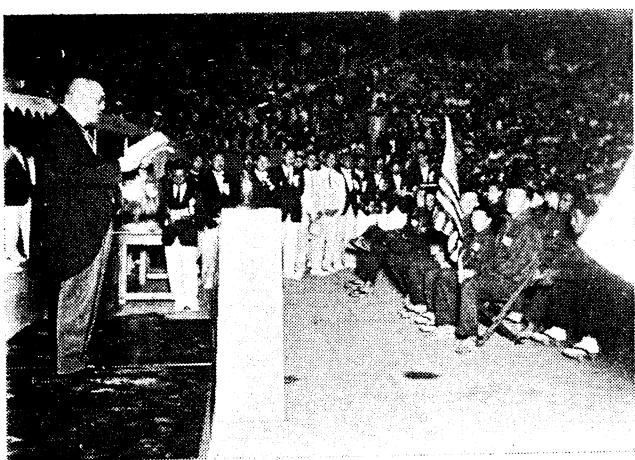
入場者調査に關するメツセージがラウドスピーカーに依つて場内に傳へられる。同四十分頃にはシルクハット姿の永田市長が長轎を表はす。あたりは次第に暗くなつて二萬四千ワットの照明燈が場内を明く照らす。役員は準備に忙しく、漸く競技會氣分が濃厚となつた。

當日のプール・コンディションは天候晴、氣温二十九度、水温二十五度であつた。

競 技 經 過

開 會 式

午後七時十分競技役員が審判臺に集合した。之と同時に米國選手がダイビング塔の近くの出口から現れ、キツパス監督と並んでクラブ主將が國旗を捧げて先頭となり北側のスタンド前を通つて進む。ついで松澤監督及び國旗を捧ず高石主將を先頭とする日本選手が南側スタンドの前を通つて進み、兩國選手共に式場に整列した。場内嵐の様な拍手が起る。これ迄の入場者約一萬スタンドが殆んど埋められた

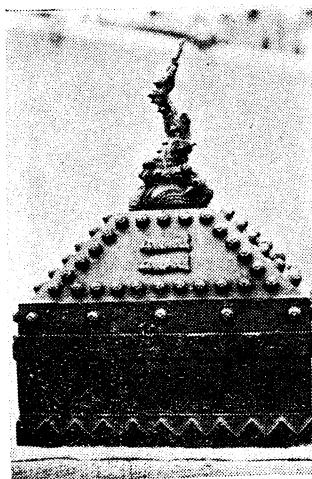


開會式田中文相の祝辭

開會式は會長岸博士の開會の辭に始り、クラブ、高石兩主將のアマター宣誓があり、ついで若槻首相、フォーブス米國大使、幣原外相、田中文相、永田市長の祝辭があつた。永田市長の『この新しい競技場で新しい米國選手を迎へ新しい競技會を開くは誠に目出度ことあります。定めし新しい記録が作

られることでしやう。米國選手は日本選手に敗けない様にして下さい。日本選手も米國選手に敗けない様にして下さい。兩方共しつかりやつて下さい……』との挨拶は満場の喝采を博した。

ついで末弘博士開會を宣し、こゝにいよいよ日米對抗競技會の幕は切つて落された。



200米背泳優勝牌

200米背泳

7時45分開始

得點 日 3 米 3

着順	氏名	國	水路	時間
1	マイオラ・カリリ	(米)	4	2:39.4
2	清川正二	(日)	7	2:40.2
3	河津憲太郎	(日)	5	2:40.4
4	フランク・オルトン	(米)	6	2:48.4
5	ジョージ・シュミーラー	(米)	8	

經 過

スタートは清川、河津よく、25米では兩人相並んでトップを切り、50米のターンでは清川他を1メリ

ードし、河津、フイスラー、オルトン、カリリの順で相次ぐ。100米では河津や出たが、カリリ物凄く力泳して150米のターンでは清川、河津、カリリ相並び、最後の25米位迄何れが勝つとも豫想を許さなかつたが、カリリのスムースな泳ぎ効を奏し遂に最初のレースに星條旗を擧げた。

清川は1米半位おくれて二着、オルトン、ラスト、スパートし河津に迫つたがタツチの差で敗れた。

ラップタイム

氏名	50米	100米	150米	200米
カリリ	37.0	1:17.2	1:58.2	2:39.4
清川		1:15.4	1:58.0	2:40.2
河津	34.4	1:16.0	1:58.0	2:40.0
オルトン	37.2	1:18.0	1:59.0	2:48.4

評

出場を豫想されてゐた片山は足の負傷のためか不出場で日本側は二人だけだ。フイスラーは呼び出されるとすぐ100米を泳いで來たが、之はウォームアップとしては長過ぎるだらう。

清川が始まからリードして出たのは成功であつた。河津の泳ぎはキアツチの際手を今少し外側に入れた方がよからう。清川も今少し肩が強くなればタイムもずつと良くなるだらう。



200米自由型

8時10分開始

得点 日 1/4 米 3/8

200米自由型優勝牌

着順	姓 名	國	水路	時間
1	マニユエラ・カリリ	(米)	5	2:16.0 日本國際新記録
2	ジエイムス・ギルフラー	(米)	3	2:16.2 (同上)
3	高石 勝男	(日)	4	2:16.8 (日本國際對記録)
4	片山 兼吉	(日)	8	
5	大横田 勉	(日)	5	
6	マイオラ・カリリ	(米)	6	

経過

高石のスタートは上出来であつた。ギルフラーは急ピッチでぐんぐん出て50ターンでは片山少しきりード、100後高石の確實なる泳ぎに樂觀してゐたが、カリリ弟、ギルフラーのすべりものすごく、ラストターンではギルフーラ1、カリリ弟2、高石3の順であつた。ターンするやカリリ弟猛然とピッチを上げくるくるまはる様な彼一流の泳ぎで二者をぬき其



カリリ(弟)の勇姿

間にギルフーラも出て高石は兩者にはさまれ苦戦を續け、ギルフーラにせまつたが及ばず涙を呑んでかれに破れた。年少ギルフーラの優秀なるタイムは實に恐るべきである。高石としても彼自身の記録は出してゐるし彼をせめるわけにはゆくまいが今少し頑張つたら如何にかなりはしなかつたらうかと云ふ感がしてならない。カリリ弟の頑張りは實に見物であつた。

ラップタイム

氏名	50米	100米	150米	200米
カリリ	31.0	1:06.0	1:43.0	2:16.0
ギルフーラ		1:05.4		2:16.2
高石	30.2	1:05.4	1:42.0	2:16.8
片山	31.0	1:05.6	1:42.6	
大横田		1:07.6		2:22.0
カリリ	31.0	1:05.6	1:42.6	

評

カリリの腕の強さと動作のやはらかさに驚く。泳ぎ方に就いては極く平凡なものである。

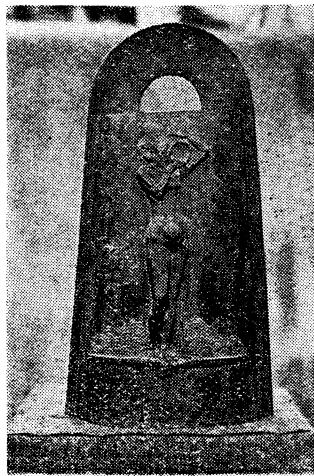
高石は自分のベスト・コードで泳いだ。始めから隨分力が入つてゐた。硬くなつてはゐないかと思つたが、このコードで泳いだのであるから無理もない。

カリリのラストの強味はおそるべきである。この分では400米の競争が不安である。

片山は隨分おくれた。大横田は昨日非常に硬い身

體をしてゐたから今日は駄目だらうと思つてゐた。尤も相手が強過ぎた。片山は足の痛さもあるが、レースを知らなすぎる。もつとレースコースを泳いでペースを體得せなければいけないだらう。

カリリ(兄)は背泳の直後であり、はじめからおくれてゐた。カリリ(兄)を此所へ使はずに休ませておけばよかつたと思ふ。

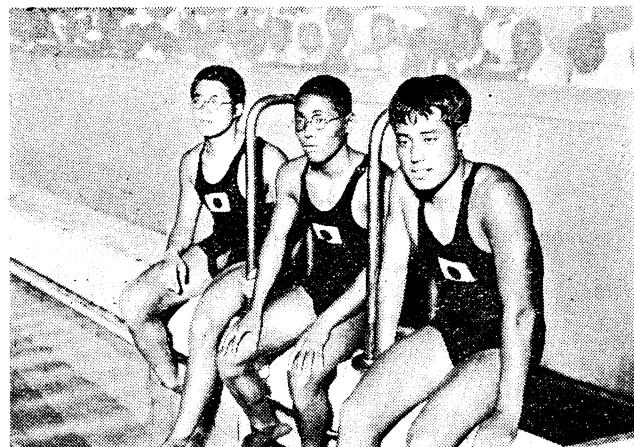


800米自由型優勝牌

着順	姓	名	國	水路	時間
1	横山	隆志	(日)	3	10:25.2 (日本國際新記録)
2	武村	富雄	(日)	7	10:26.0 (同上)
3	牧野	正藏	(日)	5	10:33.4
4	セオドア・ウイゲット	(米)	8		10:46.2
5	クラーレンス・クラブ	(米)	6		
6	カールトン・リーディー	(米)	4		10:49.0

経過

横山はスタートからトップを切り、牧野、クラブ、武村之に次ぐ。200米に於ては横山と牧野の差は約一米で次にクラブが之を追ふ。500米に於ては横山は6:22.6の日本新記録を作つて依然トップを切り、5



向つて左より、武村、牧野、横山、

米おくれて牧野あり、武村はクラブを抜いて約1米

おくれて牧野につづき、こゝに日本選手は3人共相手をリードした。クラブは調子悪くピッチが段々落ち、段々と水をあけられた。

600米に於て武村力泳よく牧野抜いて約一メートルし、尙も横山に迫つたが、約一メートルの差で敗れた。牧野は約8米おくれて3着となり、日本は此の種目に全勝した。

ラップタイム

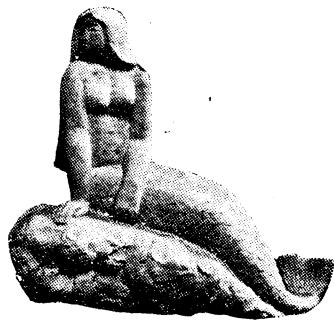
氏名	100米	200米	300米	400米
横山	1:09.2	2:26.4	3:44.0	5:02.8
武村	1:11.8	2:30.0	3:48.4	5:08.0
牧野	1:09.0	2:27.0	3:45.4	5:06.0
ウイゲット	1:13.8	2:35.8	3:59.0	5:22.0
クラブ	—	—	—	—
リーディー	1:12.0	2:31.8	3:57.8	5:16.0
	500米	600米	700米	800米
横山	6:22.6	7:44.2	9:05.4	10:25.2 (日本新記録)
武村	6:27.0	7:48.0	9:09.0	10:26.0
牧野	6:26.0	7:49.0	9:12.0	10:33.4
ウイゲット	6:43.8	8:06.6	9:29.0	10:46.2
クラブ	—	—	—	—
リーディー	6:42.8	8:12.4	9:42.0	10:49.0

評

横山は元氣一杯であつた。然し流石にラストの100米は型こそ變らないが疲れてゐた。この間に武村はぐんぐん横山に迫つて、僅かの差まで追ひつめた。今日の武村は少し肩が浮き加減で、ローリングもなく腕が實にがつちりしてゐて、元氣のある事を示してゐた。最後に横山を追つた力泳は見事であつた。今少し、始めから先頭に出る泳ぎを練習すれば強くなると思ふ。

牧野は練習中大分調子を持ち直したけれど、やつぱり硬い事とストロークの終りのきかない欠點を持つてゐる。

クラブははじめからあせりきみで、左右を見乍ら泳ぎ、腰も相當に揺れてゐた。



300米メドレーリレー優勝牌

9時17分開始

得點 日 3/13 米 0/8

300米メドレーリレー優勝牌

着順	姓	名	水路	時間
優勝 日本	河津	憲太郎		
	鶴田	義行	(6)	3:28.2
	高石	勝男	(かくお)	
2位 米国	フランク・オルトン			
	ジョーン・シュミーラー	(4)	3:29.8	
	ジョーン・ハウランド	(かうらん)		

経過

スタートするや、河津僅かに先んじ、50米ではオルトンを1米足らずリードした。70米次後は両選手共に疲れてピツチ上らず、河津はタツチの差で鶴田に引継ぐ、鶴田も相當にスタートでは潜る方であるが、シュミーラーは又其の上を行つて20米ももぐり



300米メドレー 日本チーム 向つて左より、河津、鶴田、高石、頭が浮んだ時は僅かリードしてゐたが、この無理のためか最後は疲れて鶴田に約1メートリードされた。アンカー高石は實によく泳いだ50米のターン迄は引継いだ差を保ち、ラストのスパートは例の如く物凄くその差を大にして、こゝに日本軍は最初のリレーをかちえた。

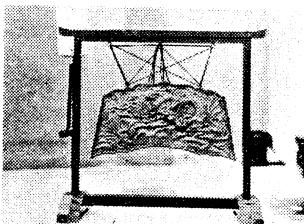
ラップタイム

日本	河津	1:12.0
	鶴田	1:16.2 (2:28.2)
	高石	1:00.0 (3:28.2)
米国	オルトン	1:12.0
	シュミーラー	1:18.0 (2:30.0)
	ハウランド	1:00.0 (3:29.8)

評

河津がトップをよく頑張った事を第一に稱讃したい。米国としては調子の悪いオルトンをこのレースに出さないで、カリリ(兄)を200米の代りにこゝで泳がした方がよくはなかつたらうか。

第二日



100米背泳

7時35分開始

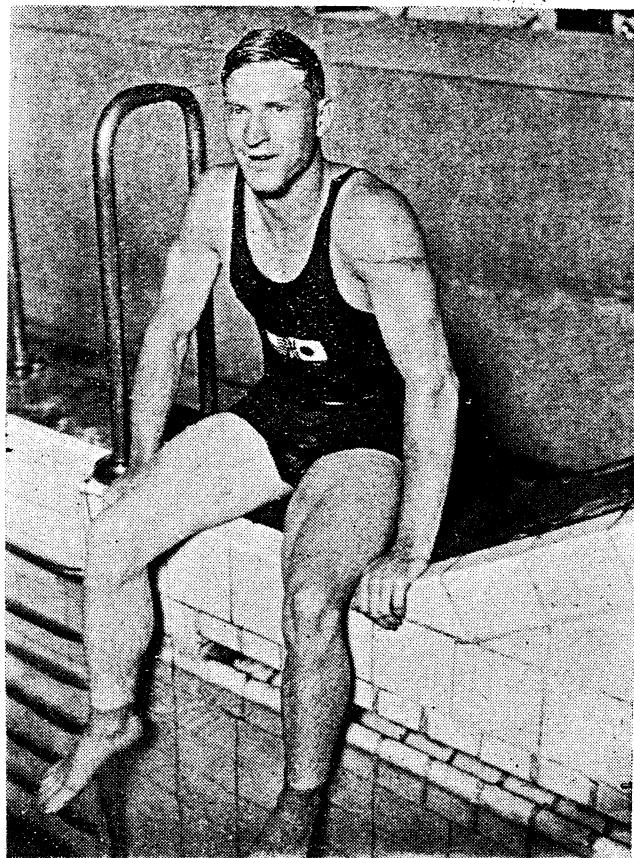
得点 日 3/16 米 3/11

100米背泳優勝牌

着順	姓	名	國	水路	時間
1	フランク・オルトン	(米)	8	1:11.8	
					(日本國際新記録)
2	河津	憲太郎	(日)	7	1:12.0
3	清川	正二	(日)	5	1:12.2
4	オースチーン・クラブ	(米)	4	1:15.6	

経過

スタートはオルトン良く、25米邊では、オルトン河津、清川、クラブと雁行の形であつた。その儘で50米のターンを過ぎ、75米位で清川が出たが、コ一



フランク・オルトン

ス・ロープにかかり、追ひ迫るクラブにあやふしと見へたが、その儘よく泳いだ。この間、河津、オルトンは互に1着を争つたが、體力の差か遂に半米の差で敗れた。

ラップタイム

氏名	50米
フランク・オルトン	33.4
河津	33.8
清川	33.0
オースチン・クラブ	35.6

評

米國側も二人出場とアナウンスされた時、先づ3:3は間違なしと安心した。カリリを何故に出さないのか? 400米に全力を注ぐ魂膽か? 最後のリレーに取つておく積りか? 何れにしても今回の様な大接戦を豫想されるミートに一種目でも軽く扱ふことはいけない事だらう。

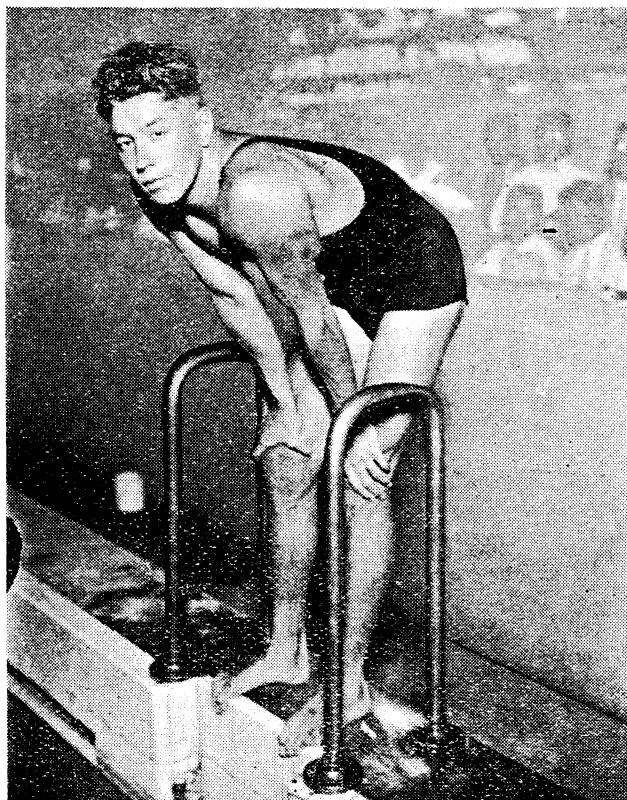


400米優勝牌

着順	姓 名	國	水路	時間
1	ジエームス・ギルフラ	(米)	3	4:57.6
2	横山 隆志	(日)	4	4:58.4
3	マニユエラ・カリリ	(米)	5	4:58.8
4	クラーレンス・クラブ	(米)	7	4:59.4
5	武村 寅雄	(日)	6	5:01.4
6	牧野 正藏	(日)	8	5:07.2

経過

クラブ、カリリはスタートの滑り出し良く、50米を過ぎるや横山出でてトップとなり、100米では横山、カリリ、ギルフラ、クラブ、牧野、武村の順である。125米位でギルフラ、横山、カリリと並びクラブは少しあくれて之に次ぐ、200米では横山僅かにリードしギルフラ、カリリは殆ど同着である。300米ではギルフラ、横山、クラブは僅かタツチの差でターンをした。タイムは3人共に3:42.4でありその接戦が思はれる。350米を過ぎるやギルフラ力泳し375米位でギルフラ断然トップを切り、クラブ、横



ジェイムズ・ギルフラ

山、カリリの3人の間に猛烈な接戦が行はれたが、横山よく出で、兩人を破つて二位となつた。

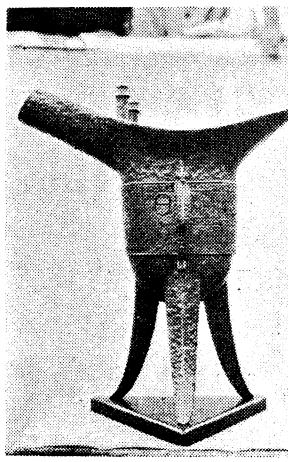
ラップタイム

氏名	100米	200米	300米
ギルフラ	1:08.6	2:24.0	3:42.4
横山	1:07.6	2:23.6	3:42.4
カリリ(弟)	1:07.8	2:24.0	3:43.2
クラブ	1:08.0	2:24.2	3:42.4
武村	1:10.2	2:26.8	3:43.6

評

誰もが豫想出来なかつたレースである。練習のタイムからすればギルフラの優勝が思はれるし、又横山の勝氣と昨日來の元氣から見れば又捨てられず戦前40%の見込としては横山1アメリカ2.3であり、60%の見込では1.2着アメリカ横山3着であり悪くすると0敗を契しかねないと思はれた。5:1と見た人が多かつただらう。

一番樂な泳ぎはギルフラで、カリリは非常に苦しさに泳いでゐたが、腕の強さに頼つて最後迄持つて行つた。ギルフラは左下、右下共自由で常に横山を見て泳いだので、最後の50米も横山がブラインドサイドなるしに乘じて優勝した。横山が危く迫つて來た、カリリ、クラブを押へてタツチの差で2着に喰ひ込んだのは賞讃に値する。それにしても新進ギルフラの好調はすばらしい。



100米平泳

8時40分開始

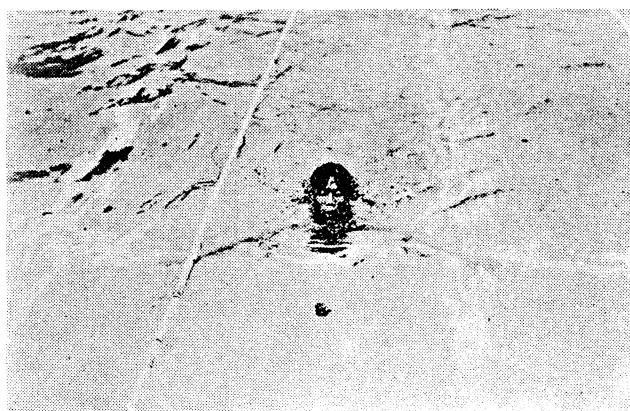
得點 日 4/22 米 2/17

100米平泳優勝牌

着順	姓	名	國	水路	時間
1	鶴	田	義	行	(日) 5 1:16.8
2	ジョーン	・シユミーラー	(米)	8	1:17.0
3	小	池	禮	三	(日) 7 1:17.0
4	塚	原	茂	樹	(日) 3 1:18.6
5	ドナルド	・ホーン	(日)	6	1:19.0

経過

スタートするやシユミーラー例に依つて潜り、23米邊にトツプを切つて浮び出で、ホーン、小池、鶴田、塚原の順に雁行する。シユミーラーは屢々潜つて差をつけ、50米のターンではシユミーラー、ホー



鶴田選手

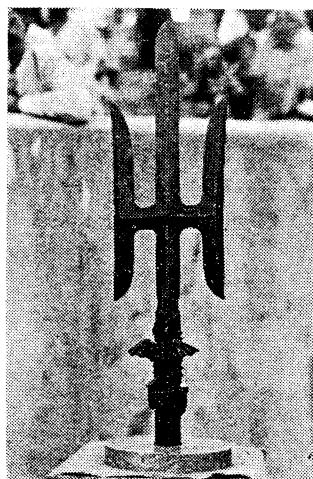
ン、小池、鶴田、塚原の順だが、何れもタツチの差である。ターンするや鶴田ピツチをあげて力泳し、75米邊で小池を抜き僅かの差で優勝した。小池はシユミーラーを押えて二着と見えたが、シユミーラーはゴール前で両手を大きく水上にあげ、横から前に投げ出してタツチし2着となつた。

ラツプタイム

	50米
鶴田	36.4
シユミーラー	36.2
小池	36.4
塚原	37.8
ホーン	36.4

評

潛水艇と呼ばれるシユミーラーが如何に鶴田に迫るが面白いし、其の間に小池の活躍が期待された。シユミーラーの潜行は、浮んだ後に呼吸が苦しい事と、水から出た時スピードが落ちるので結局損ではないか？ 然し乍らラストであれだけ潜る體力には驚いた。



400米リレー

9時15分開始

得點 日 3/25 米 0/17

400米リレー優勝牌

着順	姓	名	時 間
優勝	佐	田	徳
	宮	崎	二
	片	山	吉
	高	石	(日本新記録) 男(日本國際新記録)
2	マイオラ	・カリリ	
	ジョージ	・フィスラー	4:06.0
	マニユエラ	・カリリ	(日本新記録)
	ジョージ	・ハウランド	(日本國際新記録)

経過

カリリ(兄)佐田の兩選手共スタートよく、50米ではカリリ1ストローグ丈け出てゐたが、歸りは佐田よく頑張り100米では遂に1ストローグ丈け勝つて



日本軍400米リレー・メンドー左より佐田、片山、宮崎、高石、宮崎に引継ぐ。宮崎力泳して150米ではフィスラーを1米離し更にピツチを上げ差を2米にした。カリ

リ(弟)懸命に片山を追つたが、片山はよく自己のペースを以て泳ぎ差を3米にして高石と引繼いだ。ハウランドは高石を追つてやゝその差をつめたが結局2米餘の差で危氣なく勝つた。

ラツブタイム

日本	佐 田	1:00.8
	宮 崎	2:02.0 (1:01.2)
	片 山	3:03.6 (1:01.6)
	高 石	4:04.4 (1:00.8)
米 国	カリリ(兄)	1:00.8
	マイオラ	2:03.2 (1:02.4)
	カリリ(弟)	3:05.2 (1:02.2)
	ハウランド	4:06.0 (1:00.6)

評

この種目は米國に有利と思はれてゐたのに、日本は堂々と勝つた。佐田が豫想以上に健闘した事を勝因の第一に挙げたい。又他の3人も好調であつた。米國側は3人迄はよいが4人となると1人一段と實力が落ちるので不利であつた。今少し人選をしたなら61秒位の選手が得られるだらうに、やゝ輕卒の感がある。カリリ(弟)も400米の後で疲れてゐた。ハウランドも何となく凄味がなかつた。

今日は多分米國に有利な日と覺悟してゐたのに今日も亦日本側に勝星は多かつた。日本の優勝はもう確實である。

第三日

前兩日に於ける日本選手の目醒しい活躍が人氣をあふり、午後五時頃には「切符賣切」と云ふ貼紙が各賣場に見られた。切符を得られない多數の人々が何とかして切符を手に入れ様と血眼になつてゐるのもいぢらしい。

招待席には日本選手の身寄りの人々が多いらしい。中にも大阪から遙々來られた高石君の嚴父を始めとし、牧野君の父、宮崎君の父と兄が特に目立つ、これらの人達は競技の都度、一喜一憂、常に安からぬ思ひをして、第一日以來こゝにつめかけ立たり居たりして、己等の子弟の健闘を、引いては日軍の勝利を祈つてゐるのである。

プールは新しい水を半分程供給して、清冽な水が頻りにオーバー・フローするのは、日中の暑さに悩されて來た觀衆の身にも心にも多分の涼味を送る様に思はれ、靜かに場内に吹き入る夕風と相待つて、水上競技の會場に適はしい氣分をたゞよわせてゐる

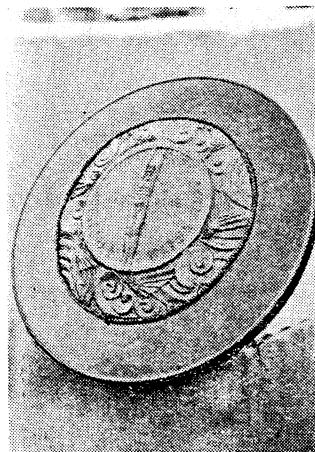
6時20分頃から女子選手を始めとして、日本選手がウォーム・アップを始める。6時半には前年來朝したハワイのダツド。センター監督より高石君に贈られたサーフ・ボードが場内に持ち込まれる。

この間レコードに依る奏樂は試合前の緊張を柔らげ、競技を待ちわびる觀衆の心を慰める。

7時頃貴賓席には高松宮兩殿下を始め澄宮、北白川宮、竹田宮の各殿下が臨御遊ばされた。

7時10分には競技開始のサイレンが高く響きこゝに最終日の競技が開始された。場内立錐の餘地なく尙場外に入場出來ない多數の人々が立つてゐる。

天候 晴、 氣溫 29°、 水溫 26°、



100米自由型

7時35分開始

得點 日 3/28 米 3/20

100米優勝牌

着順	姓	名	國	水路	時間
優勝	ジョン	ハウランド	(米)	8	1:00.4
2	宮 崎	康 二	(日)	5	1:00.6
3	高 石	勝 男	(日)	3	1:00.8
4	マイオラ	カリリ	(米)	6	
5	佐 田	徳 平	(日)	7	
6	マニユニア	カリリ	(米)	4	

経過

高石第三コースを取つて、歸りは皆を見る事が出来るから大丈夫と思はれたが、「勝たねばならぬレー



ジョン・ハウランド

ス」に幾分青くなつて出て來た。硬くなつてゐた。

スタートするやハウランド先づ出で、宮崎、カリリ(兄)、高石の順。50米に於てはカリリ(兄)先づタツチし、續いてハウランド、宮崎、高石、殆んど同時。ターン後宮崎よく出でハウランドと並行、カリリ、高石之に次ぐ、高石例の頑張りを見せたが何時もの如く出す、タツチの差でハウランド、宮崎、高石の順であつた。

ラツプタイム

氏名	50米	100米
ハウランド	28.2	1:00.4
宮崎	28.8	1:00.6
高石	28.0	1:00.8
カリリ(兄)	27.3	1:01.2
佐田	29.2	1:01.9
カリリ(弟)	28.8	1:01.2

評

「誰が勝つにしても一着のタイムは60秒4だ」とは誰もが云つてゐた。理屈ではない、氣持であるが果してこの豫想はあたつた。

高石は初めて日本人から負けた、而も少年宮崎から、高石も後繼者を持つた事を満足すべきである。宮崎は今日はラストでピツチのおちる事もなくよく頑張つた。肩と腕の強くなつた時の宮崎の100米こそ見物であらう。

ハウランドは實に美しく泳いだ。カリリ(弟)の泳ぎは泳ぎ方としてはむしろよくない部類である。

1500米自由型

7時55分開始

得点 日 6/34 米 0/20



1500米優勝

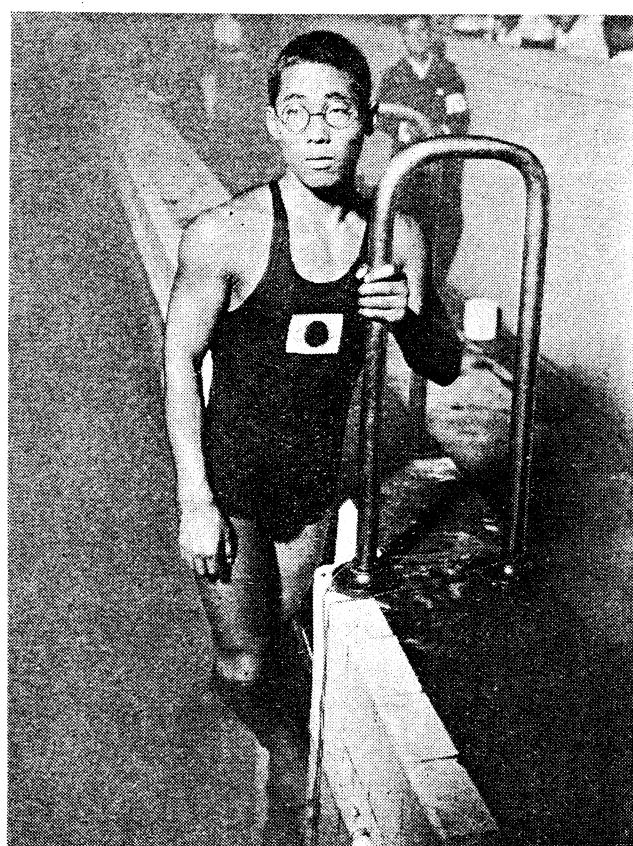
着順	姓	名	國	水路	時間
優勝	牧野	正藏	(日)	6	20:09.2
2	武村	寅雄	(日)	8	20:11.4
3	横山	隆志	(日)	4	20:41.2
4	ロイド・オズボーン	(米)	3		
5	クラレンス・クラブ	(米)	5		

此の競技1000米に於ける牧野の時間は公式に計測され新記録となる。

1000米 牧野正藏 13:27.0 日本及日本國際新記録
経過

オスボーンは日本選手をつる積りかスタートから急ピツチでぐんぐん出でた。50米で武村一人約1米おくれたのみで他は殆んど並行である。

100米では牧野少し出で、それについで武村、横山、クラブの順である。オスボーン依然トップを切つてゐるが何となく苦しさうである。300米では牧野出で、約半米リードし、オスボーンと武村は殆んど同時にターンした。横山は少し疲れ氣味で之より約1米おくれた。



牧野正藏選手

400米では牧野、武村、横山、クラブの順となりオスボーンは約5米もおくれた。牧野好調にて武村を一米半位はなしたが、武村も力泳して600米では殆んど同時にターンし、700米では牧野更に少し出で、タツチの差リードしたが、800.900米と武村僅かリードしこの競技の興味の中心は牧野、武村の一騎打ちとなつた。横山は10米おくれ、クラブ、オスボーンは漸次その差を大にしておくれた。900にて僅かおくれてゐた牧野1000米では力泳して13:27.0の日本新記録を出した。武村は1100米で尙一回僅かリードしたがその後少しづゝおくれ、牧野のラストスパートに依つて、1米餘はなして優勝した。3着横山は武村より30米、クラブは更に50米、オスボーンは作戦もむなしく80米おくれた。

ラップタイム

	牧野	武村	横山
100	1:13.4	1:14.6	1:13.0
200	2:34.6	2:34.8	2:34.8
300	3:55.6	3:56.0	3:57.0
400	5:17.0	5:17.4	5:19.0
500	6:38.4	6:39.6	6:41.4
600	8:00.6	8:00.6	8:04.2
700	9:22.0	9:22.2	9:27.0
800	10:44.4	10:44.0	10:50.8
900	12:06.0	12:05.8	12:13.8
1000	13:27.0	13:27.2	13:38.8
1100	14:48.6	14:48.4	15:02.6
1200	16:10.2	16:10.2	16:27.6
1300	17:32.2	17:32.4	17:52.8
1400	18:54.8	18:55.0	19:18.0
1500	20:09.2	20:11.4	20:41.2

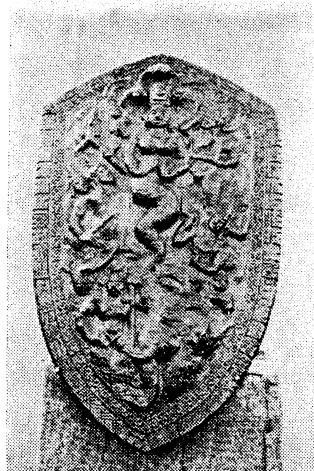
クラブ オスボーン

100	1:13.6	1:10.4
200	2:34.8	2:33.2
300	3:57.8	3:56.0
400	5:21.6	5:24.4
500	6:45.6	6:57.2
600	8:13.0	8:03.0
700	9:41.0	10:10.8
800	11:12.0	11:48.0
900	12:38.0	13:24.8
1000	14:06.0	15:01.2
1100	15:36.0	16:36.8
1200	17:05.0	18:14.8
1300	18:36.0	19:53.2
1400	20:04.0	21:27.5
1500	21:34.8	22:33.6

評

日本全勝は米軍も覺悟してゐた事であらう。それでもオスボーンが横山の隣りで横山を釣らうとして200米位まで飛び出した氣持は可愛い。

武村の優勝を豫想してゐた人がむしろ多かつたやうであるが、今日の牧野は實に好調であつた、武村はレースが下手である。1000米の公認記録を取る事も初めから發表されてゐたのに、800.900とリードし亦1100.1200とリードして泳ぎながら1000米の記録丈けを牧野に譲つた。



200米平泳

8時40分開始

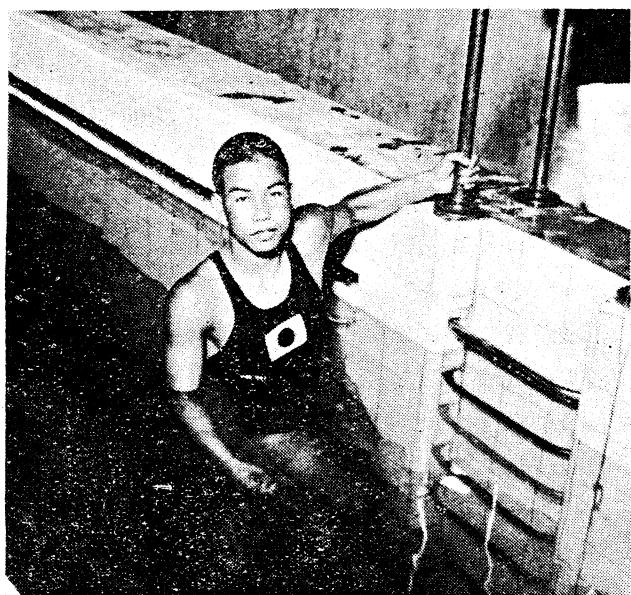
得點 日 6/40 米 0/20

200米優勝牌平泳

着順	姓	名	國	水路	時間
優勝	小	池	禮	三	(日) 7 2:50.0
2	鶴	田	義	行	(日) 5 2:53.0
3	塚	原	茂	樹	(日) 3 2:56.0
4	ドナルド	・ホーン	(米)	3	
5	ジョーン	・シユミーラー	(米)	6	

経過

スタートはシユミーラー、ホーンよく僅かに他をリードして出で、50米ではシユミーラー、ホーン、小池と相並び鶴田、塚原やゝおくれる。鶴田ピッチ



小池禮三選手

をあげてシユミーラーを抜き100米では小池、鶴田シユミーラー、ホーン、塚原の順であつた。150米では小池、鶴田殆んど同時であつたが小池はスムースな泳ぎですんすん出で平泳の王者鶴田を3米もはなして堂々勝つた。塚原やゝおくれてゐたが、ホーンを追つて大接戦を演じ之を抜いて3着に喰込んだのは賞讃に値する。

ラップタイム

氏名	50米	100米	150米	200米
小池	38.8	1:23.2	2:07.8	2:50.0
鶴田	38.2	1:23.6	2:08.3	2:53.0
塚原	39.6	1:24.4	2:10.4	2:56.0
ホーン	39.4	1:24.2	2:10.6	2:58.0
シユミーラー	39.0	1:24.0	2:14.0	3:09.0

評

小池は豫選の時200米では既に鶴田に迫つてゐた。本會では當然優勝するだらうと思つてゐた通り、ラストまで鮮に泳いで一着を占めた。

小池の好記録と共に塚原の健闘を賞すべきであ

る。小池の泳ぎは完全に近い。そのアーム・モーションは現在の鶴田が亂れてゐると對照して特に立派である。塙原は練習の時疲れて實に悪かつたが、今夜の泳はよく、何時も危い所でよく勝つ頼み甲斐のある選手である。



800米リレー

9時15分開始

得點 日 0/40 米 3/23

800米リレー優勝牌

着順	姓	名	水路	時間
優勝 米國	ジョン・ハウランド			
	マイオラ・カリリ	(4)		9:17.0
	マニユニラ・カリリ			
	ジェームズ・ギルフラ			(オリンピック新記録) (日本國際新記録)
2 日本	武村	寅雄		
	宮崎	康二	(6)	9:34.4
	牧野	正藏		
	高石	勝男		(オリンピック新記録)



アメリカ 800米 リレー・メンバー
左より ハウランド、カリリ(兄)カリリ(弟)ギルフラ、

経過

いよいよ最後の最もオリンピック種目として最も注目される 800米リレーが始まった。米國のトップハウランドは相變らずスタートよく武村を早くも 1米はなし、50では1米半、100では3米とリードし武村懸命に追へども及ばず200米では極局7米もはなされた。第二の宮崎足を強く動かして力泳之つとめたが、カリリ(兄)は更に差を大にし1米はなしカリリ(弟)に引継ぐ。牧野も急ピッチで追つたが1500米の疲れが専ら差を大にせられ18米もおくれ、ギルフララストを引継いで高石を25米はなし堂々と優勝した。米軍のタイムは9:17.0 オリンピック並に日本國際記録を破る好記録である。日本チームの9:34.4 もオリンピック新記録である。

ラップタイム

		50米	100米	150米	200米
米國	ハウランド	31.4	1:07.2	1:44.4	2:19.8
	カリリ(弟)		1:05.6	1:42.6	2:18.0
	カリリ(兄)	31.2	1:07.4	1:45.6	2:21.2
	ギルフラ		1:03.6	1:41.0	2:18.0
日本	武村	32.4	1:09.0	1:47.2	2:25.4
	宮崎	30.2	1:06.0	1:44.0	2:20.6
	牧野	30.0	1:07.4	1:45.6	2:25.8
	高石	29.6	1:05.0	1:44.2	2:22.4

評

愈々最後の800米リレー、先づ兩軍のメンバーが発表された時、米國側は誰もの豫想通りとして日本側は今1500米を泳いだばかりの二人が入つてゐるので驚いた。之は少々無理である。果せるかなレースは初めから敵にリードされて、25米の差で敗れた。第一日の200米に米軍の強さを見て以來、800米リレー危しとは誰も考へた事であつたが、それでも練習中のタイムでは米軍に勝つてゐたのであるから、比較的休んでゐる片山、大横田、佐田の中から二人を入れて敗れるにしても、せめて日本新記録を作るか、米軍に接戦して欲しかつた。結果から見た慾ばかりではない。

	一 等	二 等	三 等	得 點	
				日本	米國
200 背	米	日	日	3	3
200 自	米	米	日	1 4 6 3	5 8 0 0
800 自	日	日	日	10	8
300 メリ	日	米		13	8
100 背	米	日	日	3 16	3 11
400 自	米	日	米	2 18	4 15
100 平	日	米	日	4 22	2 17
400 リ	日	米		3 25	0 17
100 自	米	日	日	3 28	3 20
1500 自	日	日	日	6 34	0 20
200 平	日	日	日	6 40	0 20
800 リ	米	日		0 40	3 23
日本	6	8	8	40	
米國	6	4	1		23

閉　會　式

前後3日を通じ彼26名の精銳が互にベストを盡して戦つたこの大會もこゝに終りをつけ、夕闇に響き渡る君ヶ代の吹奏と共に日本選手の優勝を示す日章旗はダイヴィング塔上のポールに翻つた。

末弘總務委員長が競技完了の辭を述べた。その中に「……この九月にはこのプールを明治神宮に奉納致しますが、この記念すべき歴史を添へて奉納することが出来るは一層有意義の事であると思ひます云々」の言葉があつた。

ついで各優勝者に構造社の人々が腕を振つた日本美術を表象するトロフィーが授與され、優勝日本チームには高松宮殿下から秩父宮賜杯を賜つた。

之が終ると岸會長の閉會の辭があり、同氏の發聲で萬歳を三唱した、時に9時55分。

絶大の満足を胸に抱いた觀衆は除々出場せんとした時、カリリ(兄)がサーフボートの使用法を實演するの轍を得て、しばしその妙技に醉されてゐたが、さしもの廣いスタンドに溢れてゐた人も次第に其の姿

を消し、夜の更けると共にプールは靜寂に歸つた。
總評

日本は勝つた。然も誰も斷言出來ない程の接戦を豫想されてゐたに拘らず 40:23 と云ふ大きな開きで勝つた。日本の勝因は色々あらうが選手の粒の揃つてゐた事が第一ではなかつたか、誰もが大體均等にレースに參加し、13人中實に12人は得點してゐる。

之に反して米國は13人中カリリ兄弟、ハウランド・ギルフラー、クラブ、シユミーラー、ホーン、ヲルトンの8人以外は殆んど泳がなかつたも同様であり得點したもの 6 人である。

米國側の敗因の第一は遠征のハンデキヤツプであらう。米本國を出てハワイで泳ぎ、更に日本へた事であるからもう可成り旅にあきてゐる。而も遠征地に到着して10日頃は一番悪い時である。却つて一週間位の時がよろしい。

次にはコジヤツクの不參加があげられやう、コジヤツクが今迄の強さを持つてゐるとしたら、彼一人の參加は非常に米軍を有利に導く、一寸考へて見ても(勿論實際はかう簡単ではないが)背泳は二つ共一着をせしめられ、メドレー、400 リレー共日本が危くなる、さうして計算すれば米軍には +10 となり日本軍には -10 となる。

日本は勝つた。然しオリムピック種目では平泳と1500m 勝つたのみで、他の背泳、400.100. は負けた世界一の水泳國米國を破つたからとて夢々油斷してはならない。更に一段の努力が必要である。

泳ぎに就いて著しく感じたのは米國も日本も泳ぎの形が著しく似て來た事である。どちらかと云へば日本の泳ぎ方に似て來たやうである。只米國の多くの選手は腕を前にもどす時ひどく肱を曲げて、前で極端にのばしてキヤツチするのが目についた。これはワイズミュラーの本にさう説明してあるが、ワイズミュラー自身はさうしてゐなかつた。あまり感心したやり方ではない。

泳ぎの技術そのものに就ては殆んど學ぶべきものはなかつた。然し選手があゝしたクラブの集りであるに拘らず、よく從順に監督の命令通り一指みだれぬ行動を取つてゐた事である。

日本選手も非常によかつたやうである。豫選大會の時の成績よりもはるかに立派な成績を示した事は選手の自覺と監督の指導よろしきを得た事と敬意を表する。

どうか來年のオリムピックを目標に、更に世界の霸權を目標に舉國一致努力されん事を希望する。

日米大會

女子水泳大會

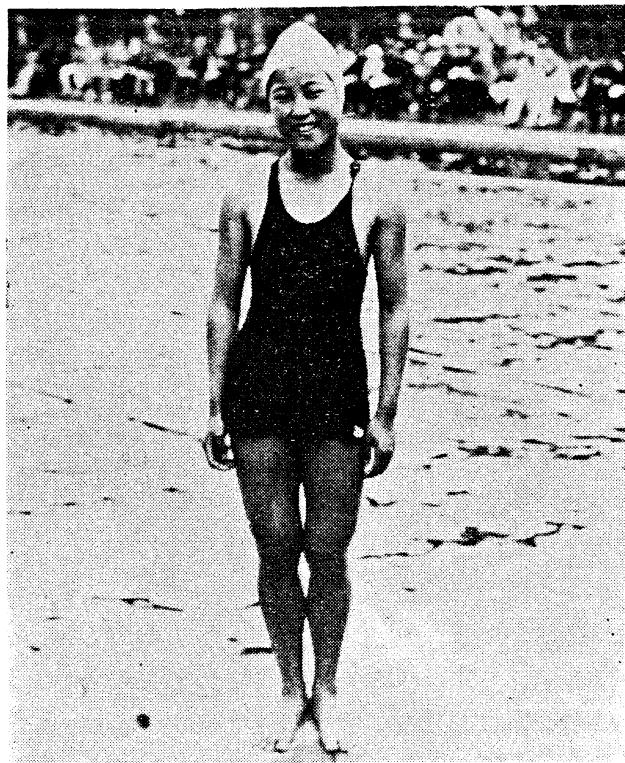
女子50米自由型

午後8時開始

着順	姓 名	水路	時間
1	松澤 初穂(日本體專)	(6)	34.4
2	戸張 ハツ(愛知淑徳)	(5)	36.0
3	宮城 清子(京都第二)	(7)	36.0
4	片山 荣子(東京女子ク)	(4)	
5	川田 泰代(同 上)	(8)	

経過

松澤相變らず元氣な所を見せ、25米で既に他を半



松澤 初穂 娘

身リードし、宮城之に續いていたが30米位で戸張宮城に迫つて之を抜き二着となつた。松澤と戸張の差約2米。

女子100米自由型

午後9時開始

着順	姓 名	水路	時間
1	松澤 初穂(日本體專)	(5)	1:16.0 (日本國際新記)
2	小島 一枝(相山第二)	(6)	1:19.4 (日本國際新記)
3	宮城 清子(京都二女)	(8)	1:26.2
4	戸張 ハツ(愛知淑徳)	(7)	1:28.2

経過

25米に於て松澤早くもリードし、少しおくれて小島つづき、50米にては松澤、小島はその差半米、松澤ラスト物凄く小島を3米はなしてゴールに入つた
3 着宮城は更に8米、4 着戸張は尙2米おくれた。
松澤の1:16.0は日本國際新記録であつた。小島もおくれたりとは云へやはり日本國際新記録を出した。

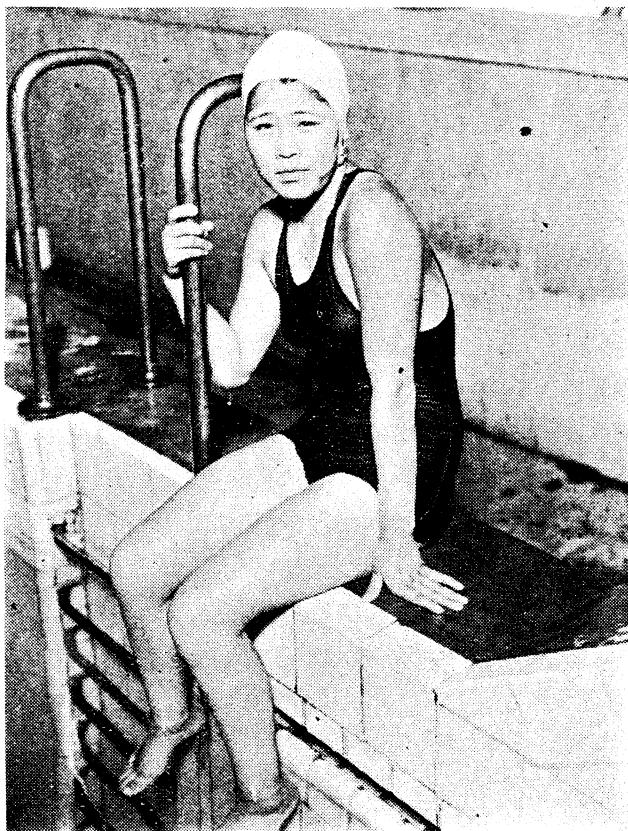
ラップタイム

	500米	10米
松澤	35.0	1:16.0
小島	35.4	1:19.4
宮城	41.1	1:26.2
戸張	37.8	1:28.2

女子200米自由型

午後8時45分開始

着順	姓 名	水路	時間
1	守岡 初子(茨木水泳團)	(4)	2:55.2 (日本新記録)
2	鈴木 サト(京都第二)	(5)	2:59.4
3	小島 一枝(相山第二)	(7)	3:00.4
4	市口 房子(日本女子高商)	(3)	3:02.2
5	永井 峯子(無所屬)	(6)	3:03.2



守岡 初子 娘

過 經

スタートは小島よく、他は殆んど並行。50米のターンの後守岡、鈴木出で、市口、小島やゝ遅れその儘150米迄行つたが、守岡よく頑張り他を5米を引きはなし日本新記録を以て優勝した。鈴木、小島は170米位で互にせり合つたが鈴木の力泳効を奏し小島を2米はなしてゴールインした。

ラツプタイム

	50米	100米	150米	200米
守 岡	40.2	1:23.8	2:09.4	2:55.2
鈴 木	40.4	1:26.0	2:13.8	2:59.4
小 島	—	—	—	3:00.4
市 口	—	1:29.2	—	3:02.2
永 井	42.2	1:28.2	2:16.8	3:03.2

女子400米自由型

7時10分開始

着順	姓 名	水路	時間
1	守 岡 初 子 (茨木水泳團)	(5)	6:12.2 (日本國際新記録)
2	鈴 木 里 子 (京 第 二)	(3)	6:29.8 (日本國際新記録)
3	市 口 房 子 (日本女子高商)	(6)	6:32.4
4	永 井 峰 子 (無 所 屬)	(4)	6:35.8

經 過

スタートでは守岡、よく約1米位先んじ、50米もその儘に進み、75米位で守岡は鈴木を1米位引き離し、100米では守岡、鈴木、市口、永井の順である。守岡は昨日來の好調で200米では他を7米もはなす。鈴木、市口は殆んど相並んでゐるが、永井は1人やゝおくれて元氣ない様である。

300米では守岡其の差を更に大にして15米をリードし、二位は鈴木で市口は約3米おくれた。

守岡はラストを力泳して日本國際新記録を以て優勝した。鈴木は守岡より20米もおくれたとは云へ、やはり日本國際新記録でありその健闘は稱するに足る。3着の市口は4米おくれた。

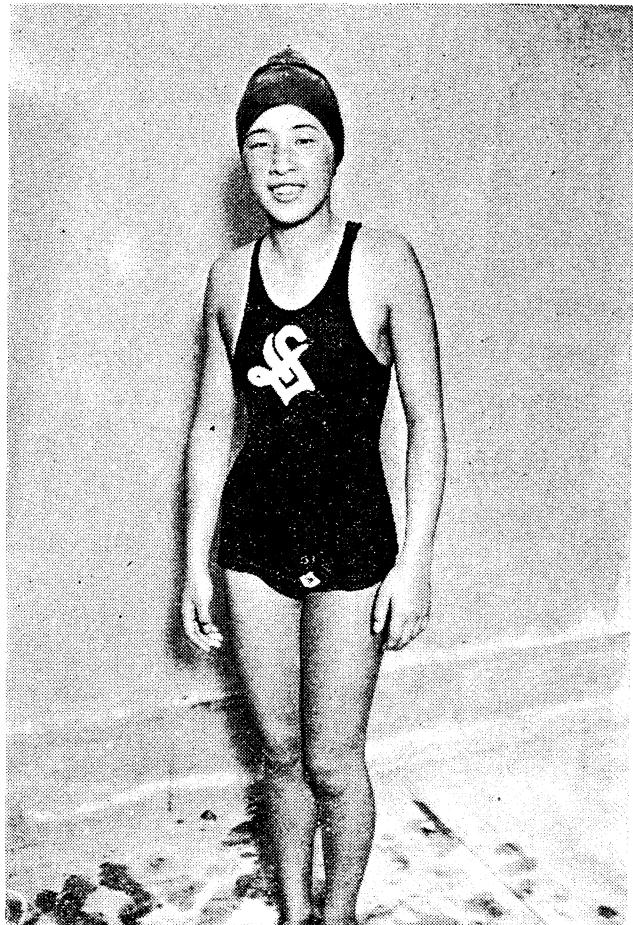
ラツプタイム

	50米	100米	200米	300米
守 岡	—	1:27.0	3:02.4	4:37.8
鈴 木	41.8	1:30.0	3:09.4	4:51.6

女子100米背泳

7時10分開始

着順	姓 名	水路	時間
1	加 藤 好 子 (愛知淑徳)	(5)	1:28.6 (日本國際新記録)
2	高 野 菊 江 (同)	(6)	1:37.2
3	松 井 菊 (京府二女)	(4)	1:38.8
4	中 川 チ エ (俱水女東)	(7)	1:45.2



加 藤 好 子 嫁

經 過

加藤スタートから出で、50米のターンでは2位の高野を既に5米も離し、75米に於ては更にその差を増して7米とし、加藤尙もスパートして日本新記録を以て優勝し、高野は約10米おくれて2着更に2米おくれて松井、中川は隨分をくれた。

ラツプタイム

	50米	100米
加 藤	42.0	1:28.6
高 野	47.2	1:37.2
松 井	—	1:38.8
中 川	49.2	1:45.2

女子200米平泳

8時25分開始

着順	姓 名	水路	時間
1	前 畑 秀 子 (相模第二)	(5)	3:16.0

- 2 浅井品子(愛知第一) (6) 3:22.6
 3 久原菊子(京都武徳) (7) 3:25.8
 4 池田龜代(同) (4) 3:43.2



前畠秀子嬢

経過

前畠スタートより他をリードし、50米では2メートルはなし、浅井、久原、池田の順である。100メートルでは前畠は更に差を大にして4メートルはなし、続いて浅井により7メートルあくれて久原更に2メートルあくれて池田殿す。ラストのターンをするや、前畠ピッチをあげ2着の浅井を5メートルはなして優勝した。

前畠の泳ぎは腕と脚の動作の調和が少し乱れていた。脚の屈け方が少しおそい様に思はれる。新進浅井はよく泳いだが今少し力強い所が欲しい。

ラップタイム

	50米	100米	150米
前 畠	44.8	1:36.2	2:24.6
浅 井	46.8	1:36.0	2:29.0
久 原	49.6	1:42.0	
池 田	49.6	2:45.0	2:43.2

日米對抗豫選會 及 日米對抗競技會

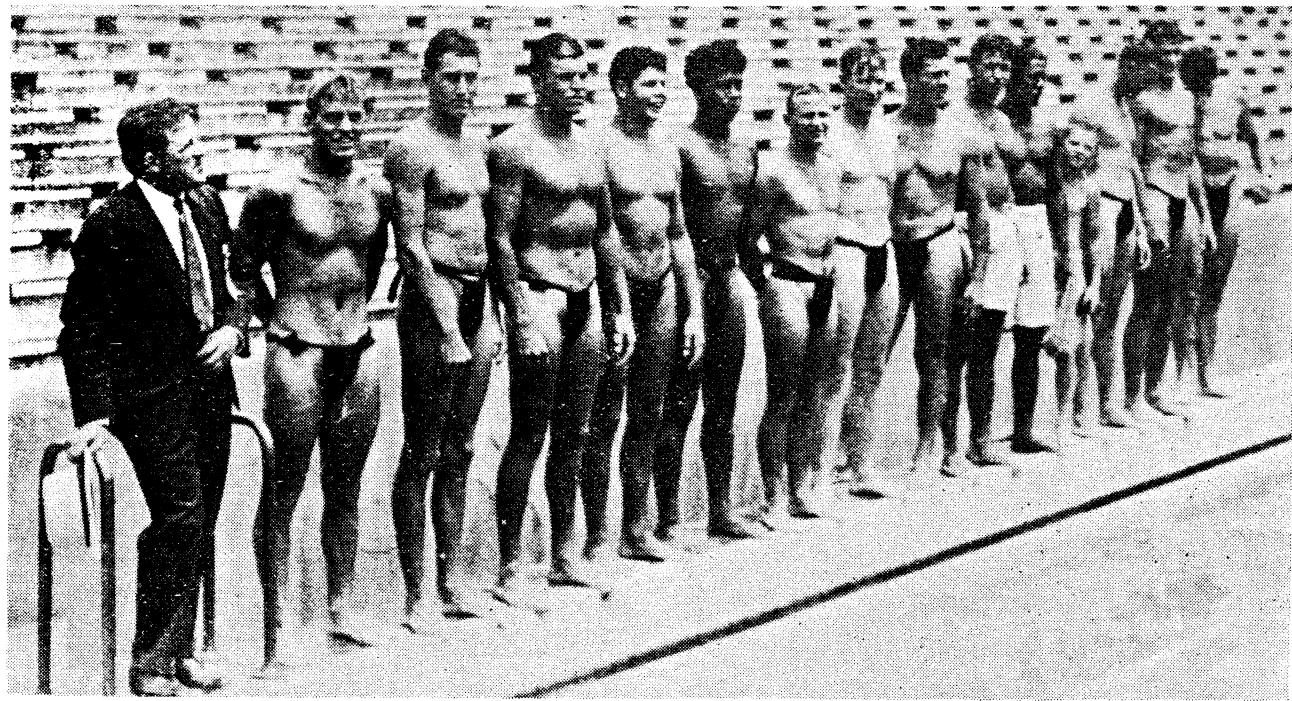
會計報告

收入之部

日米豫選申込料	103円00
日米豫選會入場料	8、909、10
日米對抗入場料	43、359、10
日米對抗プログラム賣上	1、532、10
合 計	53、903円30

支出之部

競技會費用(準備費ヲ含ム)	6、409円60
外國選手費用	24、706、23
日本選手費用	1、808、27
競技場設備費用	1、536、69
プール使用料	5、226、80
雜費	1、801、50
合計	41、489円09
差引残(オリンピック派遣選手費) (競技場建設費)	12、414円21



感 想

藤 明

全世界水上競技の王座を堵して、太平洋を挟む日米兩國が相見えるのは遂に來た。盛夏八月——七日より九日に亘る三日間星月夜の神宮プールに、すゞりし精銳各々十三名を、或ひは陣頭に立て、或ひは休舎に憩はしめ、秘策を盡して鬪ふこと十二合。もり上る新興の力は傳統の誇りを克服して、制覇の偉業は全く成つた。40—23の輝かしいスコアの下に、最後の日章旗が竿頭に翻つた時、十數の戦士と萬餘の觀衆はたゞ感激と狂舞と歡喜のるつぼの中に融けこんで、勝利の榮光に陶ひしめた事であらう。一方覇業確立の夢空しく、再び洋上の人とならねばならなかつた米國戦士の心境に思ひ及べば、勝敗兵家不可期の感をいよいよ深くせざるを得ない。戦前あれ程に接戦を豫想され、彼我の練習を最後まで目撃せる者として「勝敗はたゞ天意に在る」との嘆を發せしめた兩軍の接近せる力量が、何故にかく迄の大差を生じたのであらう？私は我がニツポンが「天の時、地の利、人の和」を完全に恵與されたに反しアメリカは「天の時、地の利」に恵まれる事なく、遂に敗戦の道を辿るに到つたと答へたい。

私はコーチングスタッフの末席をけがして居たので、繰り返された激戦の一つ一つを賞味する餘裕が無かつたのを残念に思つて居る。その代り日本選手

と生活を共にし、更に米の監督、選手諸君と接觸する機會に多く恵まれたので、教へられる所が少くなかつた。断片的ではあるが、思ひ出す儘に拾ひ出して見やう。

キファース監督の見事な統制ぶりが先づ第一に記憶に甦る。アメリカの各地から選ばれた十三名の選手を完全に一つの個性にまとめて、手足の如く操縦する氏の人格と力腕には、唯々敬服の外はない。「監督の命令は絶対的である」とは從前から聞き慣らされた言葉であったが、氏の練習や生活に対する指導を見るに及んで、始めて實物に觸れるの感を深くした。又氏は日本側が豫選會や其の後の練習を公開した點を、Sportsmanship の典型的の如く賞めちぎつて居るが、我々も同時に、アメリカの豫選會を（渡日以來前後三回に亘る）日本側役員に全く委ねた氏の雅量と、その公開的态度に賞讃を惜む者ではない。日本の優勝に歸したレースの直後、氏が呼びかけて呉れる "Nice-going" "Congratulation" 等の祝福の辭はいさゝかの節氣もなく、その都度私は感激に打たれた。全世界の視聽裡に舉行されたかゝる大競技會が、かくもオーブンに、フェヤープレイに終止した事は蓋し空前の事ではあるまいか。更に練習中、背泳のスタート・ターン等に就て、兩國間に解

釋の相違があつた時、氏の採つた折衝振りは眞に紳士的で、我々は充分の好意を持つ事が出来た。

今でも時々、常に微笑を絶やさぬキファース氏の温顔が、なつかしく思ひ出される。

「名将の下に弱卒なし」とか。名監督であり、立派なスポーツマンであるキファース氏の傘下に参じた十三名の闘士が、感嘆すべき態度で終始した事は、今更私の言を待つ迄もあるまい。如何に氏が名監督であるにせよ、選手各自に自覺と節度がなければ、水も洩らさぬ統制を保つて行く事は不可能である。私は米選手の滞在中、遂に一度も酒、煙草を口にした人を見た事がなかつた。それどころか、岸會長の午餐會で席を同じうしたリーディー君の如きは、コーヒー、西瓜、アイスクリーム等は勿論遠慮した上料理も飽食に失せぬやう加減して取ると云ふ節制ぶりで、私はいたく感心させられた。更に來征選手によく有り勝ちなスタンドプレーが、微塵も見受けられなかつたのは喜ばしき限りである。かくの如く立派な態度を持し、キファース監督の指導精神を遵奉して、影の形に沿ふが如く立ち廻る有様は、他所目にも麗しく私共の眼に映じた。かく迄に心服せしめる監督の人格力もさる事ながら、絶対に信頼を置く選手の態度こそ、我々の學ぶべき最大の訓へであつたらう。

爲すべきを總て果して、尚敗者の道を辿らねばならなかつた十三の米選手のために、私は武運拙きを嘆ち、萬腔の敬意と同情を寄せる者である。

日本側も從来にない圓滑な合宿生活を送つた。單に日課、日程を恙なく行つたと云ふに止まらず、監

督選手間、選手同志の間に何等の惡感情をかもさず協力して外敵に當り勝利を確實にした。禁酒禁煙が厳守されたのは勿論、松澤監督の指導方針に絶対服従した選手諸君の態度は、米選手にも劣らぬものとして推賞するに足る。その結果コーチングスタッフの最も苦心し、懊惱の的であつた豫選會の疲労回復を完全に果し得て、チーム全體を最好調の波に乗り上ぐる事が出來たと確心して居る。此の人の和を掌握された松澤監督の人格こそ、やがては天の時を呼びよせ、地の利と相まって、勝利の道を開拓されたものと言へやう。

上述した如く、日米兩國が何れ劣らぬ統制ぶりを發揮し、模範的態度でこのコンテストを終了した事は、私共當事者の最も欣快とする所である。

最後に私は「我が水上競技界の危機は現今である」と絶叫したい。スコアは40—23 17點の大差を明示して居るが、兩國の獲得せる選手権は正に互格。更に戒心を要すべきは、六のオリンピック種目中四の選手権を持ち去られた事實である。我等多年の願望たる、オリンピアードの王座に就かんがためには、一層の精進と周到なる用意を忘れてはならぬ。徒らに前哨戦の戰勝に酔ふて、中原の鹿を視界より去らしめ、井中の蛙に安んずるならば、今日の此の榮光も假睡の夢と化し去るであらう。

「若き日本」に光輝あらしむる可く、有名選手の前進向上を切望すると共に、全國に散在する無名泳士の蹶起を促して、この拙稿を閉じる次第である。

(1931. 9. 3 千葉にて)

日米戦を顧みて

日本チーム主將 高石勝男

日米大會を追想する時、長い間の苦しさが優勝の喜びと混合して、唯何となく心をわくわくさせる様な感じが起きて来る。

唯三日間の試合!!それは泡の如く短いものに違ひない。然し吾々には今年の春、日米大會が発表されて以來の永い月日がこの大會に含まれてゐたのである。

アメリカに勝つ等とは夢にも考へ



られない事であつた。嘗て我々の先輩がアントアープのオリンピックに出席してその歸朝談を聞いたことがある。當時吾々にはアメリカの水泳選手カーナモク、ノルマンロス等は丸で神様か何かの様に考へられてゐたものだ。

そのカーナモクを破つたワーズミューラーに到つては、本當に水泳の神様以上に崇めてゐたものだ。私等

がパリーのオリムピックに参加した時に吾々の一人がスエーデンの或選手に可成りの侮辱を受けたことがある。その時吾々は日本人の名譽のために彼をこらしめてやらうといきまいたのだったが、彼は世界で有名な選手、而も會ふ迄は矢張り吾々とは桁の違ふ水の神様と迄尊敬してゐた選手、ひるがへつて我々の實力を見れば強氣も挫けるの外なかつた。今から思へばその選手の性質として、何のわだかまりもなく、何の惡意もなくやつた事だが、世界なれぬ吾々は可成り憤慨させられた。

そう云ふ時代を経て來た私には、アメリカと戦ふのは嬉しい事に違ひないので、アメリカに勝つたのだから私の喜びは略想像がつくものと思ふ。

日米戦の前、アメリカチイームはホノルルのパーで試合をして居り、その成績から見てそう恐るゝに足りないと云ふ自信を得た。ひるがへつて我チイームの編成のため、米國チイームを東京に迎へた日豫選會があつた。その結果は實に素晴らしいものだつた。殊に長距離に於て昨年來拔軍の牧野、横山の兩君も容易に勝つ事の出来ない程の接戦であつた。

十三名に限られた選手發表の時、選ばれた者、選に洩れたもの何れが優り何れが劣るか判然せぬ程だつた。春からの苦しい試練を経て、時に利あらず選に洩れる不幸に遭つた諸君の胸中を思ふ時ぞゝ感涙を禁じ得なかつた。

然しながら光榮と大任とを擔つた十三名の者の努力もさることながら、よく我軍を勝利に導いたのは他の色々の力が加つてゐると思ふ。

我がチイームの主將の大任を負ひながら他の選手諸君と合宿して、終始行動を俱にすることが出来なかつたのを非常に残念に思ひ、且陳謝する次第である。松澤監督から「高石少し合宿に来て、若い者に元氣をつけてくれ」と催促を受けて来て見れば、若い選手は何の案する所もなく、元氣さうに騒いではゐるものゝ、強敵に對する餘りに大きな責任を感じてか、心中に一沫の不案が漂つてゐるのを見ることが出来た。

米國チイームはキツファス名監督の手足の如く彼の命令通り自由自在に練習を積んでゐたのは誠に我々には良い教訓であつた。

然しながら日本チイームも松澤監督の沈着なそして思慮深いコーチに、今迄に味つた事のない良い練習をすることが出来た。

日本の練習振りを見てその相違として感じたのはキツファス監督は常に選手の練習を指圖し、選手は

非常に柔順にその言に従つてゐたが、厳格な指圖の中に何等選手をいちめでゐると思われる節が全然なく、非常に柔かに思われた。そしてその練習中徹頭徹尾厳格な指圖ばかりでなく、放従にならぬ程度の自由を尊重してゐた様であつた。

日本軍の練習は期間が餘り短かいつた爲に松澤監督の理想にかなふ練習を積む時間がなかつた爲でもあらうが、厳格な間に今少し自由を許して欲しかつた。松澤監督の言に手足の如くなる丈けの素養が選手に無かつた様だつた。之は獨り選手の罪ではないと私は考へる。今迄に幾度も合宿練習を繰り返して來たその場合吾々のコーチに當つた人達は餘りにも選手をいちめ過ぎてゐた。俺は監督だ、選手は俺の言ふ事に絶対に服従してゐれば良いんだとの心持しが何等練習の苦しさを體験せぬ人が選手に練習を無理強ひしたのであつた。

それが若い選手に、監督の言はつらいものだ、餘り云ふ事を聞かずに精々要領よくなまけた方がよいぞと云ふ悪い氣持ちを涵養したのだと思つてゐる。

その意味に於て、今度の整つた練習は非常によい教訓であつたと思ふ。今後監督の地位にあるべき人々は、より良いコーチの方法を研究されると共に、吾々選手が何の不服なく完全に服従する様に修養されることが、今回の如き重大な使命の前に充分の力を發揚する上に必要な事と思ふ。

今回の試合は各種目に涉つてよい收穫があつた。短距離に於ける宮崎君、ブレストの小池君、背泳の河津、清川君等はこの大會で新しく大成した人達である。長距離の牧野、横山、武村君等は申す迄もない。宮崎君の足の強さ!! 世界中で日本人の足が一番強いとすれば、その中で怪ろしく強い同君の足は恐らく世界一だらう。

かつてワーズミユーラーが私の泳を批評して、「君は餘り足を動かし過ぎるから、手を完全に働く丈けの力を手に入れる事が出来ない中に疲れてしまふのだ」と云つたことがある。その私から見て彼が私に云つた言葉をそのままに宮崎君に提供したい程同君の足は強い。然し手が働く事はない。もう少し腕に肉でもついて来れば、それこそ良い選手になれると思ふ。練習の時出来る丈け長距離の練習をする同時に、手に力を入れピッチを早くする様に心懸けてほしいものだ。同じ百米を泳ぐ者として切に希望する。

二百米を二分五十秒で泳いだ小池君は何と云つても大きな賜物だつた。小軀ながらがつちりした身體

と、スマートな泳ぎ振り、加ふるに十八歳の若さでは鶴田君と共に非常な強味である。背泳に於ける河津君と清川君とは今迄仲々破れなかつた背泳の記録を新にした。特に河津君は練習中一分九秒と云ふ素晴らしい記録を出してゐるのは、誠に喜ぶ可きことと思ふ。100. 200とも米軍に一着を譲つたとは云へ今迄の進歩を想合して將來の強味を豫想出来る。

戦終つてキツファス監督はアメリカチームは遠征と云ふハンディ・キアツプに煩はされたと云つた様だが、米軍としても素晴らしい出来栄へであつた。殊にギルフラーの進歩には驚かざるを得なかつた。ホノルルでは四百米を五分十二秒と云ふとして問題にするに足らぬ記録で泳いだ彼は、若しその儘米國に歸つてゐたとしたら、多分四分五十七秒と云ふ記録には永久にありつけなかつた事と思われる。

日米大會の感想

醫學博士 太 田 正 隆

日本が對外仕合で外人チームに優勝し得る一番最初の競技は競泳であるとは數年前の末弘嚴太郎氏の豫言である。末弘博士を會長とする吾が水上聯盟は正しく此の豫言を適中させたのであるから、實に愈快此の上もない。

戦勝は松澤監督並びに藤田、野田、栗田の補助監督と高石主將、佐田副將を始め選手諸氏との氣合がしつくり合つて居た事及び選手諸君の並々ならざる努力との賜物であるのは言ふ迄もない。

高石、佐田、鶴田、横山等の諸豪がカリリー、ハウランド、ギルフラ、シユミーラー等の強者と奮闘して、よく之を押さへ、以て我軍の志氣を非常に盛んにしめたのであるが、尙新進氣鋭の諸君がいかにもいきいきした泳ぎ振りで戦ひ續けたのは、一萬の觀衆をして如何に喜ばした事であらう。殊に私をして此處に特記させる四つの事實がある。

第一は濱名の怪物宮崎康二君の偉大なる體格である。同君の體格を以て立派な指導者の下で精神的並びに技術的訓練を充分に受けたならば、第二の高石君と成り得るのではなからうかと想はせる。然しながら同君の前途には尙精神及肉體の變化を來す杉本傳氏の所謂スランプ時代がよこたはつて居るから、同君はまだ？付きの怪物とも云ふべきであつて、之れ余が茲に賢明なる指導者の深甚の注意と、同君の

この意味からしてもアメリカは何物にも代へがたいよい土產を持つて歸つた譯である。

大體に於て私が感じたことは、アメリカの選手が好んで日本の六尺フンドシをする様になつた様に、その泳ぎも日本のクロールの型に似て來たことだつた。中には泳いでゐる所を見てゐると日本選手かと思はれるものさへあつた。

アメリカは吾々が受けたと同様大きな刺戟をこの大會に依つて受けたと思はれる。そしてクロールを泳ぐためには、足が日本人の様に強くなければならぬと氣付いて、絶えず足の練習をさしてゐたキツファス監督は必ずや、來年はよいチームをオリンピック迄に作り上げるだらう。

勝つて甲の緒をしめよ!!のたとへの如く、吾々は益々精進しなくてはならぬ。

日米大會の感想

田 正 隆

自重とを切望する所以である。

第二は沼津の少年小池禮三君の巧なる水泳振りを精神の沈着さとである。競泳に於て精神上第一の要件は沈着である、事は言ふ迄もない。然しながら少年の頭腦は一般に刺戟興奮性のものである。所が同君の脳の作用は年齢の割合に至つて平靜であつて、之が明かに競泳に現はれて居る。同君が體格偉大なるシユミーラーや鶴田君を負かして、日章旗に向つて立た時に、米チーム監督キツファース氏の眼は異様に光つた。「如何うして此の少年が勝つ?」と云ふ眼なざしである。

私は此の光景を見て、競泳には力のみでなく、技術と頭が必要である事の好模範であると感じた。

第三は背泳選手河津憲太郎君の巧なる泳ぎと體位を感じる頭脳の敏さとである。あの細い身體で偉大にしてガツチリしたカリリーと對當のレスをするのは、同君の技術の巧妙と體位感の敏さとの賜物であつて、如何に同君の神經が鋭いかどうわかる。私は同君はむしろ今少し頭の働きを鈍ぶくして、身體を太らし體力を増した方が、カリリーーやコーデヤツクと戰つて好成績を得るのではなからうかと想像する

第四は勇敢なる牧野少年が千五百米で偉大にして老猾なる米チーム主將クラレンス・クラップを百米餘も残して悠々優勝した事である。之を見た觀衆は

キツフアース氏が小池君に驚いた様にどうしてあんな偉大な力強い米人に日本少年が勝つだらうと喜び且つ不可思議の感に打たれた事だらう。此の勝負は吾々に競泳の勝敗は筋力の大小によらずして技術の巧拙と心臓の強弱による事を教へてくれた。

以上の事實で競泳には筋力よりも技術、心臓及精神の作用が一層必要となる條件である事が明かにわかるので、之がまた末弘博士をして數年前既に今後を豫言せしめた所以ではあるまい。

最後に私は醫學上から見て、我が日本選手が米選手から何を學ぶべきか而して彼等と位置をかへて米國に渡つた時に吾が選手にとつて必要なものは何であるかを考へるならば彼等の周圍に對する鈍感振り、殊にカリリー兄弟の如き無頓着振りが必要ではなからうかと思ふ、而して之を得る第一要件は毎夜毎夜の死の如く深き睡眠であつて、第二の要件は心身總てを監督と主將に任かせる鋼の如く堅き信頼である。

日米對抗水上競技 日本チーム合宿練習記

日本監督 松澤一鶴

日米對抗と云ふ様な空怖しい計畫がよく出來たものだと残暑きびしい此頃でも冷汗が出る様に思はれる。凡そ挑戦した者の氣持で云へば勝つ積でやつて來たのだが、勝つても此が思ふ壺でしたとも豫想通りでなど、云へた義理ではない様な氣がして自分である。今茲に合宿練習日記を書くけれどもたゞ日本水上競技聯盟から日本軍の監督を申付けられて、其の仕事を報告する義務からのみと心得て居る。事實を述べて、此の材料をも含めて提供し皆様の批判に甘んじ様とするものである。

七月二十九日 (水) 晴

二日間の快晴に恵まれ、日米豫選會を非常な盛會裡に終る。本競技會の盛況を思はせる。豫選會とは云ふものゝどのレースも素晴らしい熱戦ばかり、連日觀戰した米選手達をあきれかへらしめた。競技終了後直に選手銓衡會に入る。銓衡委員出席者、末弘(委員長)石本、小林、松澤、本井、野村、杉本、田畠、飯田、西本(村松は上京不能にて欠席)銓衡標準、二日間の成績を主たる標準とし、日米對抗大會に對する作戦的考慮を加へて次の如く決定せり。

- (1) 監督 松澤一鶴
監督補助 野田一雄、藤田明、栗田春三郎
- (2) 主將 高石勝男
副將 修田徳平
- (3) 日本代表選手 片山兼吉、河津憲太郎、清川正

二、小池禮三、牧野正藏、宮崎康二、大横田勉、佐田徳平、高石勝男、武村寅雄、塚原茂樹、鶴田義行、横山隆志

- (4) 飛込エキジビション出場資格者
飛板飛込 小林一男、原 西三、原 秀夫
高飛込 水谷泰夫、石田英勝、井上一郎、奥 平俊二
- (5) 女子出場資格者 本競技會に出場せる者はすべて出場資格あり、平泳出場者は追つて發表
かうして晴れの全く晴れの代表選手が決定されたのだ。續て合宿に對する決定事項は、明日午前十一時、麹町區隼町植木屋旅館に集會する事でなつた。
又米國選手上陸早々に N. S. R. とキツパス氏との間に決議された直接レースに關係のある事項は次の諸條項であつた。
 1. 競技規定は國際にして (F T N A) のを用ふる事
 2. 申込は個人競技は一種目五人まで、内三人をレース直前にきめる。
 3. リレーはメドレーをも含めて各種目六人申込み置き直接に最後の決定をなす。尙オリンピック規定に準じ情況により兩國の代表選手中ならばリレーは此の六人以外のものから出場せしめても差支へなし。
 4. レースの水路は日米一人置き交互に並ぶこと、し、一回毎に奇數、偶數の水路をかへて運ぶ、番號もレース直前に決定する。
 5. 採點法、米國提出の 5.3.1 點は留保。

6. 米國選手の練習時間は午前 10.45 及午後 4.45 より夫々一時間宛

すべてこちらの申出でを快く承認して呉れた山、而し先づ選んだ練習時間は實に夜の競技時間に適合した鋭い合理的な選び方、米軍コーチの頭の働きは伸々油斷は出來ないと早くも妙な所に神經過敏となる。

七月三十日 (木) 晴

合宿第一日。午前十一時半、指定の植木屋旅館に集合する。明大の人達などはり切つて朝早くから来て将棋などやつて居る。野田が放送局に行つた留守だつたが、(水泳座談會打合せの爲) 藤田、栗田と相謀り選手の室割を決定する。

六號室 (六、三疊) 高石、片山、佐田(長)

十二號室 (八、四、五疊) 宮崎、大横田、牧野、武村、横山(長)

十一號室 (八、六疊) 清川、河津、小池、塚原、鶴田(長)

階下 (八、六疊) 松澤、野田、栗田、藤田

別宿屋の好意で食堂として二室打ち抜きの室を提供して貰つたので甚だ都合がよかつた。室割は人數は少ないながら大體種目別として分けた。其は何と云つても同様の種目の人達は同様の行動をとらねばならぬからと考へた。そして此の方法は全く破綻を見せなかつたと信する。

晝食の時に皆が集つた所に全日本を擧げてのレースであるから、皆して伸よくやつて貰ひたい、外國に行つた氣持で——全く人數を制限されて互に十三人だけなんてきめられて、他からレリーフをもつて来る事が出來ないとなると妙に淋しくなつてそんな氣持になる——元のグループを忘れて一致協同して貰ひたい。

又レースも目前に迫つた今日として練習よりは身體第一、病氣でまけたのは申譯にも何にもならぬ、スポーツマンの恥となるばかりであるからと云ふ事と、

書かずには済まして終ひたい事だけれども、書かねば偽るに等しい氣持がするから書くけれども、煙草のむ人にプールの往復、練習中に於ては一切禁煙を申し渡した。但し練習終つてから宿でくつろぐ折など堪へられぬ人はすつても宜しいと云ふ條件附だ、これもよく守られたと思つて。而し此も全部の選手がさうではない、寧ろ極く小數者に對しての禁制であるから當然の好結果であつたかも知れぬが、そ

れをせめてもの喜びと云ひたい、而し將來の日本チームは禁煙よりも無煙こそ望ましいのは勿論だ。

先づ日課案を示す、勿論日に依つては多少變更のやむを得なかつたが大體に此に依つた。

午前 8.30 起床 (どうしても夜の練習があるので此は遅れがちであつた)

" 9.00 朝食

" 11.45—1.00 畫の練習

午後 1.30 畫食

休憩 午睡 (午睡を防ぐる悪戯は禁制)

" 6.00 夕食

" 7.00—8.30 夜の練習

" 9.00 入浴 小夜食

" 10.30 就寝

練習はいつでも米國選手の後を受ける事となつた夜の練習終つてからの小夜食はどうも感心出来ないが、食欲旺盛な若い人達の胃袋が承知すまいと考へての事であつた。又宿の人がよく考へて軽いものを種々と考へて取換へて貰つて幸であつた。普通ならば午後三時頃は絶好の練習時間であるかも知れぬが神宮プールは公開する關係上はプールに来る人も多くて練習に不適當な上、しどく目に照されては其だけで身體を疲らすから、寧ろ晝寝して夜の不足を取かへした方がよいと考へた。而して中には晝寝すると夜は絶対に眠れぬと云ふ人も居るので弱つた

(材料整理・研究の必要上以下次號)

牧野の世界新記録

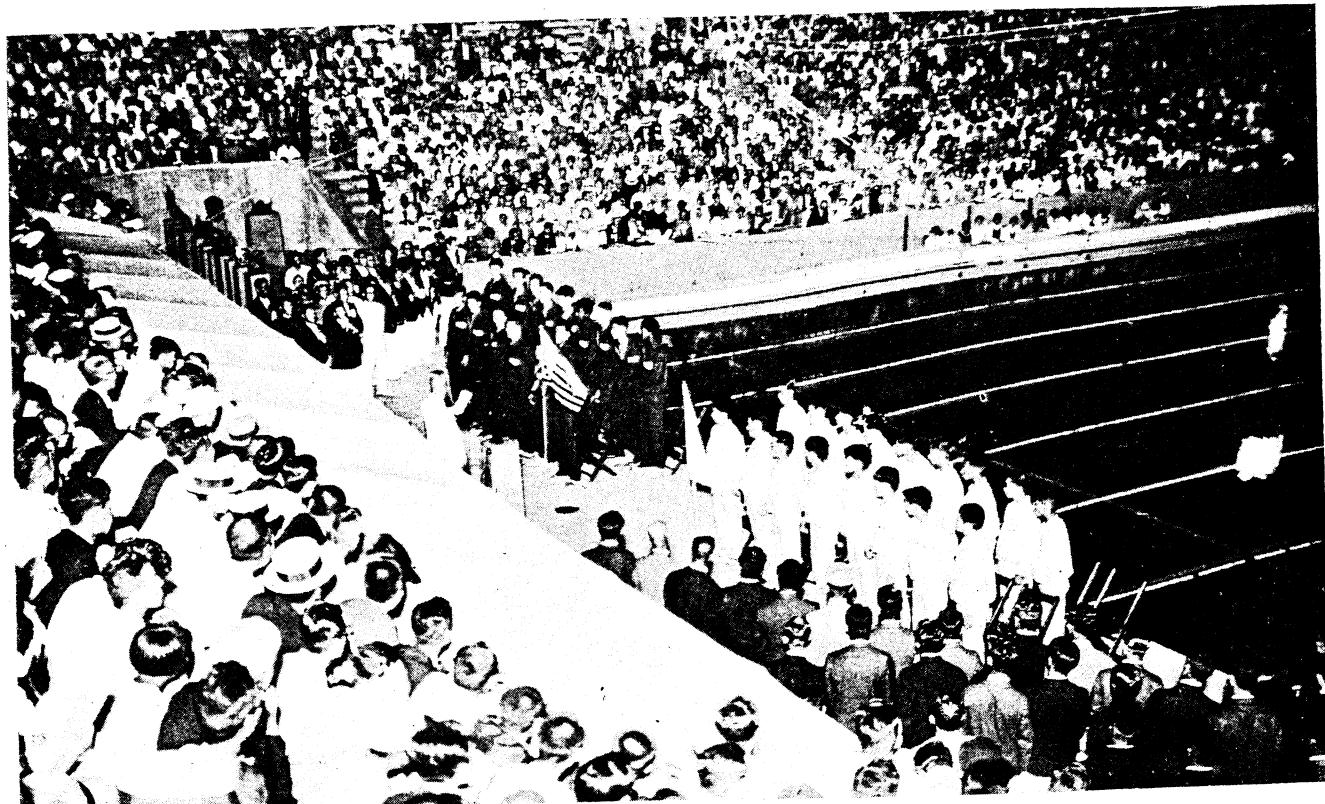
八月三十日、牧野選手は大阪築港プール(50米)に於て行はれた全日本中等學校水上競技大會に於て 800 米自由型に 10:16.6 の世界新記録を作り、タリス(佛)の 10:19.6 を 3 秒も縮めた。

ラップタイム

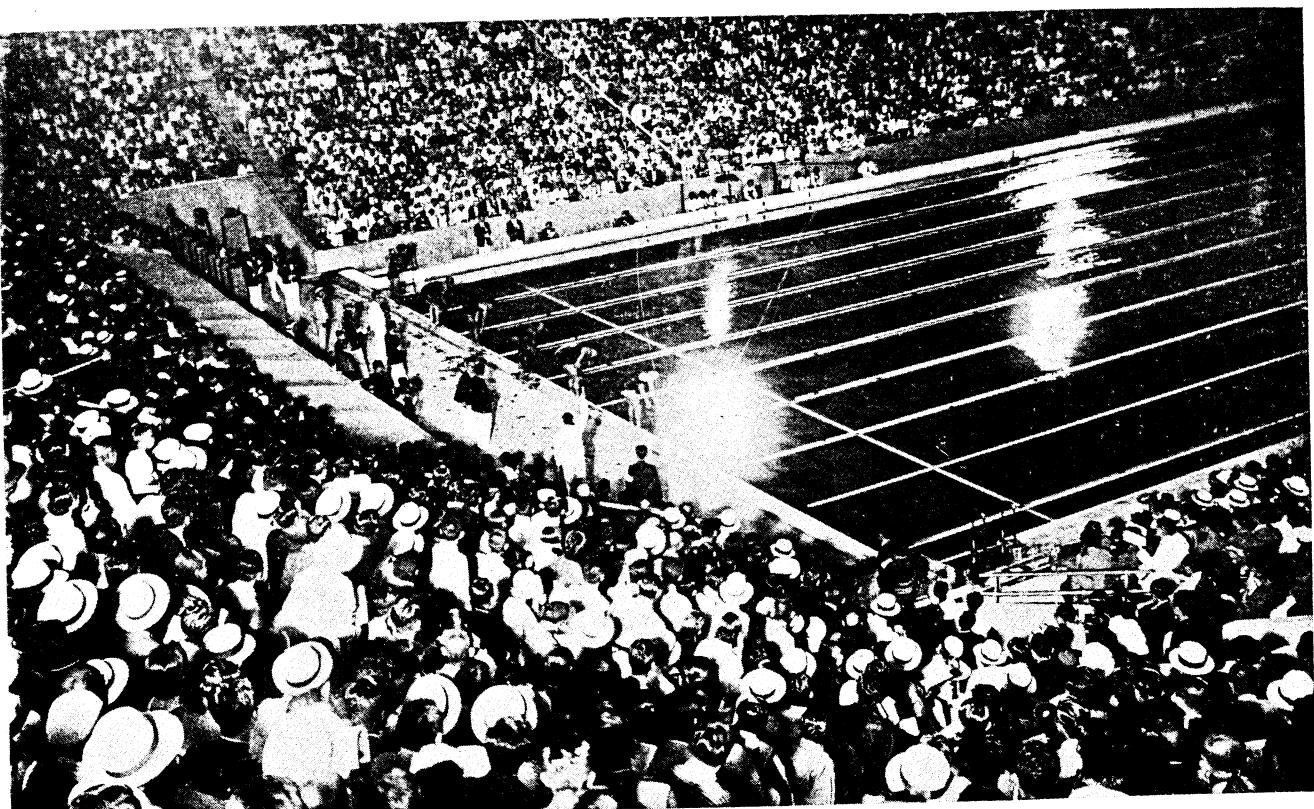
100米	1:09.4
200米	2:26.2
300米	3:43.8
400米	5:03.4
500米	6:22.8 日本新記録
600米	7:41.8
700米	9:02.4
800米	10:16.4

Photo Suite

日米對抗水上競技大會畫報



開會式、祝辭を述べるは岸會長



200m自由型のスタート 右ヨリギルフラ、高石、カリリ(弟)、大横田、カリリ(兄)、片山



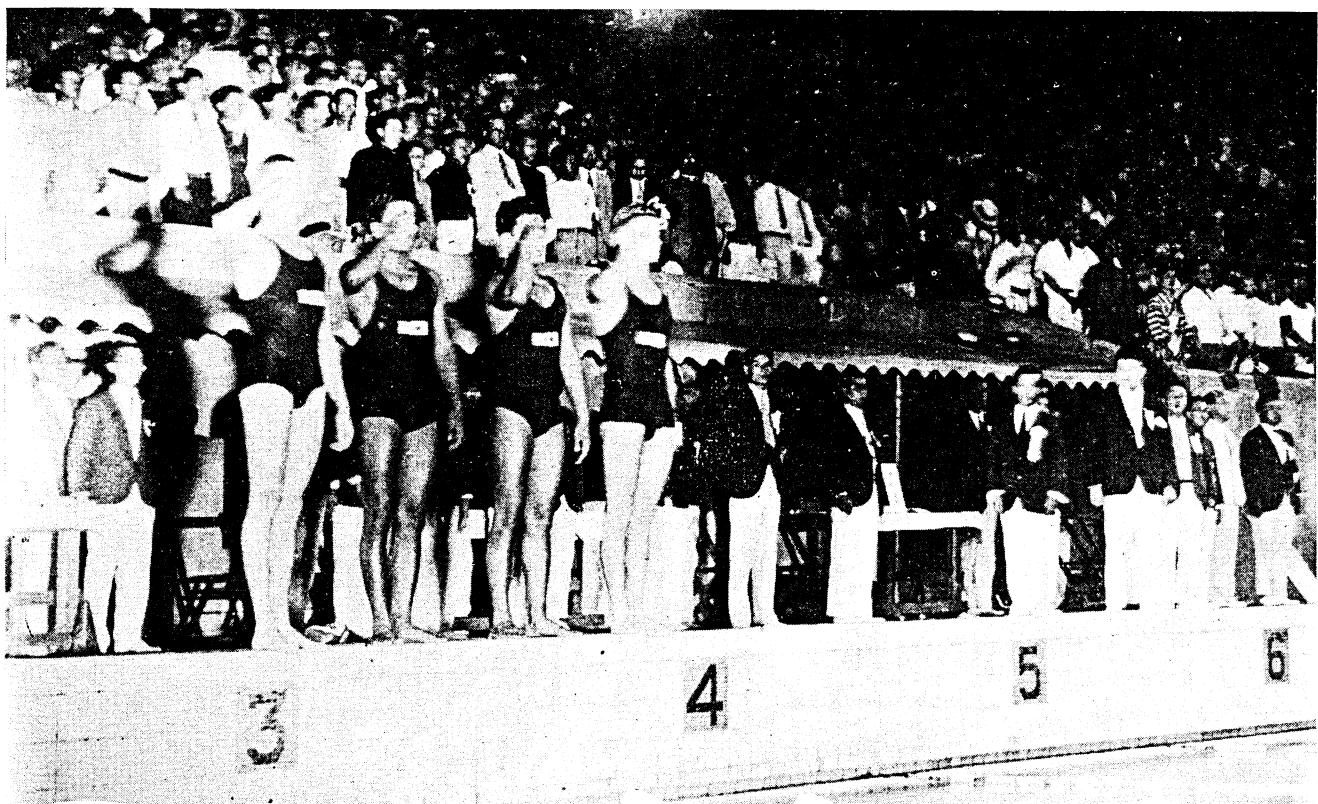
日本チーム 前列向つて左ヨリ大横田、牧野、小池、片山、清川、河津、
後列左ヨリ野田監督補助藤田監督補助、松澤監督、鶴田、武村、佐田、宮崎、横山、塚原、栗田監督補助



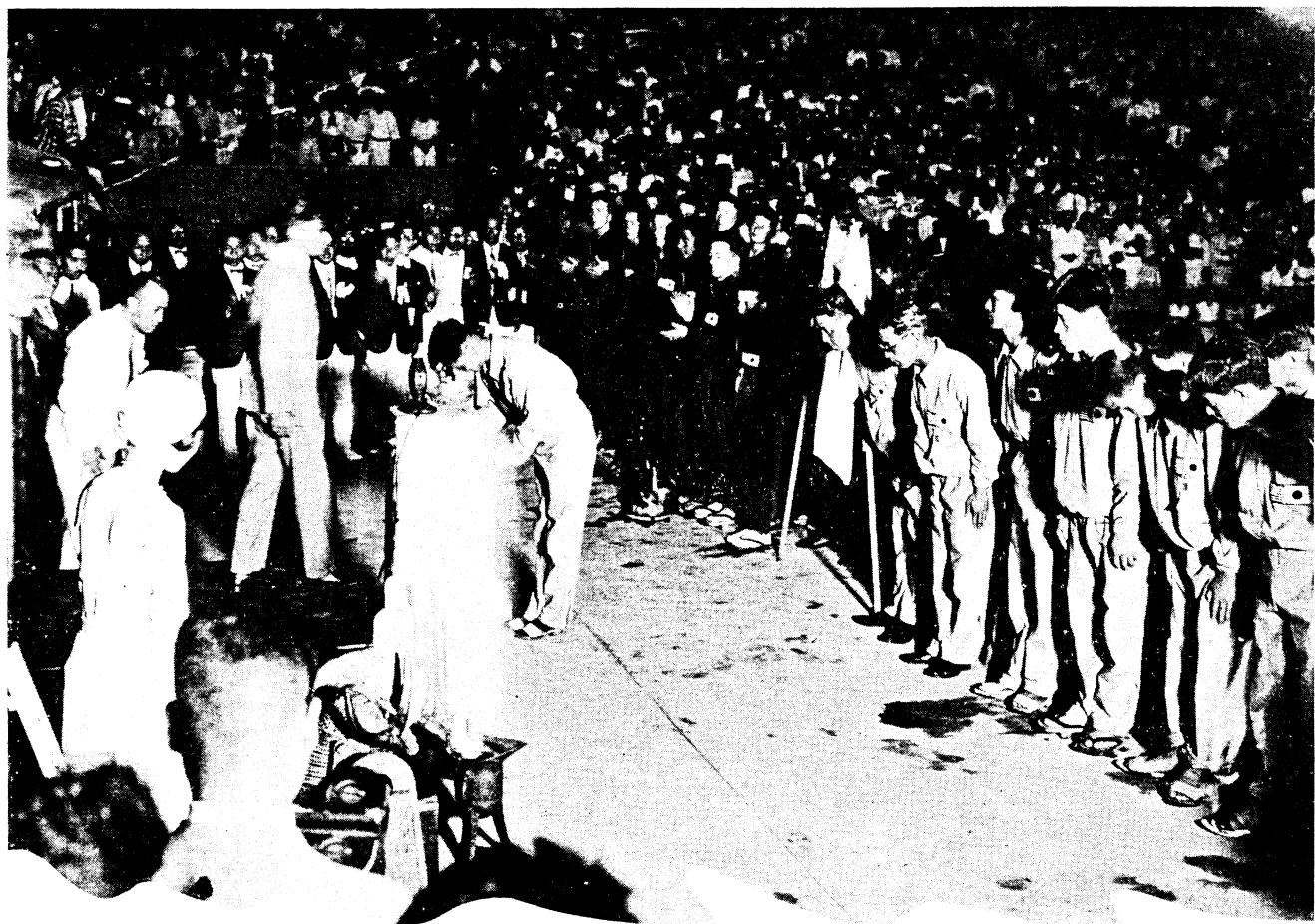
秩父宮優勝賜盃を獲得せる日本チーム、優勝賜盃の向つて右は岸会長、左は末弘總務委員長



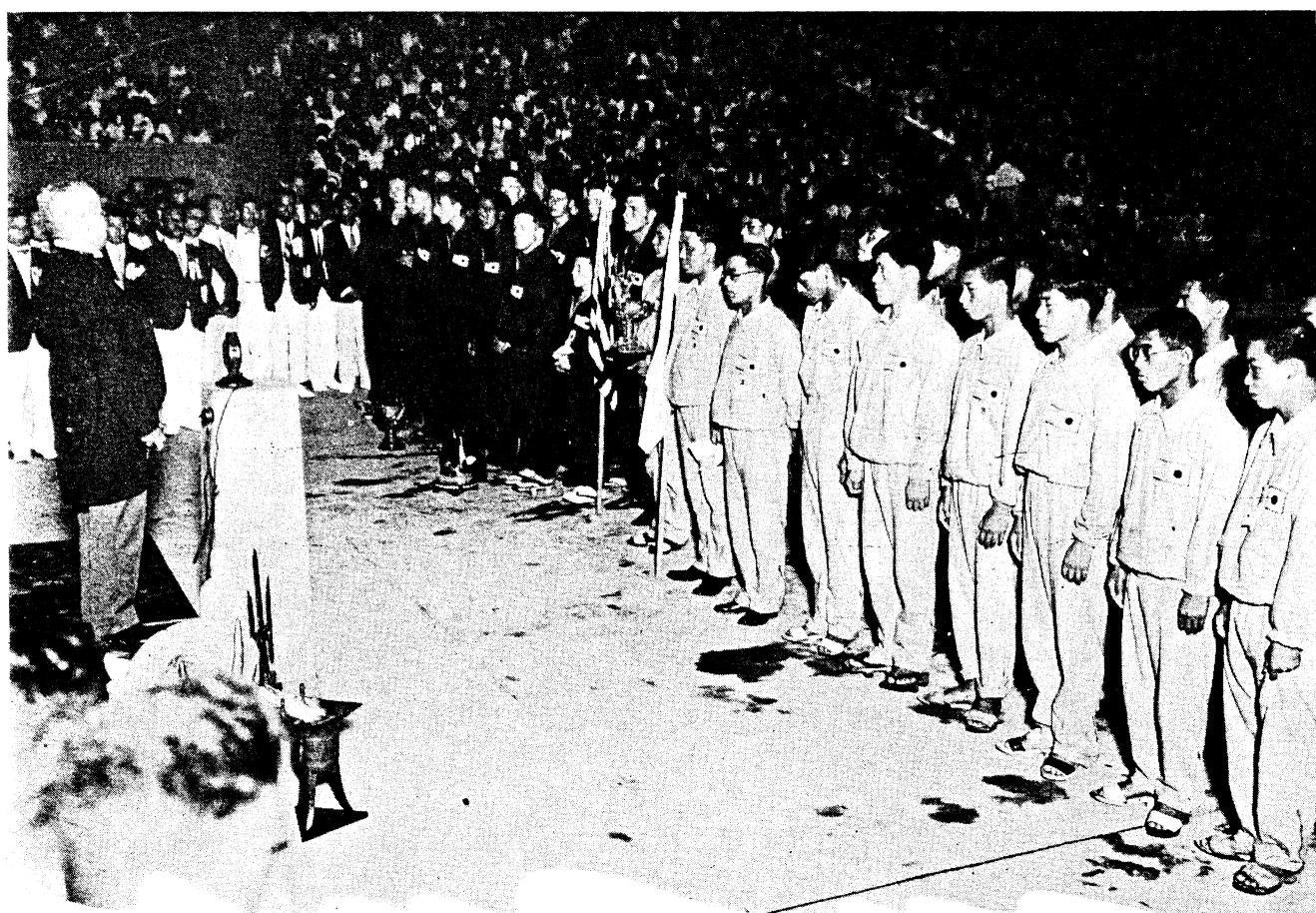
アメリカチーム 前に座せるは監督補助小キツファス、前列向つて左よりフィスター、クラップ、カリリ(兄) クラップ、カリリ(弟)、ギルフラ、ウイゲット 後列左より清水接待係、オスボーン、リーディー、ホーン、シユミーラー、ハウランド、ヲルトン、キツファス監督



八百メリレーに優勝し國旗掲揚に對し舉手の禮をしつゝあるアメリカチーム 向つて左よりハウランド、カリリ(兄)、カリリ(弟) ギルフラ



優勝せる日本チームの高石主将 高松宮殿下より秋父宮優勝盃を賜ふ。



閉会式。閉会辭を述べるは岸會長

日米對抗競技座談會

時 昭和六年九月十二日夜
所 九段富士見軒
人 末弘巖太郎 飯田光太郎 石本己四雄
田畠政治 松澤一鶴 小林榮三
野村憲夫 本井功 西本龍三
安部輝太郎 杉田忠治 藤田明
栗田春三郎 鶴岡英吉

大會概観

鶴岡 これから日米對抗競技を中心とした御話を御願致します。先づ最初に今度の對抗競技に就いての總決算と云つた様な事を御話しあつたら、それに聯關して、どんな點が成功であり、どんな點が失敗であつたとか色々参考になるトピックが次から次ぎへと出て來ると存じます。

松澤 そうですね、日米大會では思はぬ拾ひ物をした様な氣もしたが、又何だか思ひがけない日本の欠陥を暴露した様な氣もしますが、そう云ふ感じはしませんでしたか。

石本 それは確かにあります。例へば試合前にラヂオの座談會で話したことが、可成りこれ迄の我々の豫想に近いものであつた。それが蓋を開けて見ると、その間に可成りの開きがあつた。そう云ふことを想起して見たら隨分吾々の記憶を新に出來はしないかと思ひます。

松澤 例へば得點と云ふやうなものでも、もつともつと近づいたものであらうと豫想してゐた。早い話が、松屋の日米對抗の豫想で確か三點かの差で日本が勝つといふのが一番多かつたそうですが、それがこんな酷い差になつて表れて來た。それで素人眼にも玄人眼にも意外な日本の強さを發見しましたが、それと同時に又勝つて居ながら、まだ米國には油斷がならないぞと云ふ氣分が十分表された。

兩軍の策戦

西本 それは初日の結果を見て、アメリカが急に策戦を變へたから、あゝいふ結果になつたかと思ひます。これは私の考ですけれども、アメリカはオリ

ムピック種目に全力を注いだ。その結果日米對抗としての成績は舉らなかつたと思ひます。

田畠 僕も全く同感です。アメリカとしても最初は得點の上で勝たうと思つたに違ひない。それが八百米で完全に敗ける。四百米で横山が二等に入る四百米リレーに敗ける。あれでアメリカは日米對抗としては投げたと思ふ。若し日本がオリムピック種目で勝たうといふのならば、千五百米にしても武村を一人出して、横山、牧野を八百米リレーに持つて行けば、いい勝負をしたと思ふ。日本としては凡ての競技に勝たねばならぬと云ふシステムであつたから、あゝしたので、アメリカチームとすれば、千五百米にギルフラ、クラブ、カリリを持つて來なければならぬ所だ。

然しオリムピック種目に日本が負けたから、來年のオリムピックでは日本が不利だとはよく聞くが、それは理由にならぬと思ふ。

松澤 その點は特に議論すべきところで、今田畠君の云ふ様に、日本がオリムピック種目と云ふことに重點を置いたならば、策戦のしやうはまだあつたと思ひます。僕は最後迄日米對抗競技として、三日間を通じて出来るだけ多く得點しやうと思つた。唯八百米リレーでは、もうそろそろ打明けてもよいと思ひますが、一番取つておきの佐田と片山にくさられ、大横田が安心してよいコンディションになかつたので、勢ひ千五百米を泳いだ牧野、横山、武村を出して大分玄人眼の批評を蒙つたが餘程考へなければならぬ點だと思います。

安部 千五百米で 6—0 を食はすために、牧野、横山、武村を持って行つた。これは日米對抗に勝たうと云ふ意味から明かであるが、これならば、八百米リレーを敗けてもいいかと云ふに牧野、横山、武村、高石を出した方が勝つ事が多いから出したのではないかと思ふ。

松澤 勿論そうです。メムバーの問題で、あの時千五百乃至四百の人は非常に元氣がよく、八百米リレーに取つて置いた人々よりもよいコンディションにあつた。然し來年のことを考へると隨分参考になつたと思ひます。それは千五百や四百の選手

を同じ日に八百米リレーに使ふと丁度今度の様になると云ふ實驗したことになります。然し三日間を通じて、アメリカの策戦には面喰つたね。可成り思切つたことをやつて、大事と思はれる様な種目を棄てゝ、大事の選手をセーヴしたのは感心した。

西本 それは感心したけれど、アメリカとしては二日までの成績では、あゝするより外なかつたのだろう。

藤田 百米背泳などは、松澤さんの言はれた通りです。アメリカとしてはカリリを使って點を取る所だつた。

安部 第一日にカリリ(兄)に二百背泳に勝たせて、又すぐに二百米自由型に出して隨分悪いタイムだつた。その時僕は、キツバスに何故オスボーンを使はなかつたかと尋ねたら、理由は簡単らしい。去年のハワイの選手権では、カリリは一日四種目も泳いで相當の成績をあげたのでその積りだつたが、それは潮水の關係もあり今回は失敗したと云つてゐた。

松澤 結局これと同じ失敗を僕等が八百米リレーでやつ譯だ。

田畠 カリリがハワイで一日に四種目も出て勝つたと云ふのは潮水の關係と云うけれど、牧野等も一日に二百、四百、八百を泳いで尙八百リレーでは二分十七八秒で泳いでゐる。それはその人が千五百米を泳いで、ある時間経つて八百リレーに出てこれ迄二分十七八秒のものが二分二十五秒もかかるといふ理由はないと思ふ。あれは大きなレースといふことが問題で、カリリの場合は矢張りアメリカの選手権大会であつたからで、日米対抗で二種目で出たあとの方に振はなかつたのは、あゝした大きなレースの雰囲気が人間の氣持の上に影響するのである。松澤君のやつた八百米リレーの選手は、その時の殊勳者で、その時のコンディションが一番よかつたと云ふことになると思ひます。それで今迄はよかつたとしても、大きなレース例へばオリンピックとか、日米対抗と云ふ様な場合には休んでゐた者がよい譯だと思ふ。少くともこの次には千五百と八百米リレーの選手と一緒にするにはいけない。この點日本には大きな収穫であつたと思ひます。

松澤 藤田君も云つた様に、第一日にカリリをタブツで使って失敗したらうが、僕に云はせると、キツバスに失敗があるならば、第二日のカリリを四

百米リレーに重點をおいて百米背泳に使はなかつたと云ふことで、彼としては寧ろ二重の失敗ではないかと思つてゐる。こゝにアメリカの大きな敗因があつたと思ひます。

藤田 カリリはむしろ四百米でセーヴしたのではないだろうか。

安部 あれは四百米に泳ぎ過ぎて四百米リレーにくじつてゐます。

藤田 泳ぎ過ぎたのではなく、カリリの實力ではないでしょうか。然しキツバスとしてはカリリの力を過信した兎角四百米では全勝しやうと思つたのが、横山がもぐり込んだので敗因になつたでしやう。

安部 それが非常に目立つた、第一日にカリリ(兄)を二百バツクに出し、すぐ又二百のフリースタイルに出し、第二日の四百米にカリリ(弟)を出し又すぐ四百米リレーに出したなどキツバスの失敗だつた。

八百米リレーの話だけれども日光で來年のオリンピックの豫想をやつた時に、アメリカ選手はアメリカが勝つと云ひ、日本の人々は日本かアメリカだと云つた。それでアメリカが勝つとすれば何秒位かと聞くと、九分二十五秒乃至二十七秒だと云ふので、タイムがそんなに悪い筈はないと言ふと、同じ日に四百米があるからそれ以上のタイムは出ないと云ひ、又そのタイムを出せば勝てると言つてゐましたが、アメリカは之で考へると四百と八百米リレーの選手はダブルかも知れないが、日本としては、四百と八百米リレーの選手は出来れば別にしたい。その時にならなければ判らないがそれだけの選手はあると思ひます。

日米選手の練習

鶴岡 次に日米兩國選手の今度の大會に対する練習に就いて御話願ひます。練習は今後共非常に重要な問題だと思はれますから。

松澤 去年ハワイに遠征した明大の選手の土産話を聞いたのですが、キツバスの態度はそれから恐らく違つたことは想像されますが、案外練習と云ふものは現在日本でやつてゐると大差がない。詰り先方を大いに買ひ冠つてゐたせいかも知れないが、チイームとして纏つた場合には、今度の日本選手の様に時日のない場合はいざ知らず一ヶ月も餘裕のある時には、十分な計畫を立てゝ獨特の方法で練習出來そうな気がしきですが、可成り個人の

自由に任せてゐた部分が多いらしいので遺憾に思ひました。

安部 キツパスに、來年日本のチイームがロスアンゼルスに行くには、どれ位前に行つたらよいかと云つたら、一概に云へないが、自分の考では、四週間以上前に着いて、相當組織立つた練習をするかさうでなければ、二三日前に着いてそのコンディションでレースをするのがよいと思ふ。アメリカとしても、東部の人は永い間汽車に乗つて來るので、自分達も幾日前に現場に着いて練習してよいか迷つてゐると云つてゐました。

末弘 僕もキツパスの様に、長ければ長いのがいいし短かければ本當に短かいのがよいと思ふ。中途半端はいけない。

松澤 實は向ふに行つて一度飽きる位早く行くのが金と時日が許すならばよいと思ふ。

田畠 キツパスの今度の場合は、アメリカ選手は途中ハワイで選手権大會をやつて來たので、組織的の練習が出來なかつたから、結局日本へ來ての二週間がキツパスが監督としての練習だつたと思ふ。

安部 それが非常に問題なので、日本では好きな丈けつれて行くのであるが、今度の米國チイームは搔き集めて大急ぎで船に乗つて來たので、組織的の練習等出來なかつたと云つてゐた。

松澤 然し日本選手には、あの十日間を練習と見るには過りで、以前に約一ヶ月の練習をやつて來て丁度日米對抗の豫選後に十日間の休養期間を置いたといふ意味で取扱つたのだが、そうでないとすると今度のオリムピックには四五十日はなくては足りないといふやうな結論になると思ふ。

西本 然しオリムピックに行く場合には、日本でまとまつた練習をして行くのであるから、今後の場合とは違ふと思ひます。

末弘 早く行つて選手がだれて來る様なことがあればそれはコーチの責任である。來年オリムピックへ何時の船で行くか、早く行く必要があれば、體育協會に交渉すればよい。

松澤 今度の日米對抗の前になつて、キツパスに貴方の方のコンディションはどうかと聞いたら、僕の方はハワイで十分練習をしたし、船の中では十分休養しながら練習して來たし、到着後練習にも十分の期間があつたのでコンディションが非常に好いと云はれたには實にがつかりした。私の考へてゐる限りでは、日本選手のコンディションは非常に好いと自慢して居つたのだ、向ふが悲觀して

ゐると思つてゐたら、却つて最上のコンディショソだと聞いてがつかりした。

末弘 今度日米の對抗で、アメリカチイームがあの期間で、あの寄せ集めで、ハウランド其の他ベストコンディションを持つて來たのは、キツパスの力だと思います。それをクラブは弱いとかギルフラの泳ぎは駄目だとかいふものもあるが、恐らく向ふでも最よい状態の人を連れて來たものと思ふ。

松澤 キツパスはクラブの泳ぎ方を見ては僕の方を見て苦笑して居ました。

小林 あれ丈け病膏肓に入つてはどうにもならぬだらう。

末弘 高石君が最初の日に行つて見て來て、クラブはあの泳ぎでは恐ろしくないと云つてゐたが、やつぱり偉いものだね。

安部 高石君はハワイの記録を見てからそう云つてゐました。

田畠 四百でクラブがあんな泳ぎ方で、あれ丈やつたのが不思議な位だ。

自由型

鶴岡 泳ぎの話しが出ましたが、これから自由型から順次御話を願ひます。

長距離からか短距離からか

末弘 日本の今後に處する道は長距離から入るか、短距離から入るかが問題だと思ふ。長距離ばかり泳いでゐると、泳はうまくなるだろうが、ぎゅうと一氣に泳ぐことが出来ない。ぐつと泳ぐその境目が難かしい。

日本は今は四百米にも來られない状態だ、カリリ(弟)が日本の泳は長距離から入つてゐるので、泳がうまいと云つてゐた。何んだか一緒に泳いでゐても、自分はがつと泳いてゐるのだが、日本選手は計畫的に泳いでゐるやうで實にいやな氣持がすると云つてゐたが、それは本當だと思ふ。二百迄今の長距離の氣持で持つて來たらよいと思ふがどうもまだいけない。之は一番大切な問題だと思ふ。

安部 先生の御話で一寸想ひ出したが、インターラッヂでかつて五十米を廢した時、ワизミユラーが來た年でしたか、日本の泳は力が足りない、今迄の五十米の調子で百米を泳がなければいけない。又今迄の百米の調子で二百米を泳がなければならぬと云ふ事でしたが、之れは今先生の云はれ

たこと、丁度逆になるが、これは泳の進歩ではないかと思ひます。私達の疑問は四百等で實際せり合つた場合に、長距離から來た底力のある人が強いか、或はスプリントを持つてゐる短距離からの人が強いかと隨分考へるけれどどつちがいいかこの問題は解決出来ません。

松澤 來年の四百に行ける人を求めるに、ギルフラが短距離から入つてあれ以上の事が出来るか若しあれ以上出來ないとすれば、長距離から入つた日本の方がいいのではないか。

田畠 それは日本の場合とアメリカの場合と違ふと思ひます。日本では確實に四百、二百には長距離から入つた方が強い。少くとも八百リレーのメンバーを作る時に短距離から來た選手と長距離から來た選手がどちらがよいかと云へば、長い方の人が確實であると思ふ。然しあメリカの場合は違ふのであれから八百、千五百迄伸びなければならぬギルフラ等も千五百は泳げまいと思つてゐたが、案外いいレコードを出してゐる。

末弘 ギルフラ等は短距離の選手の中で偶然泳がうまかつたのであつて、果してあの調子が來年迄そのまま維持出来るかどうかは實に危いと思ふ。

松澤 僕はギルフラの泳の印象は一つもない。

藤田 非常にいい泳だと思います。

小林 ギルフラの泳は無理がないやうで、どこに力を入れてゐるか判らぬ様に思はれた。

飯田 ギルフラはいいね。

末弘 ギルフラは今度は實によく泳いだと思ふが、彼の足と手の調子が非常によく行つてゐた。キツパスが、あの足を中心として、手をうまく使ふ、彼のいい所を捉へて來年迄コーチすることが出来れば恐ろしい、兎角アメリカの室内プールの短い所でやつてゐれば、あの調子では手が中心となる泳だと思ふ。あれを足を極度に早くしながら足の調子に手を合はせることをやらせる監督が居たら恐しい選手になると思ふがキツパスにはそれは出来ないと思ふ。

小林 日光に行つた時、この問題でアメリカの選手が來年のオリンピックでギルフラが勝つとは決して云はなかつた。あれは強いことは強いが、今の調子が來年迄維持出来るかどうか疑問だと云つてクラブとクラップが喧嘩をしてゐた。

飯田 日本の様に若い選手が相當にいい所へ来るには長距離から入つた方がよいと思ふ。

田畠 日本の選手は、高石でも四百をやりながらス

トリントの練習をしてゐる。宮本とか高橋は知らないが皆そうだ。

小林 要するに問題はアメリカと違つて、日本は身體が小さいからそれ丈猛練習が必要だと思ふ。

飯田 前のオリンピックでワイズミュラー・アルネボルグ・チャーレトンの三人が四百でせり合つた時、アルネボルグとチャーレトンはタツチの差で入り、ふうふう云つてゐたが、一寸遅れて來たチャーレトンはケロケロしてゐたがやはり長距離からの方が餘裕があると思ふ。

田畠 長距離から入ると云ふのは日本の場合だと思ふ。ギルフラは短い所から入つたから強くならぬと云ふことは云へぬ。

小林 實際の上から長距離の選手が確實である。短い方から入つた人はいい記録もあるがむらがある。

腕か脚か

末弘 理論的に二つに分けることが出来る。足で調子をつけて行く人と、手で調子をつけて行く人に分れる。長距離をやると足で調子をつけながら、手でバランスをとつてブレーキをかける。日本の泳は之れになつてゐる、アメリカの選手は成功してゐる内はよいが調子を失ふと全く駄目になる。足を基本にした泳に習慣づけることが根本だと思ふ。

飯田 ワイズミュラーの二百の泳は感心しない。

松澤 逆に日本の長距離選手にスプリントをやらしてもあゝ變らないけれども。

田畠 日本人にはそれ丈の身體がないと思ひます。手で泳ぐのが本當でしやう。

末弘 最も明瞭なのは宮崎だ。宮崎は八十米迄は高石よりいい、理論で泳いで行のだけれど、最後に行つて手で泳げない。來年の百はこの邊をよく研究しなければならぬ。八十米迄は模範的に實によく行つたが、あの二十で手でどう引搔くか残された問題で、ハウランドに敗けたのはそのためで體力ではなく、やはり泳だ。

田畠 今の宮崎にはまだ出來ないだらう。

末弘 來年の百米決勝に三人を残す自信はありますかそうすれば一等をとる可能性も一番あり、これが一番大事だと思ふ。

田畠 織田を三段跳で優勝させるには、南部や大島といふ十五米以上跳ぶものを出さねばならぬと同じでせう。

背泳

鶴岡 次はバツクを中心とした御話を願ひ度いと思ひます。

末弘 コジヤツクの出場を予想して二等は必ず取れる。

小林 バツクは日米豫戦の頃と今では少し違ふ。

松澤 僕は多人數を残すシステムをやつたらバツクに望があると思ひます。

末弘 清川、河津、鈴木の三人が残ると思ふ、我々はコジヤツクの一分八秒が常に出ると思ふのは、高石が百米を五十九秒四で常に泳ぐと豫想するやうなもので、バツクで一秒や二秒の差は何でもない。手一本の差だ。ゴールへ一緒になだれ込めばよい。その時偶然にあれは一等だ、二等だと決めただけの話だ。

松澤 穂に角世界の記録を見ても、十一秒を切れる人はそうない。日本では悲觀してゐたが今度は一般にそこに希望を見出したのは確かに一つの大きな収穫であつたと思ひます。

小林 豊選會ではバツクはすつかり投げてゐた。

末弘 今迄で十秒臺で泳いだ人は何人ありますか。

飯田 コジヤツクが八秒、カリリが十一秒。これは五十米のコースでは出ないと思ひます。

小林 四百で決勝に三人残すことは出来てもバツクで三人残すことは一寸難かしい。

飯田 穂に角十二秒を切るのを揃へるのだね。

平泳

鶴岡 それではブレストの將來に就いて御話し願ま

す。

田畠 次のオリムピックでは、ブレストは五十秒を切つて一等、それを切るのは先づ小池、次に鶴田小出、山田だと思ひます。

飯田 スペンスとフィンランドのレインゴルトが四十八秒八かで泳いでゐる。小池が五十秒を出しブレストのスタッフが非常に充實して來たは何よりの強味だと思ひます。

田畠 鶴田がオリムピック選手になるかどうか知らないが、鶴田の敵が小池でなくて小出、山田となつたから日本のブレストも……。

末弘 その點は、この間の座談會で君等の中の或人も出席してゐたが不謹慎だよ。鶴田はまだどうにかなる。君等は棄てゝ居るから駄目だ。あの人の氣持を直すことは何でもないと思ふ。要するに自

分の力を非常に頼み過ぎてゐるし、それで敗けたくない氣持があるらしい。

杉田 矢張そう云ふ氣持はあるらしい。

小林 鶴田も一度小池に敗けたからその氣持を救ふことはわけないだろう。

末弘 鶴田には、俺には世界記録があると云ふことを忘れさせることが出来ると思ふ。まだ底力はある。五十秒位切れるだろう。脚の力もまだ相當ある。

小林 脚力はオリムピックの時より落ちてゐます。

飯田 僕は強いやうな氣がします。今の力でオリムピックの時の様な泳をすれば四十八秒位出ると思ふ。

西本 筋肉がだるんでゐるやうな氣がする。

松澤 小池が鶴田を蘇らしたと云ふ言葉を使ひ度いと思ふ。僕としては鶴田に望を持つてゐる。

田畠 鶴田は自分で身體がもう弱つてゐるといふ氣持があると思ふ。

西本 僕もそう思ふ、自分の身體と自信がないだろ

う。

末弘 僕自身から考へると、人間は三十五位迄は體力に就いて自信を失ふやうなことはないと思ふ。三十五を越すと衰へて來ることは色々の人を見て感じてゐるが。

小林 今度の水泳の中でブレストは勝つか敗けるかの堺目だが、四人選手を出す自信があれば勝てると思ふ。

田畠 五十秒を切つたら何人でもつれて行くさ。

(以下次號)

妙薬？

田畠専務理事日米對抗であがつたんではなからうが、神宮プールに來るなりそこについた何の薬か判らぬ銃薬を、何所の御かけんが悪いか知らぬがいきなり 56 錠呑み下した。あとでそれがモダーンなセツケンと云ふ妙薬と判り、御當人しきりに氣持悪がり、赤酒を呑むやう大騒動、傍から口の悪いの「腹がきれいになつて好かろう……」



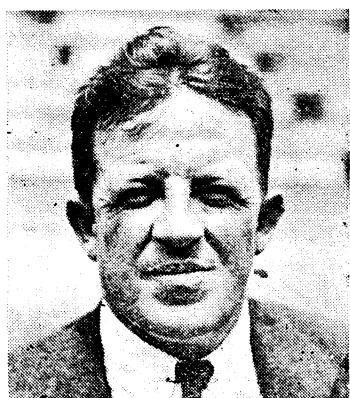
フラッシュ・ボム

安 部 輝 太 郎

日米水上戦が單に競技上の勝利、及び其が來年の我がオリムピック選手に及ぼす精神的な好影響、といふ點のみでなく、日米兩水泳王國の間に如何に理解と親密さとを加へたかと云ふことを考へると、極端に云へば、例へあの競技に日本が負けたとしても尚且此の大會が成功であつたと云へると思ふ。其の證據には、負けて歸つた米國軍も、大いに得る處ありとして絶大の満足をもつて歸國したではないか。

お互ひに萬里を距てた、知らぬ異邦人同志が接觸した機會は僅かであつたが、互ひに知り得たことは案外に深く且大きかつたことを思ふ。今このフラッシュの瞬間に捕へた彼等の明瞭なプロファイルが未だ消え薄れぬ中に其の姿を點描して置かうと思ふ。

キツファス監督



温厚なそして謙讓な、而かも有能な、一口に云へば申し分のない監督であつた。彼は愛息デレニーのみでなく、米選手全體のよきお父さんである。彼は充分なる経験と觀察とを基として熟慮し、而して

斷乎として指揮する。而かも自らの誤を認めることも躊躇しない。故に彼の命する處、選手には一言の不服もない。

一面彼は常に各選手の意見や、様々な希望や駄々

に迄いつでも耳を傾けてやる。而し彼には確固としたスポーツマンシップの把握があるから、取捨に迷ふことがなかつた。

選手が如何によく彼の命に服したかは誰でもが認めたことゝ思ふ。斯る人格者であればこそ、米國運動團體の間に重きをなし、次回のオリムピック總監督に選ばれるのも當然であらう。而し一面選手一同の有する、統制に對するよき自制と練習とも見逃せなかつた。

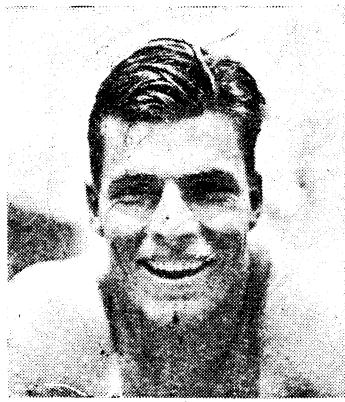
結局今回の來朝チームは彼等がオリムピック大會に望んだと殆ど同様の緊張味を以て訓練し、レースした。

一例を擧げれば、キ氏は練習中無断で水から上ること等嚴重に禁止した。又レースの三日間の夕食は各人にトーストに半熟玉子を乗せたものか、或はコールドビーフ一皿かの二者の一を選ばしめ、紅茶は一杯と制限した。平素の食事でも常に新鮮な野菜を攝ることに留意した。而かも一面、來朝して以來選手に團體行動のみしか許さなかつたから、何日か彼等に自由な時間を與へてやり度いと吾々に相談する丈けの思ひやりを持つてゐたのだ。

然かも彼は主催者たる NSR の規定には絶大の敬意を表し、吾々の通告は一々之を嚴守して呉れた。日米大會の快き成功の一半は確かに氏の此の態度に負ふ處が多い。

クラレンス・クラツブ

來朝米軍は別に主將といふものを持つてゐなかつ



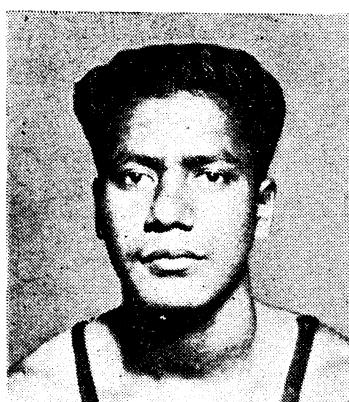
たが、寧ろ日本側で彼を主將に持ち上げて了つた。年長で、レースに馴れて居り且度々日本に來朝したことのある彼は、充分その貫録を示した。明かに指揮や命令はしないが、氣分の上其の他で確かに

彼は他の新進連を従へた觀があつた。惡戯でも彼の多くの場合指導者であつた。

戦績は餘り振はなかつたが、彼の眉宇には、何！來年はヒネツテやらうといつた氣象が現れて居た。

凡ての點で、日本軍に於ける高石君と非常によく似て居るのは不思議である。要するにバスターは未だ來年後輩に道を開く程毫穢はして居ないのである

マイオラ・カリリ



兄貴丈けあつて弟のカリリより幾分落付いた所はあるが、あれで仲々の愛敬者観迎席上、紹介されば立つて兩の拳を握り、拳闘家の挨拶を真似たり、バイオリンを持てば、彈けもせぬに長髪を撫し

てバイフェツツを氣取つたり、仲々頓智者でもある

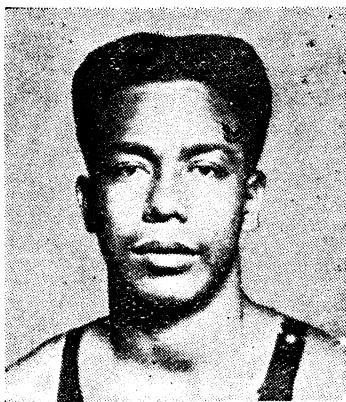
「去年バトラーには刀をやつたのに、俺達にはトロフィーを後から送ると云つた切り何も呉れない、去年ハワイへ歸つてから首を長くしてゐるんだから今度は忘れないで去年の分のトロフィーを呉れ」と會ふ度毎に云つてゐた、全く憎めない土人的慾張りとでも云ふか。

200米背泳に勝つた時「オイ、トロフィーをせしめたぢやないか！」と云へば、又「去年のと合せて二つだから忘れないでくれ」と來た。

歸る日、船上で兄弟にその去年分のトロフィーをやつたら「よく憶えてゐてくれた、有難う」と大喜びで其に睨め入つてゐた。

マニユイラ・カリリ

米軍隨一の人氣者で、大向ふからもよく聲が掛る



それを聞いた横濱外人の仲間でも、最近海岸で仲間に合ふと早速「カリリー！」と聲を掛けるのが流行つて了つた。

酒に掛けてはアニキ共に喉から手の出る方で、禁酒禁煙の練習中は常に秘かに

嘆聲をもらして居つた。

又彼の尻振りダンスは實に堂々たるもので、吾が末弘會長等感嘆惜く能はぬものがあつた。

それにしても、ホリウッド・アスレティック・クラブで腕を磨く彼の來年は見物であらう。來朝早々去年高石に負けたのが口惜しいと云つて居たから、又やられて、來年は捲土重來するだらう。オリムピック・プールの水に鹽を撒いたら彼の敵はないかも知れない。

ジョン・ハウランド



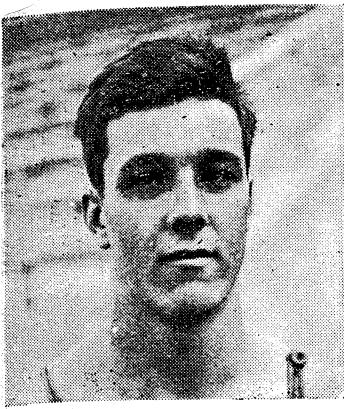
エール大學前年の主將で、父、叔父共に名ある學者、彼も亦エール卒業後法科の研究室に勉學を續け、來朝中も片手から本を離さぬ學者氣質。日光の東照宮が家康を祀つて建てられたのだと云へば、

「ア、あの秀吉の後で天下を取つた人でせう」といふ精通振り。

現に日本にしばらく居残つて見聞して行かうといふ研究家である。「始めて日本に來ましたが、もつと日本の古典的な建物があると思つたら、總ての交通や市民もシカゴやニューヨークと少しも變りませんね」と云つてゐた。

彼の百米の頑張りは立派なものだが、レースの當日となると、ホテルを出てからスタート臺に立つまで殆ど口も利かなぬ緊張振りで如何にも彼の氣質を表してゐた。

ロイド・オスボーン



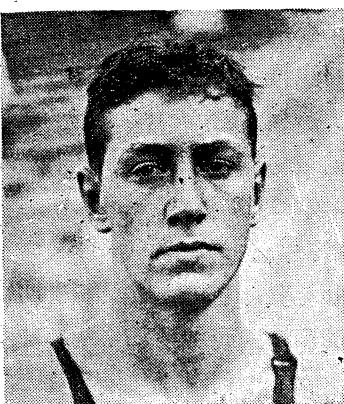
好漢エールの本年度主将で、優しい顔に似合はず一番太い腕の持主。上品な面でもユーモラスな青年である。今度餘り調子がよくなかつたが、カリリ兄弟のダブルヘッドの代りに200 邊りに出れば相

當迄やれたものを、本職外の1500に唯一度丈け泳がされても不平顔一つせず、よく泳ぎ通した。

歸途ハワイへ立寄り、ハワイから米國船で歸國し度いといふ希望が、郵船會社の好意で、一人丈けなら許されると聞いた時、「御好意は有難いですが、一人丈け特典を享受しては、他の人々に濟まぬから、皆と一所に歸ります」と云ふ邊り、實に見上げたものである。

日本語をしきりに憶えたがり、歸る頃には何處で聞いたのか、シキリに「ワカキツバメ」を連發して船の上からも怒鳴つてゐた。

カール・リーディー



オスボーンと同窓で親友であり、競技では常に學校でオスボーンと競り合ふ男インター・カレージ仲間で最初に400で五分を切つたものが晩飯の御馳走にあり付くことになつてゐたのを、本年二月オスボーンが五分〇秒で晩飯を逸して了つたと語つてゐた。

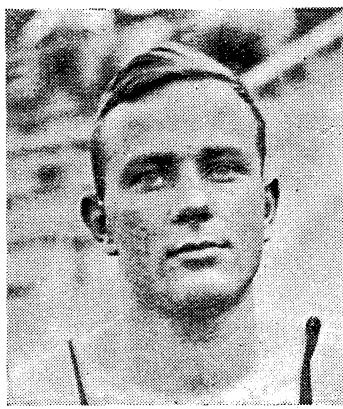
オスボーンと共に水泳年齢は七八年、オスボーンに云はせるとリーディーは始終聖？？といふ女學生の多いカレヂへばかり入り浸つてゐるとか。

而し彼もエールの品位を落す様なことは斷然してゐないことは筆者が保證してもよい。

オースティン・クラップ

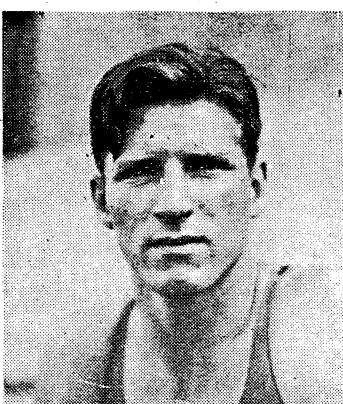
米軍中最も小柄ではあつたが我が米山、竹林級の

好漢エールの本年度主将で、優しい顔に似合はず一番太い腕の持主。上品な面でもユーモラスな青年である。今度餘り調子がよくなかつたが、カリリ兄弟のダブルヘッドの代りに200 邊りに出れば相



ド大學。

フランク・ウォルトン



古強者である。水泳に關する持論にも仲々自信を持つてゐる。クラップと共に時にキツフアス氏にも進言して居つた。而し次回のオリムピックには第一線に立つ選手ではなからう學校はスタンフォード。

ハリウッド・アステツク・クラブの闘將で、オレゴン大學生である。クラップ、カリリ、フイスラーに劣らぬ惡戯者である。通稱はレッド。

ジョージ・フイスラー

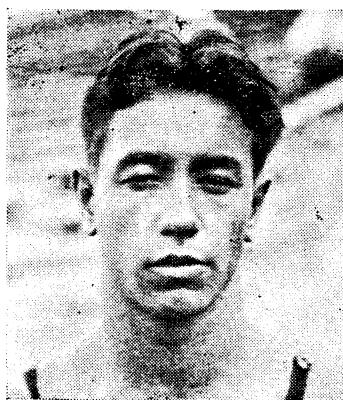


見るからに一寸職人肌と云つた氣輕な處がある。聞いてみたら矢張り、ニューヨーク地下鐵の技師であつた。1927年に150米背泳に世界記録を出した古豪であつたのが返り咲いたわけであるが、仲々氣は若い。コミツク・ダイヴでは第一人者である。

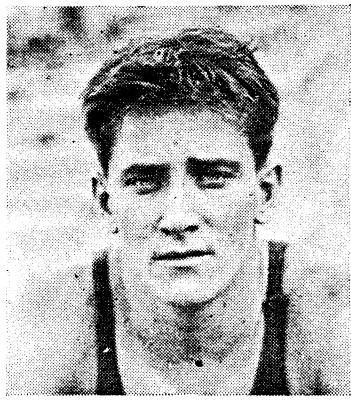
「來年ロサンゼルスへは友達の飛行機で行かうかと思つてゐる。ニューヨークへ來てくれればウント歓待する」と云つてゐた。

チャーチス・ギルフラ

之は又ハイスクールの新進、來年のオリムピアド

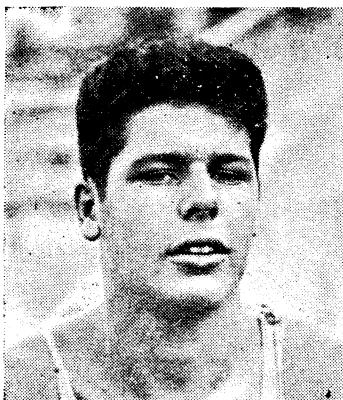


には400米を観る者として、クラツブ、クラツブ等からも期待されて居る。通称をジミー若しくはギルといふ。将来の米國の水泳を背負ふ者であらう。



の者、無邪氣な悪戯で單騎ミシガン大學のために氣を吐いた。彼は渡日によつて忘れ得ぬ洗禮を受けたさうだ。

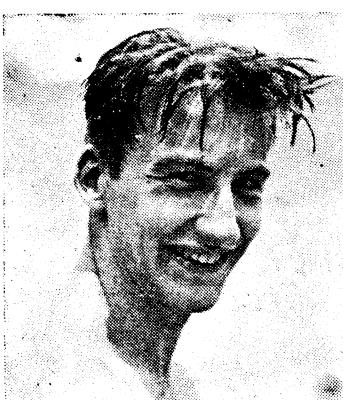
テオドル・ウイーゲット



之も布哇の大會から拾ひ出された新進だが、キツファス監督も「連れてきてよいことをした」と云つた位、将来のある猛者である。大きな鼻に掛る甘たれ聲を出す處は全く可愛い子供である。通称を

テットといひ、スタンフォード大學の新進である來年度の進歩が期待されて居る。

ドナルド・ホーン



無口な内氣な青年で、常に他人の話に聞き入つてニコニコして居つた。平泳に手薄な米軍にシュミーラーと共に重きをなして居る。田畠専務理事が非常に彼を愛して、歸りの船が出帆して二哩程も沖

合に出てから、又不意に「ホーン！」と大聲で別れを惜み、廻りの人達を驚かせた。ホーンも來年はノースウェスター大學に入るさうだ。

ジョン・シュミーラー

「潛水艦シュミーラー」と異名を取つた平泳の強

扱彼等の觀た日本及び日本の水泳界は如何に？

始めて來朝した選手、監督が口を揃へて感嘆したのは、日本の都市生活が何等米國のそれに異らない所で、殊に日本水上競技聯盟の整然たる組織と、事務能率のよいのにスツカリ敬服して居つた。

キツファス氏の如きも、且て來朝した米國監督と異り、常に日本の水泳に就て學ばんとし、其の長短に熱心な注意を拂つてゐた。

高石君其他の選手に就ては單に感嘆して許り居たからお話にもならないが、其他二三の人々に就き彼等の云つてゐたことを、小耳にはさんだまゝ御参考迄にお傳へして此の稿を終らう。

牧野君

マキノは確かに彼等の注目の的であつた。マキノの1500はトテモピッチが早いと云へば、「ボルグと同じ位ですか？ 今晚見られるのはよい幸だ」と云つて、豫選の時には50米づつのラップタイムから腕のストローク迄數へてゐた。デレニー・キツファスも米軍の少年監督振りを發揮してよく父親を助けてゐたが、豫選マキノ、横山の對戦を見て「斯んな1500の接戦はオリムピックでも何處でも見たことがありません」と通を振り廻し乍ら、キヤツキヤツと喜んでゐた。

唯、慧眼なるキツファス氏は同君豫選の泳ぎ見て「あの肩を激しく落す泳ぎがマキノ不振の原因かも知れませんね」と云つてゐた。

小池君・鶴田君

小池の滑かな泳ぎと、體の小さいことは彼等の驚異であつた。鶴田君のあの最近の激しい肩の上下動はキ氏も感心してゐなかつた。

そして、「スペンスはラデマツフルの様な大きな足

のキツクで、ホーンよりズット滑かに泳ぎますよ」と云つてゐた。

「コイケ、マキノ、タケモリ(武村)、ミヤザキ等、何故日本の選手は小さい時から速くなるんですか?」とよく聞かれたが、如何うも之には「速いから速いんですよ」いふより仕方なかつた。

松浦君

豫選の同君の泳ぎを一眼見るや、キ氏は「あの選手を見ろ、あの足を空中に高く上げる損失は必ず彼を落伍させる」と米選手を戒めてゐたが、成程米選手には松浦君の様に頭を突込んで長い足を膝迄出す様な泳ぎは一寸目新しかつたであらう。同君にはお氣の毒だが何かの参考にでもなればと聞いていまゝ書いた。

入江君

入江君の脚氣には氣の毒がつてゐた。唯如何うしてあんなにコースロープに接して泳ぐのか?と、いぶかつてゐた。

クラップ君

バスター本年の不振に就て、キ氏は彼の泳ぎのリズムが悪いのだとし、腕を無理な位前に伸すため、オーバーリーチし、腰を振る結果となつてゐた、と云つてゐた。尙クラップの手を前へ歸す時の手頸の曲折運動は、其處で餘分な時間を費すため、足との調子が亂れ、彼の泳ぎの欠陥をなして居るとも云つてゐた。

一般の泳ぎ方

平泳に就いては前述通り、脊泳に就いては餘り大したこと云つて居なかつた。唯最近流行のターニングの型を二、三示してくれた。それは別な機会に述べやう。

自由型では、一般に日本選手の足のビートが強いのを感じ、大いに學ばうとして居つた。

腕の搔き方は、クラップと話し合つた處によると日本選手が肩の真下以後に最大力を用ふるのに對し彼等は、キヤツチしてから直すに全力で搔き出しから、力の入れ方のクライマツクスが日本選手のそれよりも、少し早目であると云つて居た。

メンバーに就て

キ氏に、「第一日に200米脊泳に出た兄のカリリをすぐ次の200米自由型に出して2分30秒もかゝつて了つた位なら、何故オスボーン邊りを泳がせなかつたか?一般にカリリ兄弟に頼り過ぎはせぬか?」と聞いたら「昨年の選手権(ハワイ)邊りでカリリ兄弟は一日四種目にして皆素晴らしい記録で泳いだ。それで今度もと思つたんですが、淡水では彼等も鹽水の様なわけには行かないといふことが今度の経験でハツキリ分つた」と云つてゐた。

半面日本チームの800米リレーのメンバーに就て考へると、若し今度でなく、來年あの誤算を起したら如何であつたらう? 其の意味での失敗は非常に尊い経験であり、且つあの失敗を今年やつて了つてよかつたと思ふ。

水路の規則に就て

ゴールに着いてから、他人の水路(末だ其のレースが終らぬ中に)を横切つて水から上るといふことは日本の規則では失格に値する。此の不注意を犯した人は日米大會で、一人ではなかつた。1500米の様な時でも注意せねばならぬ場合を認めた。

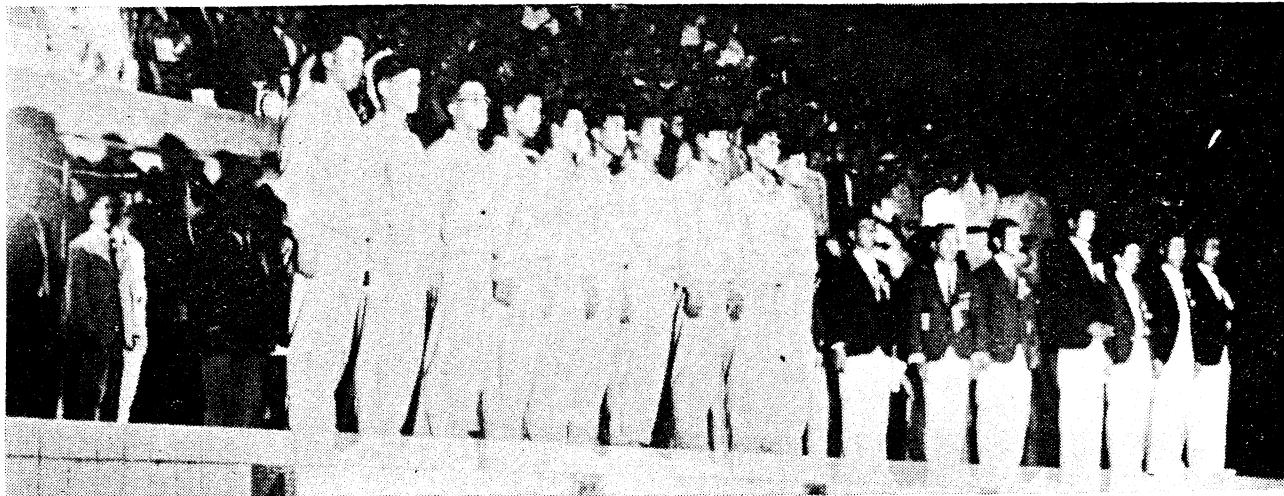
あの際は審判長が「他人のレースを妨害したものとは認めない」といふむしろ國際規則的な解釋によつて失格せしめなかつたが、此の事をキツファス監督に説明するのには一寸汗顏した。

それに對してキ氏曰く「勿論あの際T君を失格させる等といふことは馬鹿らしい話で、若し厳密に云ふなら、T君のみでなく、我が軍のS君もゴールタツチに反則があつたから兩方共失格せねばならぬ。審判長の判定は全く當然ですが、他の規則に就て非常に厳密な日本が、此の事だけに比較的寛大にしなければならなかつたと云ふことは、貴君方としては心苦しかつたでせう」と云はれたのには、何とも云へなかつた。

選手諸君よ、今後は斯んなことで恥をかゝぬ様、お互ひに充分規則に注意しやうぢやありませんか。

X X X

~~~~~



## 新進の活躍した 日米大会豫選

世界水泳界の観戦を集めた、日米対抗水上競技大会に出場すべき日本選手の豫選は7月28.9両日明治神宮外苑プールに於て舉行された。日本選手にとっては單に晴れのこの大會に出場する豫選会に止らず、來年のオリンピック出場にも多大の關係を有することにて意味深いものであつた。隨つて最初より大接戦が展開された。この豫選会に於ては選手數は僅かに13名と決定してゐるので、オリンピックの豫選にも増して厳しい難關であつた。

特に目についたのは新進の活躍と、入江、竹林、米山等の往年の猛者の不振であつた。

### 400米山型豫選

#### A組

|                  |        |  |
|------------------|--------|--|
| 2 饒 村 吉 久(神 戸)   |        |  |
| 3 五 十 嵐 力 英(早 大) |        |  |
| 6 根 上 博(立 大) 3   | 5:21.2 |  |
| 7 鈴 木 重 孝(明 大) 1 | 5:12.8 |  |
| 8 田 中 一 夫(鎌 商) 2 | 5:20.4 |  |

新聞では横山が1500米に全力を注ぐと傳へられてゐたが、この最初の400米に牧野が棄権を申出て注意を引いた。

鈴木の泳ぎは昨年よりはすつとよくなつてゐる。昨年好調であつた田中が今年は泳ぎがわるい、肱が餘り曲りすぎて、頭のすぐでキャッチするのでストロークが短かすぎる

#### B組

|                  |        |
|------------------|--------|
| 3 武 村 寅 雄(明 大) 1 | 5:04.4 |
|------------------|--------|

|                  |        |
|------------------|--------|
| 5 大 野 元 美(明 大) 3 | 5:17.0 |
| 8 安 田 來 吉(明 大) 2 | 5:7.60 |

三人だけのレースになつた。武村(兄)が中耳炎で参加出来ない事は残念である。

武村は不相變強い、泳ぎは多少左右跛になつて右手のストロークが短く見えた。頭を呼吸した後元の位置迄返さなくてはいけない。

#### C組

|                  |        |
|------------------|--------|
| 4 知 念 繁 雄(佐世保) 2 | 5:06.6 |
| 5 大 横 田 勉(明 大) 1 | 5:03.6 |
| 7 米 山 弘(早 大) 3   | 5:12.8 |
| 8 永 見 達 明(隅 田) 4 |        |

新進の大横田がいい泳ぎを見せて一着、ダークホースとして注目されてゐた知念が老功米山を軽く押へて二着。米山はベストサードに入つた。

### 200米平泳豫選

#### A組

|                  |        |
|------------------|--------|
| 3 中 川 重 雄(名古屋) 2 | 3:01.8 |
| 4 關 禮 治 郎(明 大)   |        |
| 5 磯 野 勉 三(名高商) 3 | 3:03.0 |
| 6 小 出 茂 彦(桑 中)   |        |
| 7 調 子 光 二(早 大)   |        |
| 8 塚 原 茂 樹(早 大) 1 | 2:57.8 |

磯野、小出、調子は殆んど見分のつかない程の接戦であつた。

#### B組

|                  |        |
|------------------|--------|
| 3 小 池 禮 三(沼 商) 1 | 2:54.4 |
|------------------|--------|

|   |                   |
|---|-------------------|
| 4 | 中村秀吉(立大)          |
| 5 | 大串泰造(慶大) 2 3:03.6 |
| 6 | 有方利和(吳) 3 3:05.4  |
| 7 | 大井忠紀(商大)          |
| 8 | 光成桂一(明薬)          |

小池は非常に立派なフォームで泳ぎ切って、人々の期待を大きくした。

#### C 組

|   |                   |
|---|-------------------|
| 3 | 原毅(帝大) 2 3:01.6   |
| 4 | 松本重隆(早大) 3 3:02.8 |
| 5 | 鶴田義行(明大) 1 2:53.4 |
| 6 | 毛利忠雄(佐世保)         |
| 7 | 藏尾敏(山口師)          |

鶴田の泳ぎは昨年と同様、フィニッシュ時の手がわるいので肩が浮き上り、これを防ぐ爲に頭を前に下げる爲、無理な泳ぎになつてゐる。然し昨年よりは少し元氣がいゝようである。

#### 200米背泳豫選

##### A 組

|   |                    |
|---|--------------------|
| 3 | 清政武夫(早大)           |
| 4 | 入江稔夫(早大) 2 2:46.2  |
| 5 | 大島正夫(早大) 3 2:49.6  |
| 6 | 若山瀧美(早大)           |
| 7 | 清川正二(名高商) 1 2:41.8 |

入江は元氣がない、身體そのものが何か血色がわるく、やせてゐる。清川の泳ぎは立派、只レース中餘り相手を見すぎはしないか。

##### B 組

|   |                    |
|---|--------------------|
| 3 | 河津憲太郎(明大) 1 2:42.6 |
| 4 | 永廣宇之助(名高商)         |
| 5 | 鈴木政雄(明大) 2 2:43.6  |
| 6 | 根來幸成(慶大) 3 2:49.0  |

#### 100米自由型豫選

##### A 組

|   |                   |
|---|-------------------|
| 3 | 片山兼吉(明大) 1 1:01.6 |
| 5 | 宮本武夫(早大) 2 1:02.2 |
| 6 | 關口正三郎(立大)         |
| 7 | 松浦武夫(立大) 3 1:03.2 |

##### B 組

|   |                    |
|---|--------------------|
| 3 | 宮崎康二(濱一中) 1 1:01.6 |
| 4 | 河石達吾(慶大) 2 1:01.8  |
| 6 | 熊野佐一(法大)           |
| 7 | 鈴木秀雄(早大) 3 1:04.4  |

高石が棄権したのに驚かされた。

#### C 組

|   |                    |
|---|--------------------|
| 2 | 高橋成夫(早大) 2 1:02.0  |
| 4 | 佐田徳平(明大) 1 1:01.4  |
| 5 | 伊藤廣吉(銚商)           |
| 6 | 坂上安太郎(早大) 3 1:05.2 |

高橋はもつと100米のレースを研究する必要はないか。

#### 1500米自由型豫選

##### A 組

|   |                     |
|---|---------------------|
| 2 | 安田來吉(明大)            |
| 3 | 片山寅次郎(高知)           |
| 4 | 横山隆志(早大) 1 20:25.8  |
| 5 | 鈴木重孝(明大) 2 20:33.4  |
| 6 | 今村良司(佐賀)            |
| 7 | 知念繁雄(佐世保) 3 20:33.6 |
| 8 | 饒村吉久(神戸)            |

横山は元氣ではあるが泳ぎは昨年より少しづるい水から出た時の肱が少し高過ぎはしないか、800米以後肱から先に打ち込むやうに見へた。豫選の3等が20分30秒臺になつた事は大變な進歩である。

##### B 組

|   |                     |
|---|---------------------|
| 4 | 牧野正蔵(見付中) 2 21:24.0 |
| 5 | 加瀬秀治(銚商) 4 22:25.0  |
| 7 | 田中一夫(銚商) 3 21:34.6  |
| 8 | 武村寅雄(明大) 1 20:39.0  |

牧野は實に美しい泳ぎで100米までとび出したが250米邊からもう泳ぎはくづれた。餘りビツチを早くしたので、肩、腕の動作が硬過ぎ、手のフィニッシュが充分きてゐない。600米邊から武村が出て来て最後迄リードした。この時の武村の泳ぎは實によかつた。

#### 100米平泳豫選

##### A 組

|   |                   |
|---|-------------------|
| 4 | 原毅(帝大) 1 1:20.6   |
| 5 | 小出茂彦(桑中) 3 1:22.0 |
| 7 | 大串泰造(慶大) 2 1:20.8 |
| 8 | 有方利和(吳)           |

柔名中學の少年小出よく泳いでペストサードに入つた。

##### B 組

|   |                    |
|---|--------------------|
| 3 | 調子光二(早大)           |
| 4 | 小池禮三(沼商) 1 1:19.2  |
| 5 | 中川重雄(名古屋) 3 1:22.0 |

|    |           |   |        |
|----|-----------|---|--------|
| 6  | 松本重隆(早大)  | 2 | 1:21.6 |
| 7  | 毛利忠雄(佐世保) |   |        |
| 8  | 關禮治郎(明大)  |   |        |
| C組 |           |   |        |
| 3  | 鶴田義行(明大)  | 1 | 1:18.6 |
| 4  | 塚原茂樹(早大)  | 2 | 1:19.6 |
| 5  | 大井忠紀(商大)  |   |        |
| 6  | 光成桂一(明薬)  |   |        |
| 7  | 藏尾敏(山口師)  |   |        |
| 8  | 磯野勵三(名古屋) | 3 | 1:24.2 |

#### 100米背泳豫選

|    |           |   |                                  |
|----|-----------|---|----------------------------------|
| A組 |           |   |                                  |
| 3  | 鈴木政雄(明大)  | 3 | 1:15.6                           |
| 4  | 若山瀧美(早大)  |   |                                  |
| 5  | 河津憲太郎(明大) | 1 | 1:12.0<br><small>(日本新記録)</small> |
| 6  | 根來幸成(慶大)  |   |                                  |
| 7  | 清川正二(名古屋) | 2 | 1:13.0                           |

河津の手の入れ方を今少し工夫したら立派な泳ぎ

|    |            |   |        |
|----|------------|---|--------|
| B組 |            |   |        |
| 3  | 入江稔夫(早大)   | 1 | 1:15.4 |
| 4  | 永廣宇之助(名高商) | 3 | 1:20.8 |
| 2  | 大島正夫(早大)   | 2 | 1:15.4 |

#### 200米自由型豫選

|    |             |   |        |
|----|-------------|---|--------|
| A組 |             |   |        |
| 4  | 高石勝男(早大O.B) | 1 | 2:18.0 |
| 6  | 大横田勉(明大)    | 2 | 2:19.8 |
| 7  | 宮崎康二(濱一中)   | 3 | 2:22.4 |

三人だけで泳いだ、棄権した中に米山もゐた。高石100に棄権して200のみに登場、初めを少し力を入れすぎてゐた爲、前半早過ぎて150米のターンで一寸休んだ。見てゐる目にはあの時休まなければ立派な記録を出したであらうと思はれた。高石は然しまだ強い。

|    |          |   |        |
|----|----------|---|--------|
| B組 |          |   |        |
| 3  | 佐田徳平(明大) | 3 | 2:24.0 |
| 6  | 鈴木秀雄(法大) |   |        |
| 7  | 松浦武雄(立大) | 2 | 2:22.6 |
| 8  | 片山兼吉(明大) | 1 | 2:21.2 |

|    |            |   |        |
|----|------------|---|--------|
| C組 |            |   |        |
| 2  | 片岡寅次郎(高知商) | 1 | 2:25.4 |
| 3  | 宮本武夫(早大)   |   |        |
| 4  | 竹林隆二(早大)   | 2 | 2:25.6 |
| 6  | 熊野佐一(早大)   |   |        |
| 7  | 大野元美(明大)   | 3 | 2:26.2 |
| 9  | 河石達吾(慶大)   |   |        |

#### 第二日

|           |           |   |        |
|-----------|-----------|---|--------|
| 400米自由型決勝 |           |   |        |
| 2         | 安田來吉(明大)  | 3 | 5:07.0 |
| 3         | 武村寅雄(明大)  | 1 | 5:02.2 |
| 4         | 知念繁雄(佐世保) |   |        |
| 5         | 大横田勉(明大)  | 2 | 5:04.1 |
| 7         | 鈴木重孝(明大)  |   |        |
| 8         | 米山弘(早大)   |   |        |

大横田はじめからトップを切り100米では武村、安田、知念を身一つリード(1分9秒6)200米では2米半リード。200を出ると、武村、安田出て三人並行して一列をなし、3米おいて知念、鈴木並んで進む。その中武村先頭に立ち、大横田、安田と次ぎそのままゴールイン。武村と大横田の泳ぎはよい。知念は豫選の成績はよかつたがペースを知らないので結局ビリになつた。

#### 200米平泳決勝

|          |           |   |        |
|----------|-----------|---|--------|
| 200米平泳決勝 |           |   |        |
| 2        | 原毅(帝大)    |   |        |
| 3        | 塚原茂樹(早大)  | 3 | 2:58.8 |
| 4        | 小池禮三(沼商)  | 2 | 2:53.8 |
| 5        | 鶴田義行(明大)  | 1 | 2:53.6 |
| 6        | 中川重雄(名古屋) |   |        |

スタート皆よし、鶴田、小池、塚原と少し差で先づ一線。100では鶴田2米半先んじ、原、塚原松本、中川の順で1米以内の差でタッチ、150から小池出てぐんぐんつめて、一時並行したが結局タッチの差で惜敗。塚原と原も三着争ひで大投戦をした鶴田のラストは随分苦しかつた。

#### 200米背泳決勝

|          |           |   |        |
|----------|-----------|---|--------|
| 200米背泳決勝 |           |   |        |
| 3        | 清川正二(名高商) | 2 | 2:43.4 |
| 4        | 大島正夫(早大)  |   |        |
| 5        | 河津憲太郎(明大) | 1 | 2:42.0 |
| 6        | 入江稔夫(早大)  | 4 |        |
| 7        | 鈴木政雄(明大)  | 3 | 2:45.0 |
| 8        | 根來幸成(慶大)  |   |        |

50米では殆んど差なし。

100米では清川リード(1:14.0)河津、鈴木、入江各半米差おくれて従ふ。後半清川疲れ、左手のヤツチおそらくわるくなり、河津に抜かれ、3米おかれ河津一着、清川二着。御大入江四着となつたは病氣の精とは云へ淋しかつた。

泳ぎとしては清川の泳ぎ方が一等よく見へた。少し頭が高くはないかと思はれた。

#### 100米自由型決勝

|           |           |  |  |
|-----------|-----------|--|--|
| 100米自由型決勝 |           |  |  |
| 2         | 宮崎康二(濱一中) |  |  |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 3 | 宮 本 武 夫(早 大)          |
| 4 | 高 橋 成 夫(早 大)          |
| 5 | 片 山 兼 吉(明 大) 1 1:01.8 |
| 6 | 松 浦 武 雄(立 大)          |
| 7 | 河 石 達 吾(明 大) 3 1:02.2 |
| 8 | 佐 田 德 平(明 大) 2 1:02.2 |

50米では片山、宮崎、河石、佐田とターンし、宮崎直ちに断然リードしたと見えたが70邊から佐田リードと見へ、その中宮崎は腕が動かなくなり、片山が出てトップになり、河石、佐田と皆一瞬の間に決勝に入つた。

豫選前に60秒を切つたと傳へられた宮崎は遂に等外におちた。

#### 1500米自由型決勝

|   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | 安 田 来 吉(明 大)           |
| 2 | 武 村 寅 雄(明 大)           |
| 3 | 横 山 隆 志(早 大) 1 20:30.8 |
| 4 | 鈴 木 重 孝(明 大) 3 20:34.8 |
| 5 | 牧 野 正 藏(見付中) 2 20:33.0 |
| 6 | 知 念 繁 雄(佐世保)           |
| 7 | 田 中 一 夫(銚 商)           |
| 8 | 加 瀬 秀 治(銚 商)           |

大接戦を豫想されたこのレースは横山、牧野、武村自重して初めは出す、知念300米迄トップ、400米で牧野(5:21.4)出て1000米までは常にリードし、鈴木、横山、武村と隣同志のコースで大體並行して力泳。1100の頃は鈴木僅かにリードして四人雁行、愈々最後のスパートに横山先づ出てリードし、少し宛差をつけ、何れも2米半位の差で横山、牧野、鈴木、武村とゴールイン、武村は400米頃から疲労の様子であつた。

#### 100米平泳決勝

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 大 串 泰 造(慶 大)          |
| 2 | 中 川 重 雄(名古屋)          |
| 3 | 塙 原 茂 樹(早 大)          |
| 4 | 原 裕(帝 大) 3 1:20.2     |
| 5 | 小 池 禮 三(沼 商) 2 1:18.8 |
| 6 | 鶴 田 義 行(明 大) 1 1:17.2 |
| 7 | 松 本 重 隆(早 大)          |
| 8 | 小 出 茂 彥(桑 中)          |

100米はまた鶴田の獨舞臺、小池の美しい泳ぎも1米半おかれた。小池は頭を常にあげて泳ぐがあれば長い距離の場合は損をしないか。

#### 100米背泳決勝

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 2 | 永 廣 字 之 助(名高商)          |
| 3 | 河 津 憲 太 郎(明 大) 1 1:12.6 |
| 4 | 大 島 正 夫(早 大)            |
| 5 | 清 川 清 二(名古屋) 3 1:14.0   |
| 6 | 鈴 木 政 雄(明 大) 2 1:14.0   |
| 7 | 入 江 稔 夫(早 大) 4          |

非常に接戦であつた。河津はあきらかに一着、清川と鈴木殆んど同着。

50米では四人並行、ターン後河津リード、鈴木次ぎ、清川1米おくれ入江更に1米おくれ80米以後清川出て三着。

此處でも大將入江は彼等の爲に淋しく敗られた。

#### 200米自由型決勝

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 2 | 片 岡 寅 次 郎(高 知)        |
| 3 | 片 山 兼 吉(明 大) 3 2:21.4 |
| 4 | 高 石 勝 男(早 大) 1 2:19.4 |
| 5 | 大 橫 田 勉(明 大) 2 2:20.4 |
| 6 | 竹 林 隆 二(早 大)          |
| 7 | 松 浦 武 雄(立 大)          |
| 8 | 宮 崎 康 二(濱一中)          |

50米では宮崎稍くリード、他は大體33秒位で同着100米では松浦、宮崎、大横田、高石の順。150から暫くは宮崎、片山、高石、大横田の四人殆んど並行結局高石、大横田、片山の順でゴールイン、高石は少し右手を打ち込み過ぎてゐた。

#### 選手決定

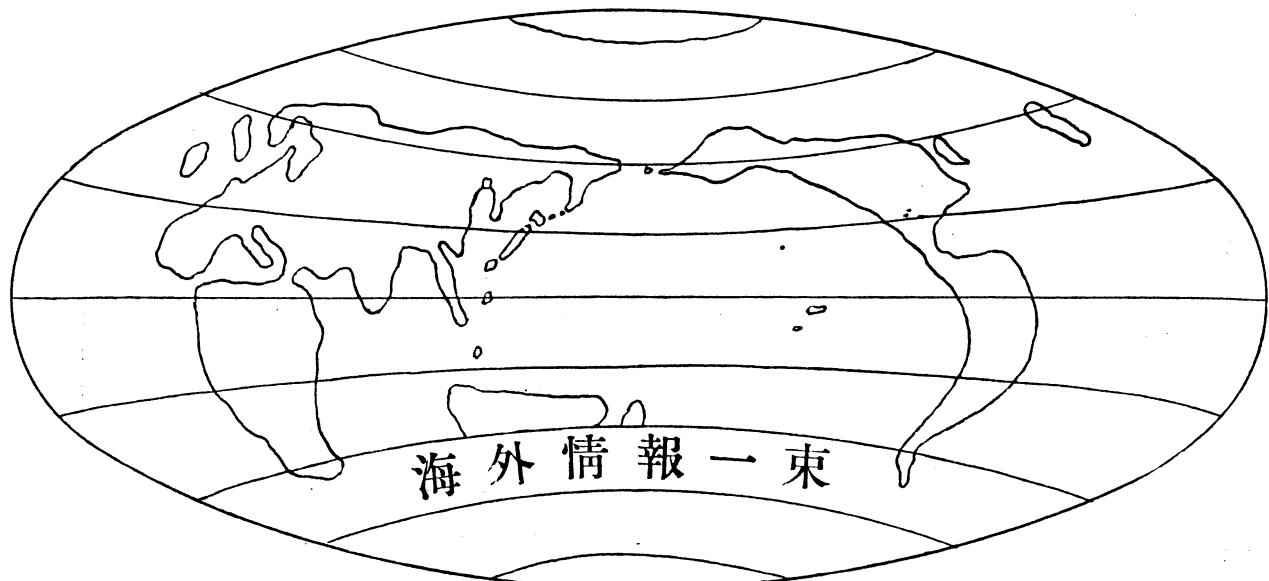
以上の成績の結果により選手は13名選抜された

#### 自由型

|           |           |
|-----------|-----------|
| 高 石 勝 男   | (早大 O.B.) |
| 高 佐 德 平   | (明 大)     |
| 片 山 兼 吉   | (明 大)     |
| 宮 崎 康 二   | (濱一中)     |
| 横 山 隆 志   | (早 大)     |
| 牧 野 正 藏   | (見付中)     |
| 武 村 寅 雄   | (明 大)     |
| 大 橫 田 勉   | (明 大)     |
| 平 泳       |           |
| 鶴 田 義 行   | (明 大)     |
| 小 池 禮 三   | (沼 津 商)   |
| 塙 原 茂 樹   | (早 大)     |
| 背 泳       |           |
| 清 川 正 二   | (名 高 商)   |
| 河 津 憲 太 郎 | (明 大)     |

高石、佐田、宮崎は100.200に、片山は更に背泳にも使はれるであらう、大横田は200.400に新進の期待をかけらるべく、400以上には横山、牧野、武村の全く雌雄を決し兼ねる三羽鳥が選ばれた。平泳は鶴田、小池、塙原、日本の方はアメリカ軍と違つて背泳、平泳の選手で自由型を兼ねる人がゐないからこの點アメリカに比べて非常に不利である。短距離の人は隨分とたくさん泳がねばならぬ事になるわけ

短距離は高石が抑へて3:3にはしてくれやう。長距離は3人でもつてひどくいぢめてくれやう。平泳も塙原の三着が問題で他は日本のもの、背泳は片山なしとするも二人同じ力であるからわるくとも二三には入つて3:3は取つてくれる。リレーは向ふに歩があるから、長距離でせしめる、さうしてどうにか日本が勝つ事になるか、豫想を許さない程の接戦だらう。



### 男子全米戸外選手権大会

七月十三、十四、十五、十六の四日間  
ハワイ島ホノルル・ワイキキの110碼  
競泳池で行はれた。

七月十三日

10呎飛板飛込

|               |        |
|---------------|--------|
| 1. ハロルド・スミス   | 141.88 |
| 2. マイクル・ガリツエン | 138.45 |
| 3. フアリット・シマイカ | 134.11 |
| 4. デック・デジエナー  |        |
| 5. ジョーン・ガリツエン |        |

1 品自由型

|               | 分 秒     |
|---------------|---------|
| 1. クラレンス・クラブ  | 22:14.8 |
| 2. オースチン・クラップ |         |
| 3. ジャック・メーイ   |         |
| (フィ・マカニ・クラブ)  |         |
| 4. モーリス、古庄    |         |

110碼

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 1. マニユエラ・カリリ    | 1:00.2 |
| 2. マイオラ・カリリ     | 1:00.6 |
| 3. ジョーン・ハウランド   | 1:01.8 |
| 4. ウィゲット        |        |
| 5. サージェント・カハナモク |        |

七月十四日

200碼背泳

|                |        |
|----------------|--------|
| 1. マイオラ・カリリ    | 2:39.0 |
| 2. フランク・ヲルトン   | 2:41.0 |
| 3. フランク・ブース    | 2:45.4 |
| 4. ジョーデ・フィスラー  | 2:54.4 |
| 5. ジョーン・シユミーラー | 2:54.8 |

440碼自由型

|              |        |
|--------------|--------|
| 1. クラレンス・クラブ | 4:59.8 |
|--------------|--------|

2. マイオラ・カリリ

3. ウィゲット

4. ハウランド

5. リーデー

6. マニユエラ・カリリ

7. オスボーン

8. オースチン・クラップ

9. ギルフラ

7月十五日

300米個人メドレー

1. クラップ (新記録)

2. マイオラ・カリリ

3. マニユエラ・カリリ

4. シュミーラー

880碼リレー

1. ホリウッド・アスレチック・クラブ

(新記録) 9:21.8

オースチン・クラップ 2:23.6

マニユエラ・カリリ 2:20.0

フランク・ブース 2:21.2

マイオラ・カリリ 2:17.6

2. ヌイ・ナル・クラブ (ハワイ)

3. フィ・マカニ・クラブ (ハワイ)

七月十六日

440碼平泳

1. ドナルド・ホーン

2. ジョーン・ポールゼン

3. ジョーン・シユミーラー

4. スヌム・ヨシカワ

5. リチャード・ガッサー

6. バーナード・ホー

1. クラブ

2. マイオラ・カリリ

3. リーデー

4. ウィゲット

5. マニユエラ・カリリ

6. オースチン・クラップ

7. ギルフラ

8. オスボーン

9. ジャック・メーイ

10:37.6

10:38.2

10:45.0

10:45.2

10:52.6

11:01.8

11:04.2

11:18.0

101.46

90.90

90.54

4. マイクル・ガリツエン

5. ハロルド・スミス

個人最高得点 (ホールラウンド・チャ

ンピヨンシップ)

..... クラレンス・クラブ 20點

クラブ得点 1. ホクウッドA.C. 49點

2. ロサンデレスA.C. 32

3. レイク・ショーアA.C. 5



### 女子全米戸外

### 選手権大会

ニューヨーク市ブロニクス・ビーチ

55碼競泳地

七月十五、十六、十七、十八日

110碼自由型

マンデソン

分 秒

1:09.4

2. ヘレン・ジョーンス 1:11.4  
 3. ジョセスイン・マツキム 1:12.4  
 4. コンスタンス・ハンフ(14年) 1:13.2

#### 440碼自由型

1. マヂソン 5:42.8  
 2. レノア・カイト 5:54.8

3. ジョセフィン・マツキム 6:03.6

4. フローレンス・サザード 6:04.6

#### 880碼自由型

1. マヂソン 11:50.4

2. レノア・カイト 12:11.6

3. ジョセフィン・マツキム

4. フローレンス・サザード

#### 1哩(1760碼)

1. マヂソン 24:46.0

2. レノア・カイト

3. フローレンス・サザード

4. スーザン・ロバートソン



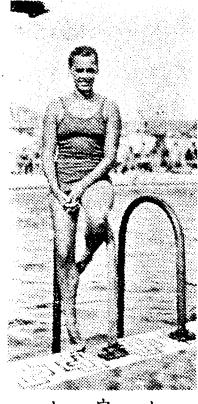
カザリン・コールマン

#### 220碼背泳

1. エリナー・ホウム 3:04.4  
 2. ジョーン・マシーヒー 3:07.2  
 3. リザ・リンドストローム 3:08.8  
 4. ヘレン・ヘンドリー

#### 330碼個人メドレー

1. カザリン・ロールズ(14年) 4:45.8  
 2. エリナー・ホウム  
 3. メー・カットネル  
 4. リザ・リンドストローム



ホウム

- 220碼平泳  
 1. カザリン・ロールズ(14年) 3:13.6  
 2. マーガレット・ホフマン 3:1.83  
 3. バーバラ・ノリス  
 4. カリン・ニルソン

- 880碼リレー  
 1. ロサンデレス A.C. 10:20.4  
 マージヨリー・ローエ 2:54.8  
 ジエンニー・クレイマー 2:51.6  
 ノリーン・フォーベス 2:51.6  
 ジョセフィン・マツキム 2:42.4  
 2. ニューヨーク女子水泳協会第一チーム  
 3. 同上第二チーム  
 4. カーネギー・ライブラリー A.C.

- 10呎飛板飛込  
 1. ジョーダ・コールマン 146.75  
 2. カザリン・ロールズ(14年) 134.63  
 3. ジャニス・リフソン 106.27  
 4. メリー・ハイゲン 102.13  
 高飛込  
 1. ジョーダ・コールマン 86.31  
 2. フランセス・ミニー 79.31  
 3. メリー・ハイゲン 54.32



コールマン

- |      |       |     |
|------|-------|-----|
| 個人得點 | マヂソン  | 20點 |
|      | ロールズ  | 13  |
|      | コールマン | 10  |
|      | カイト   | 9   |
|      | ホウム   | 8   |

- クラブ得點  
 ロサンデレス A.C. 23點  
 ニューヨーク女子水泳協会 21

- ヲハントン A.C. 20

(附記) 水の女王ヘレン・マヂソンは四つの種目の選手権を守つて他に譲らなかつたが少しの進況を見せなかつた又エリナー・ホウムも背泳の選手権を防守したが も好成績でない。一般と

しては不出来であつた。只十四年のカザリン・ロールズが一躍して二つの選手権を獲得したのは特筆に値する。特に 220 碼平泳の 3:13.6 は 200 米に換算すると 3:12.0 となつてドイツのロッテ・シユーエの保持して居る世界記録 3:11.2 及び同じくドイツのヒルダ・シユラーダーのオリンピック記録 3:11.2 に甚だ接近して居る。米國は 1924 パリ以来オリンピックで女子 200 米平泳して勝てて居ないので非常な喜びで之を迎へて居る。我前畠秀子は昨年は 2:12.4 の世界第一の記録を出したが本年は泳ぎ方が、鶴田式になつて 3:16.0 を切れない。日米戦で鶴田が十分な力量を持ちながら非力な小池に破れたのは泳ぎ方に欠陥があつたからである。明年のオリンピックは英國のウォルステンホルム、米國のロールズ我が前畠の争覇戦で、日本女子の爲めに第一の日章旗を掲ぐべき時であるから折角の力量を殺して泳ぐことのない様に十分研究練習されんことを此機會に切望して置く。

女子飛込はコールマンが断然押へて居る。飛板飛込ではロールズ、高飛込はフランセス、ミニーが之に次いでオリムピックの第二位をねらつて居る

過日 50m 水路で 200 米  
**レンカイ嬢** の 2:43.4 好記録を出  
 の 好記録 したハンガリの人魚マ  
 グダ・レンカイ嬢(17年)はブダペスト  
 の 50 米競泳池で 100 米自由型に 1:09.4  
 の好記録を出してオランダのマリー・  
 ブランの保持して居る 1:11.8 の歐洲  
 記録を破つた。1:09.4 の記録は本年  
 の全米女子選手権に於けるヘレン・マ  
 デソン嬢の記録と同じで無敵と考へら  
 れたマヂソンの強敵が出現した。

**クーパー嬢** 英国女子 220 碼自由  
 型の選手権はサウスポー  
 の 苦戦 トの 100 碼水路で舉  
 行された。ジョーイス・クーパー嬢が  
 容易に勝つものと何人も豫想した所で  
 あつたが、新來のメリ・ケニヨン嬢  
 (15年)の爲めに始終壓迫されてクーパ

ーは大苦戦しつづけ最後のデスペレイトにやつと 6時抜いて 2:50.4 で優勝した。

**獨佛對抗戰** パリー市トウレルの50米競泳池で獨佛對抗戰が開催された。種目は 880 米リレーと水球の二種で兩種目共ドイツの勝ちとなつた。

880米リレー ドイツ (バルク・ハース・シユーバート・ハイニヒ) 9.44.2  
水球 獨 4 —— 3 佛



アーヴィング

**マリー・ブラウン嬢の敗戦** 好 100 米自由型歐洲記録 1:11.8 の保持者であるオランダのマリー・ブラウン嬢は其 100 米自由型競泳で全國のヴァン・デル・オンデン嬢に 1:12.2 敗れた。オンデン嬢のロッテルダムの産本年 13 年、最近又 100 米自由に 1:10.8 の新オランダ記録を作つた。此爲にブラウン嬢は水泳界から退隱を聲明した。ブラウン嬢は今年未だ 20 年で前回 1928 年アムステルダムのオリムピアドには 100 米背泳で優勝して居る。前途未だ多望であるのに惜しい事だと世界水泳界で惜んで居る。

**巴里市選手權** パリー市トウレル競泳地 (50m) で八種目のパリー市選手權競技が行はれた。其内で七種目はフランス記録を破つた事が注目に倣する。其結果は下の如し。

男子 100 米自由型  
ジユアン・タリス 1:02.6  
ク 200 米 ク  
ジユアン・タリス 2:20.4  
ク 200 米平泳 シエエベル 3:01.2

|                 |        |  |
|-----------------|--------|--|
| 女子 200 米自由型     |        |  |
| イヴォンヌ・ゴダル       | 2:48.0 |  |
| ク 400 米 ク       |        |  |
| イヴォンヌ・ゴダル       | 6:03.4 |  |
| ク 100 米背泳       |        |  |
| ブロンドー           | 1:30.0 |  |
| ク 200 米平泳       |        |  |
| イヴォンヌ・ジュアンヌ     | 3:33.0 |  |
| ク 300 米メドレー・リレー |        |  |
| ソルクル・デ・ナジユールス   | 4:29.4 |  |
| (フリコ・マンソン・ゴダル)  |        |  |

**アルバート・シユワーツ** コージヤツクの出場しない今春の全米室内選手権大会に 100 磯及び 220 磯自由型で優勝したアルバート・シユワーツは仕事の都合とかで戸外選手権大会及び日米対抗水泳戦に参加しなかつたが、シカゴからニューヨークへ行つたワイスミラーはシユワーツに關して意外な報道を傳へて全米水泳界を驚かした。シユワーツは今夏トロント市で開催されるカナダ大博覽會の際に舉行されるプロフェショナルの 15 哩水泳マラソンに出席する由で此爲めにアマターの資格を拋棄するとシユワーツは來年のオリムピアドに米國チームの有望な一員として豫想せられて居た此際此報道は全米水泳界に大なる失望を與へた。

**獨逸水球の損失** ドイツの水球チームの一員で全歐洲屈指のプレーヤーとして知られて居るカール・プロツエは自動車事故によつて不慮の死を遂げたと云ふ報道があつた。深く弔意を表す。



タリス選手

**獨逸の平泳** ドイツの平泳界の明星であるパウル・シユワーツは 50 米水路で 200 米平泳にカール・ウンシュに意外にも 2:56.6 で敗れた

**タリス** フランスの萬能選手ジュアン・タリスはニースの 50 米競泳地で 800 米 10:17.4 を出して自己の世界記録 10:19.4 を破つた。然し米國のクラレンス・クラブが昨年 100 米競泳地で出した 10:15.4 には及ばなかつた。

**英 國** 15 年のロンドンのスクールボーイであるフレンチ・ウイリアムスは 25 磯競泳池で 50 磯 0:25.8 の記録を出した。之は英國の 16 年以下の少年の記録中最優のものである。

**米國の女子長距離選手權** 此競泳はニュー・ジャーシークリツヴェントナー市の海岸に於ける 3 哩水路で七月二十五日行はれたが、其結果は甚だ意外なものであつた。選手権保持者であるリンドストローム嬢及び最も有望と見られて居た新進のフロレンス・サザード嬢共に敗れて、リンドストロームは三着、サザードは五着となつた。ニューヨーク女子水泳協会が一着から三着迄を總占めにして一着はエヴァ・ペイン嬢 1:0:13.8 二着はスザン・ロバートソン嬢 (16 年) 1:10:128 三着リレドストローム 1:10:37.0、四着イヴリン・ウォグラード 1:12:08.0 五着サザード 1:15.50 此結果は戸外選手権のクラブ優勝に大影響があつた。先週の女子戸外選手権でニューヨーク女子水泳協会は 21 點を得、ロサンデエレス A.C. が 23 を得たのに今回のが加へられるので總計でニューヨーク女子水泳協会の得點は 40 點となり、ロサンデエレスは A.C. 23 點に止るので前者が優勝クラブとなつた

七月二十六日ニューヨークの中央  
**ニューヨーク・デイリーニュースの例年水泳戦**



ペイン

公園の湖水中の55碼水路で行はれた。四五十萬人と云ふ非常な觀衆で高級な競技を見る機會が多くなれば水上競技が一般の興味を強く引くことを立證して居る。觀衆は炎熱の中を競技の始めより終り迄四時間の間立つて見て居た最も重要なものはヘレン・マデソン嬢の550碼 7:23.4 でノレリアス嬢の550米の米國長水路記録 7:33.2 を破つた此記録は或意味から云へばオランダのマリー・ブラウン嬢の500米世界記録 7:18.0 を破つたものである。該世界記録は25米競泳地で出したものであるので之を55碼水路に換算すると7:28.0位になるのでマデソンの方が優れて居る。

同競技會で四種目のメトロポリタン A. A. U の選手權も行はれた。

220碼背泳 コージヤツク (ニューヨーク A. C.) 2:28.4

880碼リレー ニューヨーク A. C. 10:09.2

コージヤツク・ラナー・オレイス及オルター・スペンス

女子 440碼自由 スーザン・ロバートソン嬢 6:13.6

女子 220碼平泳 カリン・ニルソン嬢 3:36.6

**巴里大賞牌競泳** 每年行はれるグラント・ブリ・ド・パリの懸つて居る100米自由競泳はトウレルの50米競泳池で行はれたが出場すると傳へられて居たバラニー (ハンガリー)、ゾリラ (アルゼンチン)、ボチュンスキイ (ポーランド) 等の著名なスプリンターが參加しなかつたので甚だつまらないものになつた。其爲めにフラン

スのジュアン・タリスの獨天下となつて決勝で 1:01.2 で優勝した。二着はドイツのハース 1:03.8、三着コツピーテルス (ベルギー) 1:06.0。尙同競技會で下の結果が出た。

女子 100米自由

イヴォンヌ・ゴーダル嬢 1:10.4  
フランス新記録 (舊記録 1:11.3) 米國のマデソン嬢の敵がフランスにも現はれた。

女子 100米背泳

マルセル・ユムブロー嬢 1:25.0  
新記録 (舊記録 1:25.4)

男子 200米背

マルセル・ヌール 1:14.2  
新記録 (舊記録 1:15.4)

男子 200米平泳

パウル・シユワーツ (ドイツ) 2:57.8

300米自由の世界記録

同週にレインに於て  
タリスは300米自由  
に 3:27.5 を出して

彼の保持して居る世界記録 3:33.2 を  
破つた。尙此外に

女子 300米自由

ゴーダル嬢 5:49.6  
(フランス記録 5:54.8)

女子 200米平泳

マンソン嬢 3:29.4  
(フランス記録 3:31.2)

又パリに於てはプロンドー嬢が背泳の  
新フランス記録を作つた。

女子 300米背泳

プロンドー嬢 4:57.4  
(舊記録 5:06.0)

女子 406米背泳

プロンドー嬢 6:40.4  
(舊記録 6:52.0)

又他の競技會でジャツク・カルトンネは200米平泳 2:55.0 の成績でフランス記録 2:54.8 を破ることが出來なかつた。

女子塊塙水泳戦

ハンガリ及びオーストリアの女子對抗水泳戦がブダペスト市の50米競泳池で行はれ相方三種目宛優勝した。

100米自由

シボス (ハンガリー) 1:15.4

100米背泳

マラース (ハンガリー) 1:33.8

400米リレー

ハンガリーチーム 5:16.0

400米自由

ロクワイ (オーストリア) 6:20.2

200米平泳

ウェルトハイマー (ク) 3:20.4

飛込 ソルクナー (〃)

ハンガリの水の女王レンカイ嬢は出場しなかつた。

**ドイツの選手権大会** コエニヒベルヒの50米競泳地で舉行されたドイツの選手権大會の結果下の如し。

—— 男子の部 ——

100米自由

|               |        |
|---------------|--------|
| 1. カール・シューバート | 1:02.2 |
| 2. ハアス        | 1:02.8 |
| 3. フィシャー      | 1:04.1 |

200米自由

|                |        |
|----------------|--------|
| 1. カール・シューバート  | 2:21.7 |
| 2. バルク         | 2:24.0 |
| 3. ライムント・ダイタース | 2:25.1 |

400米自由

|                |        |
|----------------|--------|
| 1. ライムント・ダイタース | 5:20.4 |
| 2. シュラーダー      | 5:22.2 |
| 3. バルク         | 5:32.1 |

1500米自由

|            |         |
|------------|---------|
| 1. カール・ボーデ | 21:55.4 |
| 2. ナイツエル   | 22:26.4 |
| 3. エクスタイン  | 22:41.8 |

200米平泳

|                |        |
|----------------|--------|
| 1. カール・ウイテンベルヒ | 2:52.0 |
| 2. エルワイン・ジータス  | 2:52.2 |
| 3. ウイリー・シユルツ   | 2:54.6 |

|               |        |
|---------------|--------|
| 4. ルヂ・キュンニガー  | 2:56.9 |
| 5. パウル・シユワーツ  | 2:57.3 |
| 6. エルンスト・ブーデヒ | 2:58.3 |

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 7. エバー・ハード・コツペン | 3:00.4 |
|-----------------|--------|

100米背泳

|           |        |
|-----------|--------|
| 1. ドイツチ   | 1:14.4 |
| 2. シュンブルク | 1:15.7 |
| 3. レーニヒ   | 1:15.8 |

|           |        |
|-----------|--------|
| 4. ゾエールマン | 1:17.5 |
|-----------|--------|

400米リレー (4×100米)

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 1. ポザイドン(コエルン)      | 4:22.3  |
| 2. ヘラス(マクデブルク)      | 4:22.6  |
| 3. スバルタ(コエルン)       | 4:23.2  |
| 4. ポザイドン(ライプツヒ)     | 4:27.9  |
| 800米リレー(4×200米)     |         |
| 1. ポザイドン(コエルン)      | 10:00.0 |
| 2. ポザイドン(ライプツヒ)     | 10:09.4 |
| 3. ヘラス(マクデブルク)      | 10:09.3 |
| 800米平泳リレー(4×200米平泳) |         |
| 1. ヘラス(マクデブルク)      | 12:12.2 |
| ラー・デ・マツヘル兄弟出場       |         |
| 2. ポザイドン(ライプツヒ)     | 12:29.2 |
| 3. コエニヒベルヒ水泳クラブ     | 12:58.0 |

|                        |        |
|------------------------|--------|
| 400米メドレー・クレー           |        |
| (100米背泳 200米平泳 100米自由) |        |
| 1. スバルタ(コエルン)          | 5:12.6 |
| 2. ヘラス(マクデブルク)         | 5:17.8 |
| 3. ポザイドン(ライプツヒ)        | 5:22.6 |
| 飛板飛込                   |        |
| 1. ウイリ・ノイマン            | 142.72 |
| 2. エワルト・リープ・シュレーガー     | 141.54 |
| 3. フィーバーン              | 139.54 |
| 高飛込                    |        |
| 1. エワルト・リープ・シュレーガー     | 114.26 |
| 2. ウイリ・ノイマン            | 104.50 |
| 3. グロー・テ               | 103.46 |

### — 女子の部 —

|                  |        |
|------------------|--------|
| 100米自由           |        |
| 1. ロツテ・コトウルラ     | 1:16.4 |
| 2. モエルシエル        | 1:17.3 |
| 3. ミツデン・ドルフ      | 1:17.8 |
| 200米平泳           |        |
| 1. ズーハルト         | 3:14.1 |
| 2. ロツケ           | 3:17.3 |
| 3. マイスチー         | 3:18.4 |
| 100米背泳           |        |
| 1. フリー・デル・ストゥーベル | 1:31.6 |
| 2. ホエルツナー        | 1:32.6 |
| 3. ワイプセ          | 1:32.8 |
| 飛板飛込             |        |
| 1. オルガ・ヨルダント     | 76.38  |
| 2. シヤツフステット      | 67.06  |
| 4. シュリュッター       | 62.94  |
| 300米リレー(3×100米)  |        |

|                  |        |
|------------------|--------|
| 1. マクデブルク女子水泳クラブ | 4:15.4 |
| 2. ブルツシア水泳協会     | 4:25.6 |
| (コエニヒベルヒ)        |        |

|                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 400米メドレー・リレー       | (100米背泳 200米平泳 100米自由) |
| 1. ニクセ(シャーロッテンブルク) | 6:04.2                 |
| 2. ポザイドン(ライプツヒ)    | 6:22.0                 |
| 3. インザーローン水泳協会     | 6:28.5                 |

### ハンガリーの 800米 リレーチーム

先日ハワイでホ  
リウッドA.C.の  
作つた 880 碼リ  
レーの記録 9:21.8 は世界記録の種目  
中にはないが當時の最世界高標準であ  
つたので歐洲の水泳愛好者の一人がハ  
ンガリーの泳者が 50 米水路で作つた  
200米の記録を組せて見た。

ステファン・バラニー 2:16.2  
アンドラス・スツエケリー 2:18.4  
アンドラス・ワンニー 2:21.2  
ヴィクトル・ボロス 2:24.0

ここで總計 800 米で 9:19.8 となる。870  
碼は 80.672 米であるから此速さで 880  
碼を泳げば 9:25.1 位となるから米國  
の好敵手と考へて居る。然しホリウッ  
ドA.C.のチームは米國のベスト・チ  
ームでない事は勿論日米戦で 9:17.0 の  
最高記録を作つた米國チームもコーデ  
ヤック、シュークリー等が抜けて居る。  
日本チームも練習では 200 米の時間が

片山 兼吉 2:17.6  
武村 寅雄 2:18.4  
牧野 正藏 2:18.8  
大横田 勉 2:19.2  
高石 勝男 2:19.8  
宮崎 康二 2:20.4  
横山 隆志 2:20.8

で上位の四人を取れば 9:14.0 となつ  
て居る。米國チームは練習タイムでは  
9:15.2 となつて居た。本年は人數の  
關係で疲れた選手が出場した爲め問題  
とならなかつたが本年のオリンピアード  
には 2:17.0 以内で 200 米泳ぐ者を揃  
へて確實に 9:10.0 以内にしたいもの  
である。

**巴里、ガント** フランスのパリとベ  
ルギーのガント兩市  
**対抗戦** の対抗戦はパリに於  
て行はれた。種目は五種目。

100米自由

ジュアン・タリス(パリ) 1:02.0

800米リレー

パリ市 10:40.0

100米背泳

マルセル・ヌアル(パリ) 1:16.9

200米平泳

ジャック・キアルトンネ 2:55.6

ベルギー軍は水球のみ勝つた。

ガント 6 — 4 パリ

**ベルリン** スプレー河によつてベル  
リン市街を縦断する例年  
の競泳に於てイタリーの  
老練水泳家ヂオヴァンニ・ガムビが優  
勝した。

1. デオヴァンニ・ガムビ 時 分 秒  
(イタリー) 1:13:37.0  
2. パユク(ハンガリー) 1:14:32.0  
3. ボヌ(ベルギー) 1:17:23.0  
4. シュタインハウス(ドイツ)三着に  
接近

**佛蘭西女子** フランスの女子競泳の  
水泳の急進 記録は未だ安定に達し  
て居ない。今度既に一  
回以上破られた下記種目の記録は又更  
新された。競泳池 25 米。

400米自由

イヴォンヌ・ゴーダル嬢 5:49.6

舊記録彼女自身保持 6:54.6

100米背泳

マルセル・ユムプロ 1:25.0

舊記録 1:25.4

400米リレー

ソルクル・デ・ナデュール(パリ) 5:30.0

デルボル・マツフン・ヌーガレ・ゴ  
ーダル 舊記録 5:30.4

スイスのバースルに於ける競技會で下  
の二記録が作られた。

200米平泳

1. フアチネツチ(ボロナ) 2:59.6

新イタリー記録

ウイス(バースル) 3:00.4

新スイス記録



**英獨對抗戦** 英獨の代表チームはハムブルクで800米リレーと水球とを戦つたが兩方共英國の大敗となつた。

800米リレー 1. 獨逸チーム 9:42.0  
2. 英國チーム 9:56.0  
水球 獨逸 9 —— 2 英國

米國のジョーン・マクシーヒー嬢はロードアイランドのニューポートの50米競泳地の競技會に200米背泳3:02.8の好記録を出した。之はホウム嬢米國長水路記録に甚接近して居る。

**バラニー** ワイズミュラー隠れたる  
**の背泳** 後の世界短距離の王であるハンガリーのステファン・バラニーはハンガリー100米背泳の記録を1:11.0に更新した。

コーディヤックの世界記録1:08.2に一寸間があるが背泳の好闘將と云へる

英國女子の巨星ジョイス・クーパー嬢は30碼水路に於て200碼自由型に2:45.0の記録を出して舊記録2:46.4を破つた。

**タリスの千米** フランスのジュアン・タリスはパリの50米競泳地にて1000米自由型に13:05.6の記録を出して彼自身のフランス記録13:22.0を破つた。アルネ・ボルグの世界記録は13:02.0で1928年アダペストで作られて以來公式には未だ破られず居る。我が牧野正藏は昨年全日本選手權の1500米の途中1000米で12:57.6の世界新記録を出したのであるが正式

計時でない爲めに公認されなかつた。

**女子千米  
世界記録**

上記と同じ競技會に於てイヴォンヌ・ゴーダル嬢は女子1000米自由型の世界記録15:18.6を作つた。前記録はオーストリアのエドナ・デーレー嬢の15:46.8である。米國のマーサ・ノレリアス嬢は1927年に14:39.6の米國記録を出して公認されて居るが國際水泳聯盟へ申告するのを怠つた爲世界記録として承認されて居ない。尚ゴーダル嬢は途中800米で12:18.8のフランス記録を作つた。

**匈、佛、獨  
英、白、和**

最近行はれたハンガリーとフランス、ドイツと英國、ベルギーとオランダの對抗戦の結果を一纏めにして見ると一寸面白い。對抗戦は皆歐洲式に800米リレーと水球の二種目で行つて居る。

|       | 800米リレー | 水球 |
|-------|---------|----|
| ハンガリー | 9:33.4  | 5  |
| フランス  | 10:16.0 | 1  |
| ドイツ   | 9:46.5  | 7  |
| 英國    | 10:01.0 | 2  |
| ベルギー  | 10:26.2 | 3  |
| オランダ  | 10:28.4 | 0  |

ドイツのワルター・アーレントは50米競泳池に於て100米自由型1:00.6の記録を出して世界的選手の群に入つた。

200米平泳 アルネ・ハイニス 2:54.9  
100米背泳 ゲルハーツ・ドイツチ 1:13.4

**女子200米平泳**

ヒルダ・シユラーダー嬢 3:20.0  
シユラーダー嬢は1928年のオリンピアードに3:11.2のオリンピック記録を出して優勝して以來休止して居たが最近又活動を始めた。

**デンマルク  
500米自由型**

コペンハーゲンの選手権大會の結果  
ジョルゲン・ジョルゲセン 7:34.7

**3米飛板飛込**

カルル・クリスティエンセン

**女子100米背泳**

エルゼ・ジャコブセン 1:31.9

**平泳の巨星  
レインゴールド**

フィンランドのタイヴェ・レインゴールドは50米競泳池に於て200米平泳に2:48.8の好記録を出した。之は我が鶴田義行が1928年アムステルダムで同種目に優勝した時出したオリンピック記録と對で鶴田以来50米水路では始めての記録である

**ベルギー** ブルージュのギリニは50米自由型に6:44.2の新記録を出した。舊記録はヴァン・パリスの7:05.0。オランダの26米水路

で行はれた女子100米自由型選手権はデ・スマラ嬢が1:21.6で優勝した。之は對記録であつた。

日米戰の結果は米國へは總點數と800米リレーの結果のみが電報された。米國が敗れることは布哇の全米選手権の結果で米國水泳界の識者は豫想して居たので驚かなかつたさうである。米國としてはリレーチームが9:17.0の女子記録を出した事がせめてもの慰めで來年ロサンゼレスに之以上の速い選手を集めることが出来るので尙一層優秀な成績を出すであらうと云つて居る

**バラニー** ハンガリーのステファン

・バラニーがワイズミュラーがアマタの資格を失つて後は短距離の世界第一であることは周知であるが最近50米競泳地に於て100米自由型に0:57.6の記録を出した。之は公式に發表された企でない爲に彼自身の保持して居る歐洲記録0:58.4を更新することは出來なかつたがハンガリー水泳聯盟の役員が關與して居るのであるから確實なものである。50米水路に於ける0:57.6の記録はワイズミュラーの0:57.4の世界記録に0.2だけ及ばないが0:57.4は25碼水路で作られたものであつて、ワイズミュラー自身

でも50米水路では0:57.8が最高記録であつた事から考へれば世界記録は破れなかつたがバラニーはワイスミュラーと匹敵する又はそれ以上の短距離泳手となつたと云ふ事は疑ふ餘地がない

**タリス** パリー市トゥレル水泳場(50米水路)に於ける競技会でジュアン・タリスは100米自由型競泳に13:02.2の記録を出したが僅小の差でアルネ・ボルクの13:02.0の世界記録を破ることが出来なかつた。

**マヂソン嬢** 米國シアトル市のヘレン・マヂソン嬢はポー

トランド市ジャンツエン水泳場(50米水路)で開かれた北西太平洋岸選手権大会に於ての四種目に優勝した。

100米自由 マヂソン嬢 1:13.6

200米自由 マヂソン嬢 2:39.8

800米自由 マヂソン嬢 12:18.6

400米リレー

ヲシントン・クラブ 5:25.8

(ギルソン、シャークト、マックキ

ツビン、マヂソン)

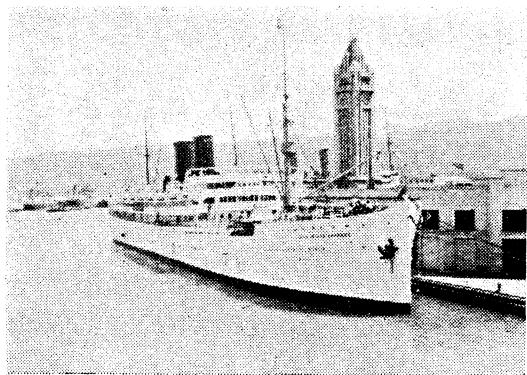
其他の競技

100米背泳 ギルソン嬢 1:24.6

300米メドレー ギルソン嬢 5:30.0

### 英國豫選

八月廿二日からパリで開かれる歐洲選手権大会に費用の關係から参加申込を傳へられて居た英國も遂に參加する事になり豫選會を行つたが其結果頗る良好であつた  
 男子 100碼自由 サットン 0:54.6  
 女子 100米自由  
 ジョーイス・クーパー嬢 1:10.4  
 女子 100米背泳  
 1. ジョーイス・クーパー嬢 1:21.6  
 2. フィリス・ハーディング嬢 1:22.6  
 3. ヴアレリー・ディヴィース嬢 1:23.0  
 女子 400米自由  
 ヴアレリー・ディヴィース嬢 6:06.0  
 (45頁へつづく)



### 「ALOHA」

發音其のものが現す感じそれが即ちハワイの感じである。船は Pier に静々と近付く右舷遙か下の澄切つた水には赤黒いハワイ人が、サル又一つで十數名泳いで居る。大聲でなにか叫んで居る。上から銀貨を投げるものがある。すぐ潜つて取つて来る。訪問者には甚だ奇異な感を與へる。見事なクロールで泳いで居るものが多い、カリリ兄弟を生んだ一團があるのである。愈々水の國、あこがれのハワイへ來たのだ

× × ×

横濱を出帆して九日目の朝早くハワイ八島の一つを右舷に見たコロンブスがアメリカを發見した様な騒であつた。其日の午後一時には港外に停止し、三時過には久し振りで大地に足を踏みつけたのであつた

日本水泳界最大の Event たる日米對抗が數旬の内にあると云ふのに之を見捨て、其豫選さへも見ることなしに心を残しつゝ日本を立てばハワイでは全米大會が終つたばかりの所へ着く、日本へ遠征の選手達を乗せた太洋丸には三日許り前太平洋の眞中でそれ違つたのみである。なんと不幸な旅をするものかなと慨きつゝも僅にワイキキのプールそれは C ク

### 泳ぎの國「ハワイ」を訪れる

龍田丸にて

白山源三郎

ラツプ、カリリ等を生み、吾國より男女選手の遠征すること三回の懷しのプールを訪れ、二度往復した名監督ダット・センターに會ふことを僅に慰めとして勇躍しつゝホノルルの街へと上陸した。

× × ×

成程寫眞で見る通りのプールである。只コンクリートは稍粗雑であり、水は少し濁つて底が見えない汐の差引に具の爲めスタート臺がポントーンになつて居ることは既知の通りセンチ、ミリをやかましく云ふ様になつた日本と比べると氣の毒乍ら少し遅れて居る様だ。側定がやつて見たいものだ。百米はこの眼には少し廣すぎる。

Admition25c とある五十錢だ少寸驚き乍ら25c 銀貨を擱み出す。聞けば脚のない Zimy とか云ふ蘇士蘭人が來て滯水時間の Record を作るべく昨晩から入つたのであるそうな爲に一般の水泳を禁止し慈善興行として25仙取るのである。アレアレどこまでも運が悪いとあきれる。成程滯水先生氣持の悪い程油をぬつて泳いで居る。脚がないので浸つて居るだけだ手で浮んで居るのである。辛抱強い事である。

「日本 Swimming Federation • Commitsee だ今

來たのだと云つたら」 Cottrell と云ふプール番が出て来て大變な觀迎日本水泳の偉い事を知て一寸得意になる「Swimming quito を持つてゐるなら特に泳いでもよい」と来る。一寸泳いで見た。塩分は餘り強くない様があまい溜水型の水である餘り心持がよくない。

× × ×

滯水先生と上から話す。日本へ行きたいがプールはどうだと云ふから、之は甚だ迷惑だと思つてプールはあるが塩水はないし冷いと云つたら、 allriyhn と來やがる。おまけに Los Angeles へすぐ行くから君の所を訪ねると Adress を聞きたいと來た。仕方がないから Cottrell に書い 置いた。來たら日本で そんな事に興味を持たないと云つて止めねばなるまい迷惑な事だ。暢氣そうにラ、ラ、ラ——と何か歌ひ乍らアカブカ浮いてやがる。

× × ×

Cottrell 氏は非常に氣持よく色々話し、センターに電話をかけたりして來れた。センター氏はどこへ行つたかつかまらなかつた。

× × ×

七月十三日より十六日まで四日間に行われた全米屋外選手権は日米対抗の小手調べで重大な意義を有する。其結果は日本へ電報で行つて居るだらうし、比較的全般を察知するのに都合のよい様に日布時事を聯盟へ送つて置いたから見られたことゝと思ふが案外振わなかつたらしい様子である。

C・クラブが非常に元氣で 400 以上を全部勝つてカリリを押へたこと 特筆すべきことである。

オースチン・クラブは非常な不振である。

弟マヌエラ・カリリが百米60秒1

兄マオラ 800 リレーの 200 が 2分17秒等々は日本で知られた所であらう。どうやら日米対抗は日本に

七分の勝味がありそうに感ぜられる。

× × ×

少寸將來の問題として見落せないのは、ハワイ・フィマカニのジヤツク・メーイが不振なりしとは云へ強豪オースチン・クラブと第二位争をして惜くも破れたこと一つ。

四百四十碼でクラブ・カリリを追て第一着との差 6碼位にて三着に入つた、テツド・ウイゲットは五分十秒以内の選手であらうこと一つ。

猶今一つはデューク・カハナモクの末弟サーデント・カハナモクである。デュークハ既に四十歳になつて居る。ハリウッドの映画人生活もトーキー時代に入つた爲か止して最近ハワイへ歸つて居る。そしてあわよくば水泳界に返り咲きたい希望とある。それは望少いことにして末弟サーデントを仕上げるべく畫策して居るらしい。果せるかなサーデントは布畦選手権百米に優勝し然も一分二秒二と云ふ記録を出して居る若い彼の事である。括目して見るべきものがあるであらう。

× × ×

午前十時出帆と云ふ翌朝八時に食事をとるとすぐ飛び出した。愛するは Dad Center は DoDauio 商會の Sportig goods depotment に居る昨夜の電話で待つて呉れた。アノ大きい物凄い顔、毛もくちやらの大きい手で握る Shake hand 京都で二度會つた話其後の日本の事、神宮プール、高石、新井前畑、日米対抗、Olympic 等に話は盡きない。時間がないので切上げて來年 Los angeles の再會を約して別れた。急いだので寫真をとるのを忘れたあの親しみ深い Dad をもう一度見たいと云ふ人が多いだらうに。

船は多くの懷みを後に夢の國ハワイを後に愈々一路アメリカへと纏を解いた黒い土人等が船から飛ぶ潜つて銀貨を取る少時は陰行の船と別れを惜む様に

**スペイン** スペインで最も水泳の發達して居るカリロニア州の選手権は50米競泳地で開催された。

|         |       |         |
|---------|-------|---------|
| 100米自由  | サペス   | 1:08.1  |
| 1500米自由 | アルヂガス | 23:47.0 |
| 100米背泳  | ブルル   | 1:21.9  |
| 400米平泳  | パレ    | 6:16.0  |
| 250米リレー |       |         |

バルセロメ水泳協會 2:35.0  
(ミグエル、サバタ、フウイラー  
クルエルス、ウランデナ)

**和 蘭** 和蘭女子水泳界の新人ウイリー・バン・デル・オレンデン嬢(十三年)はゴウダ市で開かれた競技會に 100 米自由 1:11.6 の好記録を出した。

**女子平泳の世界記録** 英國のマージョリース・ヒントン嬢はマンチエスターの 25 碼競泳地で行はれた競技會に於て 200 米平泳に 3:10.6 の世界新記録を出した。前記録は獨逸のロッテ・ミューエ嬢の 3:11.2 で 0.6 秒短縮した譯であるが

ミューエの場合は 50 米水路であるので之を 25 碼水路に換算すると 3:06.0 位となつてヒントンの成績よりも遙かに優秀なものなのであるが現今世界記録の制度では 500 米以下記録は 25 碼以上の水路で作られたものなれば何れでもよいので、實質的には劣つて居る成績が新記録として認められることになるので米國では前回オリンピックの時の國際水泳聯盟の會議に提出して否決された長水路、短水路兩種の記録を制定する件を再燃しようとして居る。

# 會報

昭和六年十月

N S R

## 日本水上競技聯盟會報

### 昭和六年度全日本選手権水上競技大會並 ニ第六回明治神宮體育大會水上競技要項

本年度選手権大會は明治神宮競技と併せ行ひ、且明年に迫りたるオリンピック競技の爲の第一次豫選として國際場裡に優勝を期するの準備とする。

既に機關雑誌「水泳」に發表せる所もあるが、細目に關して去る八月二十三日 N S R 理事會に於て決定せる所を加へ括して要項を發表する。

1. 期日 昭和六年十月二日、三日、四日晝間。

(本選手権大會の定期たる八月第四日曜を中心として行ふ事は。今年は日米對抗の爲不能となり、變更せり)

2. 場所 東京市四谷區明治神宮外苑水泳場。  
競泳水路五十米。

#### 3. 選手権種目

| 種 別 | 男 子                  | 女 子           |
|-----|----------------------|---------------|
| 自由型 | 100. 200. 400. 1500  | 100. 200. 400 |
| 競泳  | 背 泳 50. 100.         | 100.          |
|     | 平 泳 100. 200.        | 200.          |
|     | リレー 800. 300. メドレリレー | 400.          |

(47頁へ)

## 米國選手滯在日程表



東京市長ノ兩國選手役員招待

|       |         |        |       |                             |
|-------|---------|--------|-------|-----------------------------|
| 7月28日 | 大洋丸にて到着 | 前 9.00 | 横濱    |                             |
|       | 豫選會見物   | 後 6.30 | 神宮プール |                             |
| 29    | ク       | ク 6.50 | ク     |                             |
| 30    | NSR歡迎會  | ク 6.00 | 赤坂幸樂  |                             |
| 31    | 市長招待會   | ク 3.00 | 清澄公園  |                             |
|       |         |        |       | 8月 1日 練習                    |
|       |         |        |       | 2 練習                        |
|       |         |        |       | 3 横濱プールにて練習、水球 ク 3.00 横濱    |
|       |         |        |       | 體協副會長平沼氏招待會 ク 6.00 ク        |
|       |         |        |       | 4 首相茶話會 ク 3.00 首相官邸         |
|       |         |        |       | 5 岸會長午餐會 正午 12.00 上野精養軒     |
|       |         |        |       | 水泳展覽會並茶會 後 3.00 銀座松屋        |
|       |         |        |       | 6 (休養)                      |
|       |         |        |       | 7 日米大會 第一夜 後 7.10 神宮プール     |
|       |         |        |       | 8 ク 第二夜 ク ク                 |
|       |         |        |       | 9 ク 第三夜 ク ク                 |
|       |         |        |       | 10 三越招待會 後 3.00 日本橋三越       |
|       |         |        |       | 日光ピクニツク出發 ク 4.00 淺草驛        |
|       |         |        |       | 11 中禪寺ドライブ、東照宮參拜歸京          |
|       |         |        |       | 12 水泳座談會 前 10.00 帝國ホテル      |
|       |         |        |       | ロー・タリー・クラブ午餐會 正午 12.00 東京會館 |
|       |         |        |       | 送別晚餐會 後 6.00 紅葉館            |
|       |         |        |       | 13 淺間丸にて出帆 後 2.00 横濱        |

- |     |                    |    |
|-----|--------------------|----|
| 飛込  | { 飛 板 アリ<br>高飛込 アリ | アリ |
| 水 球 | アリ                 | ナシ |
- 昨年に引き続きオリンピック第一主義にて進む爲更に、女子四〇〇メートルリレーを追加す。
- 神宮水上競技に於ける今迄の一般種目は今回の全日本選手権種目として取扱わる。
- 4. 出場資格者**
1. 地方豫選。本聯盟加盟團體並に假加盟團體（神宮競技の慣例に依りて許さる）の主催に依りて行はれたる地方豫選に於て。個人種目の各三等迄、リレー水、球各一等の入選者。
  2. 前年度選手権保持者、日本人たる前年度選手権保持者は自己の選手権を保護する爲め、今後本競技に於て其の種目の決勝に直に出場し得る特權を與ふ。而して此の出場権は申込制限外とす。但し出場の有無はなるべく早くNSR事務所迄申告する事。（理事會決議）  
(本年は選手権保持者が選手権保護の爲め上京する者に對して旅費を支持す)
  3. 全國學生水上競技大會、並に全國中等學校水上競技大會。（後者は東西の豫選會並に東西對抗の全部を含む）  
個人種目 三等迄。 リレー 一等入選者  
此等競技會に於ける八百米自由型は千五百米に振替ふる事を得。  
中等學校は全部の會に於て出場せる種目中より二種目迄申告に依り出場し得。何れも本競技に出場の有無を本聯盟まで申告する事。
  4. 日米對抗競技の日本代表選手。代表選手に限り豫選會及本競技に出場せる種目中より二種目を選び申告して出場する事を得。  
(欠如せる種目は適當に振替ふる事を得)
  5. 海軍選手。各鎮守府を加盟團體と見做し、神宮競技海軍選手は、各鎮守府の選出に依り一般種目に一般規定に従ひ出場する事を得。
- 5. 出場申込に關する事**
1. 出場制限。個人種目一人二種目、但しリレーを除く、飛込、水球はこの限に非ず。  
前年度選手権擁護の爲其の保持者が其の種目への出場は此の制限外とす。
  2. 申込場所。東京市四谷區明治神宮外苑水泳場内日本水上競技聯盟事務所宛。
  3. 申込期限。申込は必ず各加盟團體（此に準ずる者を加ふ）より豫選を行ひたる出場資格者に對し、本競技に出場の有無の意志を確め、遅くも二週間前迄に申込む事。申込せざれば棄權と見做す。
  4. 推薦を許さず。競技を行はず推薦に依る出場は今後之を許さず。
  5. 飛込競技に於ける例外。全國的に設備に欠くる所あり設備なき所に於ては次の便法を許す。  
飛坂飛込 一米板に依り豫選を行ひ、三米出場する事を得。  
高飛込 正規の五米飛臺にて十米の豫選を行ひ得る事同前。
  6. 申込用紙。本聯盟より一定の申込用紙及飛込競技選擇飛申込用紙を送る。
- 6. 本大會を以てオリンピック第一次豫選とする件**
1. 今年度選手権大會をオリンピック第一次豫選とし、此會の成績に依り代表候補者を銓衡す。
  2. 銓衡範囲は競泳、飛込、水球、男子女子を通じて全水上競技種目に及ぶ。

3. 此等候補者に本聯盟統制の下に冬季春季の合宿練習の機會を與へ萬全を期す。
  4. オリンピック代表選手の最後の決定は來年の最終豫選會に於て決定す。
  5. 第一次豫選にて選ばれたる候補者以外の人にて、最終豫選會に出席せんとする者は、最終豫選會前に行わるゝ候補者第二次豫選會の銓衡に通過する事を要す。
- 7. 明治神宮競技の事**
- 本年より明治神宮體育會に本聯盟が本加盟せる爲め神宮の全水上競技は本聯盟の主催する所となつた。依つて神宮競技の一般種目には全日本選手権競技を當て、外に從來通り青年團競泳を行ふ。此の豫選は大日本聯合青年團の加盟團體たる各府縣青年團の手に依り豫選が行わるゝ事になつてゐる。細目もNSRと協定済となつた。
- 8. 青年團競技規定の事** (昭和六年七月改正明治神宮體育大會青年團競技規程に依る)
- 競技種目 (1) 100米自由型 (2) 400米自由型 (3) 200米平泳 (本年より100米を200米と改む) (4) 100米背泳 (5) 200米リレー
- 參加資格 満25歳以下の青年團員たる事（其の年の十一月三日に於て）一ヶ年以上の在團者、中等學校以上の學校は退學後三ヶ月以上。職業的競技者たらざる事（この條項は本年より挿入）水上競技一般種目へは青年團種目と異なる種目には場出する事を得。
- 選士 技能並に人物を考慮し、一人一種類の競技に出席する。(日が違へば二種類を兼ねる事を得)召集時間に遅れたる時は参加するを得ず、數は聯合青年團各加盟團體(即各府縣)を單位とし、水上競技は各種目に一名一人二種目(リレー除く)リレーは二名補員、總數は六名(此等の諸制限に關してはNSRより變更する様提案したが、今回は留保となつた)主將、選士より一名外に監督一名申出する事。
- 優勝旗 水上競技に一流あり。
- 競技規定 リレーの補員は豫選開始前に於て豫め申出されたる場合にのみ有効、單獨競技は一等より六等迄得點七、五、四、三、二、一、團體競技は四等まで十、七五、三點、同點の時は一等の數により決す。其の他は昭和六年度NSRの規定に準ず。
- 9. 日米對抗競技會**
- 前號迄は外國欄に取扱はれて居た此の竹技會も愈々開會されるとなれば、國內欄の第一線を飾るべきであらうが本號は此の會の爲の特輯であるから、此の欄としては本聯盟の主催の下に日米對抗豫選會は七月廿八、廿九兩日に、日米對抗競技は八月七、八、九の三〇間にいづれも非常な成功を示した事だけを述べておく。本聯盟の今迄の最大の事業がかくも輝かしい成績に終つた事を喜ぶ次第である。
- 10. オリンピック水泳ハンドブック到着**
- 第十回オリンピアードに對する米國の準備は着々進められて居る由屢々報道されるが、八月に全オリンピックに關する組織、規則、マナー規定、到泳に關する規定をまとめた三十頁ばかりの美しい小冊子が到着した。宣傳を兼ね米國も準備に愈々大馬力である事が窺はれる。
- 11. 代議員會開催**
- 例年全日本選手権大會を期して開催される定期代議員會は十月二日午後六時より(即選手権大會第一日終了後)東京市九段富士見軒に於て開催される事となつた。議題は
- 一、新加盟の件、三重水泳聯盟、秋田體育協會、富山縣體育協會、和歌山水泳協會、野尻湖水泳協會
  - 一、規約改正の件
  - 一、役員改選の件

一、次年度選手権大會の件  
一、オリンピックに關する件  
等、多端な來年を控へて非常に多い。

### 12. 水泳展覽會開催

本聯盟主催東京銀座松屋呉服店後援の下に七月二十日より八月九日迄、同店五階展覽會場に於て開催した。正面飾棚には日米對抗十二種目のトロフィーを中心に、十二のコースに一種目づゝ出場選手の寫眞、レコード表示等あり、而も同店の催物として日米大會の豫想投票を行つたのは興味ある事であつた。投票總數約五千票の内、日本優勝の分約三千票、米國優勝の分約二千票、「四十點對二十三點」にて優勝の適中者はそれでも丁度四十名あつた。(内十名を地第にて當選せしめたと云ふ)最も多數は五點内外の差と云ふ所であつたさうだ。次に日本競泳年表の圖示と其に關する高石、入江、鶴田諸氏の記念品の展覽、電燈明滅による飛込説明、明治神宮プールの精密模型、廻り燈籠式の競泳々法の説明、實際に水を湛へた水球競技の模型、濱名を初め地方團體の出品等、殊に日米對抗をひかへ一般市民の興味を呼んで連日多數の來會者を得た。松屋呉服店の後援の勞を感謝する次第である。

### 13 競泳地の公認二件

A 静岡市沼津市静岡縣立沼津商業學校内に本年新設せられた競泳池測量の請求があり、聯盟公認測量者野坂喜代松氏出張測量した。其の成績を添へて同校々長より公認の申請が提出された。聯盟では八月十一記録委員會を開き審査の結果公認すべきものと決定され直に同日の理事會に於て公認せられた。

#### 沼津商業學校競泳地要項

構 造 鐵筋コンクリート造  
長 さ 25米 巾13米  
出發臺の高さ 0.5米  
折返臺の高さ 0.3米

水 深 浅部 1.5米 深部 3.0米

公 認 種 類 甲種競泳池

公 認 日 時 昭和六年八月十一日

附屬飛込設備 1米飛板及4.92米固定臺

B 静岡市大濱公園競泳池測量の請求があり聯盟公認測量者野坂喜代松氏出張測量した、其結果を添へて静岡市長より公認の申請が提出されたので聯盟では八月二十三日競泳委員會及び理事會を開き審査の結果公認せられた。

#### 静岡市立大濱公園競泳池要項

構 造 鐵筋コンクリート造  
長 さ 25米 巾50米  
出發臺の高さ 0.7米  
折返臺の高さ 0.7米  
水 深 浅部 1.5米 深部 5.0米  
水 質 淡水なれど鹽分あり  
公 認 種 類 甲種競泳池  
公 認 日 時 昭和六年八月二十三日  
附屬飛込設備 1米飛板、5米及3米固定臺

### 加盟團體會報

#### 1. 北陸水上聯盟改稱の件

八月四日附を以て北陸水上聯盟は新深水競技聯盟と改稱された。

會 長 松枝新潟縣學務部長  
事 務 所 長岡市役所内(電長岡一番)  
代 議 員 竹山九郎 野村佐多雄(從前通り)  
專務理事 堀井榮藏(長岡市山田町草生係用組合内  
電長岡一〇一八番)

#### 2. 各地競技會報告

其の他各地から競技會報告をよこされた所多數であるが紙面不足の爲に次號に於て發表する事にした。

### 編 輯

### 後 記

學の大家たる太田氏の貴重なる御批評である共に御精讀を乞ふ。又日本主將高石君の「日米戰を顧みて」は同君の豊富な経験と卓越した見解を示すものである。

安部君は人も知る英語の達人、今回は主として米國選手との交渉に當られ、その直接見聞なさつた事を書いてフランス・ボムとした。尚清水君も同様澤山の材料を御持つの筈だったが御多忙のため寄稿願へたかつたのは殘念である。

日米對抗の座談會は、優勝の喜と云ふより、來年のオリンピックに對する考へが濃厚であるために勢ひ話題がその方に進みました。紙面の都合でその全部を掲載出来ず殘念であるが、次號には「米國選手及び彼等の感想」「オリンピックの豫想」「オリンピック大會への希望」等興味ある記事を載せます御期待を乞ふ。

尚各地から精細な競技記録を澤山載きましたが、紙面擴大のため次號に割愛します惡からず。

(編輯部)

日本水上競水  
聯盟機關雑誌 水泳第八號  
特別定價 四十錢 一年六回隔月發行  
豫約申込者に限り販布す(一年前金豫約)  
は送料不要  
廣告料 十圓乃至三十五圓  
御申込次第詳細回答  
昭和六年九月廿八日納本  
昭和六年十月一日發行  
編輯兼發行人 鶴岡英吉  
(日本水上競技聯盟代表)  
印 刷 者 平林唯逸  
印 刷 所 東海印刷所  
東京都蒲田町北蒲田 823  
發行並 東京市四谷區神宮外苑プール  
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所  
振替 貯金 東京 三九九一九番